

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 順 天
理事長 小川 秀

順天堂大学医学部附属順天堂医院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第 10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第 11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	83.6 人
--------	--------

（注） 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第 12）
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第 13）
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	473人	203.5人	676.5人	看護補助者	57人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	3人	2.5人	5.5人	理学療法士	25人	臨床検査技師	84人
薬 剤 師	80人	0人	80人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	12人	その他	0人
助 産 師	34人	0人	34人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1060人	7.1人	1067.1人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	3人	0人	3人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	170人
管理栄養士	12人	0人	12人	診療放射線技師	49人	そ の 他 の 職 員	40人

（注） 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	877人	0人	877人
1日当たり平均外来患者数	3,853人	41人	3,894人
1日当たり平均調剤数	6,343剤		

（注） 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	7人
自家液体窒素処理骨移植	1人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	2人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	18人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法[原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)]	0人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法[肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)]	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	162人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	270人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	206人	・原発性胆汁性肝硬変	70人
・全身性エリテマトーデス	1,109人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	68人
・再生不良性貧血	45人	・混合性結合組織病	207人
・サルコイドーシス	196人	・原発性免疫不全症候群	17人
・筋萎縮性側索硬化症	26人	・特発性間質性肺炎	20人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	486人	・網膜色素変性症	168人
・特発性血小板減少性紫斑病	117人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	58人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	355人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	62人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	25人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1人
・天疱瘡	58人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9人
・脊髄小脳変性症	78人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	96人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	78人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患 (進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	1,178人	・球脊髄性筋委縮症	7人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	36人
・後縦靱帯骨化症	48人	・肥大型心筋症	11人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	37人	・ミトコンドリア病	11人
・ウェゲナー肉芽腫症	32人	・リンパ脈管筋腫症 (LAM)	129人
・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	52人	・重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0人
・多系統萎縮症 (線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	68人	・黄色靱帯骨化症	4人
・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	19人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	104人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	・
・悪性黒色腫又は乳がんにおける センチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3～4回程度 1ヶ月に13～15回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 49例 / 部検率 9.8%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属分野	金額	補助元又は委託先
1	脳内環境における封入体形成のメカニズム：封入体と神経細胞死の関連性について	服部 信孝	神経学講座	21,320,000	補助 文部科学省
2	A T R AによるA P L細胞の分化誘導の分子メカニズム	小松 則夫	血液学講座	1,950,000	補助 文部科学省
3	細胞内代謝機構オートファジー制御に基づいた消化器難病疾患への新規治療戦略	渡辺 純夫	消化器内科学講座	13,390,000	補助 文部科学省
4	遺伝性パーキンソン病における共通分子基盤の解明	服部 信孝	神経学講座	6,760,000	補助 文部科学省
5	「糖尿病潜伏期」の病態解明と新規介入法の開発	河盛 隆造	代謝内分泌学講座	6,760,000	補助 文部科学省
6	ヒト乳癌転移の分子機構の解明	折茂 彰	病理・腫瘍学講座	6,630,000	補助 文部科学省
7	膵β細胞オートファジーの生理的基質の解明	綿田 裕孝	代謝内分泌学講座	6,500,000	補助 文部科学省
8	子宮体癌幹細胞を標的にした新規治療法の開発	加藤 聖子	産婦人科学講座	3,640,000	補助 文部科学省
9	新しい心筋ストレイン指標を用いた非侵襲的な左室拡張能評価法の確立	大門 雅夫	循環器内科学講座	2,470,000	補助 文部科学省
10	正常血糖妊婦と妊娠糖尿病妊婦における妊娠中の血糖変動出産後の耐糖能に与える影響	池田 富貴	代謝内分泌学講座	2,080,000	補助 文部科学省
11	低線量放射線被爆による生体微小環境内の発がん誘導機序	田部 陽子	臨床検査医学講座	2,340,000	補助 文部科学省
12	近代臨床医学成立過程における疾病概念の再構築に関する研究	坂井 建雄	院・解剖学・生体構造科学	1,560,000	補助 文部科学省
13	糖尿病患者の治療中断および耐糖能異常者の2次健診未受診の関連要因の解明	横川 博英	総合診療科研究室	1,560,000	補助 文部科学省
14	エピジェネティクス制御をターゲットとした脂肪性肝炎の病態進展抑制の検討	今 一義	消化器内科学講座	2,600,000	補助 文部科学省
15	脂肪性肝疾患における免疫代謝調節機構の解明と免疫栄養療法の確立	池嶋 健一	消化器内科学講座	2,470,000	補助 文部科学省
16	肺高血圧症における血管平滑筋細胞増殖マーカーLR11の役割	小西 博広	循環器内科学講座	2,210,000	補助 文部科学省
17	運動療法による粥腫の安定化作用に関する検討	代田 浩之	循環器内科学講座	2,730,000	補助 文部科学省
18	肺癌のEGFR-TKI耐性機序における低酸素環境と幹細胞およびEMTの関与	高橋 和久	呼吸器内科学講座	1,820,000	補助 文部科学省
19	糖鎖異常IgA1免疫複合体および扁桃細胞のIgA腎症における病態解明	鈴木 仁	腎臓内科学講座	1,690,000	補助 文部科学省
20	ニューロモデュレーションによる新規パーキンソン病治療法開発のための基礎研究	下 泰司	神経学講座	3,900,000	補助 文部科学省
21	マイクロRNA成熟阻害分子MCP1P1とEBウイルス感染によるリンパ腫発症	杉本 耕一	血液学講座	2,080,000	補助 文部科学省
22	小児期における消化管粘膜免疫機構の解析と消化器疾患の病態の解明	大塚 宜一	小児科学講座	2,080,000	補助 文部科学省
23	発育不全を伴う早産児におけるIGF-Iの役割とrhIGF-I投与に関する検討	東海林 宏道	小児科学講座	1,690,000	補助 文部科学省
24	脳MRI次世代拡散・血流解析を用いたパーキンソン病の微細病理変化の解明	趙 成済	放射線医学講座	1,560,000	補助 文部科学省
25	血液線維素溶解系を起点としたがん増殖機構の解明	坂本 一博	消化器外科学講座（下部消化管外科学）	2,470,000	補助 文部科学省
26	海馬神経細胞新生よりてんかん原性獲得ヘシナプス小胞たんぱく質2Aの関与	菅野 秀宣	脳神経外科学講座	2,340,000	補助 文部科学省
27	滑膜間葉系幹細胞に着目したパールカンによる変形性関節症の骨棘形成制御	石島 旨章	整形外科科学講座	2,080,000	補助 文部科学省
28	ヒト鼻粘膜上皮バリア機能の分子的基盤	三輪 正人	耳鼻咽喉科学講座	2,470,000	補助 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

29	アトピー緑内障の病態解析	松田 彰	眼科学講座	2,470,000	補助	文部科学省
30	アレルギー性結膜炎の痒みにおける肥満細胞トリプターゼの役割	海老原 伸行	眼科学講座	650,000	補助	文部科学省
31	眼稀少疾患の遺伝子解析システムの構築	藤巻 拓郎	眼科学講座	4,680,000	補助	文部科学省
32	無細胞化神経へのシュワン細胞付加法としての端側神経縫合とその応用について	林 礼人	形成外科学講座	3,640,000	補助	文部科学省
33	骨格筋の炎症制御による新規抗動脈硬化運動プログラムの開発	島田 和典	循環器内科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
34	動体視力の定量化と科学的根拠に基づくビジョントレーニング法の確立	工藤 大介	眼科学講座	1,170,000	補助	文部科学省
35	非肥満の耐糖能障害における病態生理の解明	佐藤 文彦	代謝内分泌学講座	1,430,000	補助	文部科学省
36	若年性糖尿病患者における認知機能障害の発症・進展の原因解明	大村 千恵	代謝内分泌学講座	1,430,000	補助	文部科学省
37	中皮腫関連分子Mesothelinの発現に関する包括的分子病理学的解析	脇屋 緑	病理・腫瘍学講座	1,170,000	補助	文部科学省
38	炎症により影響を受けない栄養アセスメントのための脂質関連検査の検索	三井田 孝	臨床検査医学講座	1,560,000	補助	文部科学省
39	生体内オートファジー機能評価のための新規バイオマーカー開発	山科 俊平	消化器内科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
40	分子生物学的手法を用いた大腸腫瘍内視鏡的切開剥離術の安全性の検討	長田 太郎	消化器内科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
41	我が国における冠動脈疾患の治療戦略の確立	宮内 克己	循環器内科学講座	1,040,000	補助	文部科学省
42	非小細胞肺癌の病態における癌関連肺線維芽細胞の役割	十合 晋作	呼吸器内科学講座	1,950,000	補助	文部科学省
43	ポドサイトにターゲットを絞った腎障害メカニズムの解明と新規治療薬の開発	浅沼 克彦	腎臓内科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
44	自家脂肪幹細胞を用いた傷害腹膜の修復治療の確立	濱田 千江子	腎臓内科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
45	膵島の炎症におけるメチル化酵素Set7/9の役割	荻原 健	代謝内分泌学講座	1,690,000	補助	文部科学省
46	PP2A-FOXO3Aの活性化を利用したATRA耐性APLの新規治療戦略の開発	小松 則夫	血液学講座	1,820,000	補助	文部科学省
47	サーカディアンリズムによる造血制御システムの解明	高久 智生	血液学講座	520,000	補助	文部科学省
48	補体制御因子の糖化より検討した被嚥性腹膜硬化症の病態解明と治療戦略	大澤 勲	腎臓内科学講座	1,170,000	補助	文部科学省
49	自然免疫および自己免疫の解析による小児の急性脳症の病態解明	奥村 彰久	小児科学講座	1,820,000	補助	文部科学省
50	短鎖脂肪酸とその受容体発現からみた低出生体重児におけるプロバイオティクスの有用性	清水 俊明	小児科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
51	BTG2発現低下による乳癌悪性化および上皮間葉転換・幹細胞増加のメカニズムの検討	高橋 史行	呼吸器内科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
52	てんかん原生を獲得する神経細胞を、活動を減弱させ細胞死へ誘導することができるか？	中島 円	脳神経外科学講座	1,170,000	補助	文部科学省
53	老化に伴う髄液のクリアランス低下により惹起される認知機能障害の病態解明と治療	宮嶋 雅一	脳神経外科学講座	910,000	補助	文部科学省
54	悪性腫瘍細胞におけるサブスタンスP受容体の役割と麻酔薬の与える影響	山口 敬介	麻酔科学・ペインクリニック講座	1,300,000	補助	文部科学省
55	絨毛細胞障害のCD44細胞内シグナル伝達系を介した修復制御機構の検討	杉村 基	産婦人科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
56	再生医療への応用を指向したほ乳類内耳発生におけるリン酸化シグナルの機能解析	村田 潤子	耳鼻咽喉科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
57	細菌性中耳炎におけるJNKによる中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補助	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

58	脂肪組織由来幹細胞の有する創傷治癒促進と瘢痕減弱効果の機序解析	水野 博司	形成外科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
59	脳内神経ネットワークからみた吸入麻酔薬の情報伝達と作用機序に関する研究	西村 欣也	麻酔科学・ペインクリニック講座	1,040,000	補助	文部科学省
60	骨格筋における「脂質耐性」のメカニズム解明に関する検討	金澤 昭雄	代謝内分泌学講座	910,000	補助	文部科学省
61	アポEリッチHDL重分画の変動とHDLホモジニアス法の反応性との関係について	平山 哲	臨床検査医学講座	1,040,000	補助	文部科学省
62	甲状腺乳頭癌の予後予測因子の検討	清水 友章	代謝内分泌学講座	1,560,000	補助	文部科学省
63	膵ベータ細胞オートファジーにおける亜鉛トランスポーターの役割の解明	藤谷 与士夫	代謝内分泌学講座	1,300,000	補助	文部科学省
64	ゲノム解析による円形脱毛症疾患感受性遺伝子同定の試み	池田 志幸	皮膚科学講座	910,000	補助	文部科学省
65	特発性正常圧水頭症における白質障害：拡散テンソル、QSIを用いたMRI拡散解析	青木 茂樹	放射線医学教室・放射線診断学講座	910,000	補助	文部科学省
66	遺伝子多型が麻薬性鎮痛薬の鎮痛効果と副作用に及ぼす影響に関する臨床的研究	林田 眞和	麻酔科学・ペインクリニック講座	650,000	補助	文部科学省
67	子宮体癌細胞の転移能獲得機構の解明	寺尾 泰久	産婦人科学講座	1,040,000	補助	文部科学省
68	Lymphatic chemotherapyによるリンパ節転移制御法の開発	横山 純吉	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
69	新規T細胞特異的サイトカインIL-17による慢性扁桃炎発症の分子メカニズム	一針 幸子	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
70	「細胞内肥満仮説」の検証とその臨床応用	田村 好史	代謝内分泌学講座	11,700,000	補助	文部科学省
71	新規A2A受容体阻害薬による新たなオートファジー調節機構の解明とPD治療への応用	齊木 臣二	神経学講座	6,370,000	補助	文部科学省
72	IgA腎症における捕体、特にMBLの関与の検討	田中 裕一	腎臓内科学講座	1,040,000	補助	文部科学省
73	SGA児の高次脳機能発達の特徴とsomatropin投与による影響の検討	田中 恭子	小児科学講座	650,000	補助	文部科学省
74	タンパク質発現解析に基づいた骨軟部腫瘍バイオマーカーの大規模検証及び機能解析	末原 義之	整形外科科学講座	1,170,000	補助	文部科学省
75	CD133陽性卵巣癌細胞の足場非依存的増殖に必須な新規分子機構の解明	荒木 真理人	輸血学	1,560,000	補助	文部科学省
76	小児がん家族支援に向けた家族機能評価	齋藤 正博	小児科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
77	Superior Sulcus Tumorに対する術前化学放射線治療の第2相試験	都島 由紀雄	呼吸器外科学講座	2,470,000	補助	文部科学省
78	ミトコンドリア再生機構の網羅的かつ定量的解明 パーキンソン病モデル細胞を用いて	齊木 臣二	神経学講座	1,950,000	補助	文部科学省
79	子宮体癌幹細胞形質獲得機構の解明と幹細胞マーカーの同定	加藤 聖子	産婦人科学講座	2,210,000	補助	文部科学省
80	アトピー性角結膜炎とナチュラルヘルパー細胞	村上 晶	眼科学講座	1,820,000	補助	文部科学省
81	革新的ながん治療法の開発—がん細胞の良性化・矯正（リハビリテーション）法の開発	樋野 興夫	病理・腫瘍学講座	2,080,000	補助	文部科学省
82	有害異常血管閉塞用コラーゲンコイルの開発	稀代 雅彦	小児科学講座	1,170,000	補助	文部科学省
83	非妊娠時におけるセロトニンを介した膵β細胞増殖制御の可能性の探索	綿田 裕孝	代謝内分泌学講座	1,820,000	補助	文部科学省
84	難聴遺伝子変異マウスへの効率的iPS細胞導入法の開発	池田 勝久	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
85	肝組織修復機転におけるSOD1によるNADPHオキシダーゼの制御機序の解明	青山 友則	消化器内科学講座	1,950,000	補助	文部科学省
86	血管平滑筋細胞におけるオートファジーの機能解析	三田 智也	代謝内分泌学講座	1,430,000	補助	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

87	カテプシンL・カテプシンDのポドサイトにおける役割と蛋白尿発現メカニズムの解明	高木 美幸	腎臓内科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
88	新規ポドサイト発現蛋白・デンドリンを用いたI g A腎症進行度診断法の確立	児玉 史子	腎臓内科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
89	I g A腎症特異治療にむけたブタI g A腎症モデルの開発	梶山 忠弘	腎臓内科学講座	2,210,000	補助	文部科学省
90	若年性遺伝性パーキンソン病原因遺伝子産物によるミトコンドリアの品質管理機構の解明	柴 佳保里	神経学講座	2,730,000	補助	文部科学省
91	2型糖尿病感受性遺伝子SLC30A8の糖尿病発症機序の解明	田蔭 基行	代謝内分泌学講座	1,690,000	補助	文部科学省
92	認知症画像診断における背景病理に関する臨床病理学的研究	藤城 弘樹	精神医学講座	1,170,000	補助	文部科学省
93	酸化ストレスによる骨代謝制御機構の解明	斎田 良知	整形外科科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
94	廃用性骨萎縮における細胞質酸化ストレスの役割の解明	野尻 英俊	整形外科科学講座	2,990,000	補助	文部科学省
95	短腸症候群：新しい腸管再生を目指して レニン-アンギオテンシン系の役割	古賀 寛之	小児外科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
96	先天性臍帯ヘルニアの病因-分子機構の解明	土井 崇	小児外科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
97	DJ-1の膜輸送への役割に関する研究	波田野 琢	神経学講座	2,080,000	補助	文部科学省
98	新素材のハイドロゲルを用いた心筋梗塞に対する心筋幹細胞治療	松下 訓	心臓血管外科学講座	2,210,000	補助	文部科学省
99	換気チューブを利用した鼓膜直接加振型補聴器の開発	小宮 尚	耳鼻咽喉科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
100	脂肪性肝炎の病態形成におけるリポドラフトの役割の解明	内山 明	消化器内科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
101	骨髄由来細胞動員による動脈硬化進展と組織再生機構の解明	佐藤 弥生	循環器内科学講座	2,080,000	補助	文部科学省
102	慢性閉塞性肺疾患の病態におけるマイクロRNAの役割の解明と治療への応用	佐藤 匡	呼吸器内科学講座	1,300,000	補助	文部科学省
103	ポドサイト障害とオートファジーからみた糸球体硬化のメカニズムの解明	浅沼 悦子	腎臓内科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
104	足細胞におけるポドシンのエンドサイトーシスを誘導する蛋白質と阻害物質の解明	日高 輝夫	腎臓内科学講座	1,430,000	補助	文部科学省
105	I g A腎症における樹状細胞の役割	相澤 昌史	腎臓内科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
106	膵β細胞におけるオートファジー標的分子の同定・解析	内田 豊義	代謝内分泌学講座	1,820,000	補助	文部科学省
107	ボルツマン方程式を用いた放射線治療用吸収線量計算法・治療計画システムの開発	杉本 聡	院・臨床腫瘍学	910,000	補助	文部科学省
108	熱蛍光薄膜体による3次元線量分布測定	黒河 千恵	院・臨床腫瘍学	910,000	補助	文部科学省
109	各種プロテアーゼ活性による炎症性腸疾患の病態制御機構の解明	小見山 博光	消化器外科学講座（下部消化管外科学）	1,820,000	補助	文部科学省
110	蝸牛線維細胞を標的とした遺伝性難聴治療法の開発	神谷 和作	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補助	文部科学省
111	頭頸部癌におけるcSreと放射線治療との臨床的関係および機能の解析	松本 文彦	耳鼻咽喉科学講座	1,560,000	補助	文部科学省
112	角膜移植後における内皮細胞死とミトコンドリアの動態	舟木 俊成	眼科学講座	1,040,000	補助	文部科学省
113	皮弁、植皮術における知覚再生メカニズム及びタクロリムス外用の新たな可能性について	名取 悠平	形成外科学講座	910,000	補助	文部科学省

注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究の内、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合には「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
1	Mod Rheumatol. 2012 Apr;22(2):228-37	Regenerating gene (REG) 1 alpha promotes pannus progression in patients with rheumatoid arthritis.	Fujishiro M	膠原病内科学講座
2	Inflamm Res. 2012 Jun;61(6):551-62.	Inhibitory effects of ZSTK474, a phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor, on adjuvant-induced arthritis in rats.	Haruta K	膠原病内科学講座
3	Mod Rheumatol 22: 458-462, 2012	Rheumatoid arthritis complicated with immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders during treatment with adalimumab.	Ikeda T	膠原病内科学講座
4	Mod Rheumatol. 2012 Aug;22(4):589-97.	A multicenter, open-label, efficacy, pharmacokinetic, and safety study of adalimumab in Japanese patients with ankylosing spondylitis.	Kobayashi S	膠原病内科学講座
5	Ther Apher Dial. 2012 Oct;16(5):456-66.	Gene expression analysis using a high-resolution DNA microarray of peripheral whole blood immediately before and after leukocytapheresis for rheumatoid arthritis.	Kusaoi M	膠原病内科学講座
6	Mod Rheumatol. 2012 Nov;22(6):831-6.	Recent trends in use of nonbiologic DMARDs and evaluation of their continuation rates in single and dual combination therapies in rheumatoid arthritis patients in	Ogasawara M	膠原病内科学講座
7	J Rheumatol. 2012 Jun;39(6):1207-14.	Autofeedback from ultrasound images provides rapid improvement in palpation skills for identifying joint swelling in rheumatoid arthritis.	Ogasawara M	膠原病内科学講座
8	PLoS Genetics 8:e1002455, 2012	A Genome-Wide Association Study Identified AFF1 as a Susceptibility Locus for Systemic Lupus Erythematosus in Japanese.	Okada Y	膠原病内科学講座
9	Ann Rheum Dis. 2012 Nov;71(11):1820-6.	Drug retention rates and relevant risk factors for drug discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients receiving anticytokine therapy with different target molecules.	Sakai R	膠原病内科学講座
10	Arthritis Care Res (Hoboken). 2012 Aug;64(8):1125-34	Time-dependent increased risk for serious infection from continuous use of TNF antagonists during three years in rheumatoid arthritis patients.	Sakai R	膠原病内科学講座
11	Mod Rheumatol. 2012 Sep 25. [Epub ahead of print]	CC motif chemokine ligand 13 is associated with rheumatoid arthritis pathogenesis.	Yamaguchi A	膠原病内科学講座
12	Int J Rheum Dis. 2012 Oct;15(5):486-95.	Serum proteome analysis in patients with rheumatoid arthritis receiving therapy with etanercept, a chimeric tumor necrosis factor-alpha receptor.	Yanagida M	膠原病内科学講座
13	順天堂医学(0022-6769)58巻3号 Page270-271(2012.06)	コラーゲン誘発性関節炎(CIA)における抗TIM-4抗体療法の検討	安倍 能之	膠原病内科学講座
14	順天堂医学(0022-6769)58巻4号 Page359(2012.08)	強皮症患者の運動療法によるEPC機能改善と病状進行予防	小川尊資	膠原病内科学講座
15	日本アフェレンス学会雑誌 (1340-5888)31巻1号 Page33-40(2012.02)	【血小板減少症とアフェレンス】 血小板減少を伴う自己免疫性疾患(自己免疫性血小板減少症、抗リン脂質抗体症候群)	草生真規雄	膠原病内科学講座
16	日本脊椎関節炎学会誌4巻1号 Page59-63(2012.09)	扁桃摘出にて改善した掌蹠膿疱性骨関節炎(膿疱症性関節骨炎)の1例	小林茂人	膠原病内科学講座
17	日本老年医学会雑誌(0300-9173)49巻6号 Page783-787(2012.11)	脳梗塞後に認知機能障害の急速な進行を認めた血管親和性大細胞型B細胞リンパ腫の1例	坂本直治	膠原病内科学講座
18	日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻5号 Page598-602(2012.07)	【腎疾患における分子標的薬】 全身性エリテマトーデス・ループス腎炎の分子標的療法	高崎芳成	膠原病内科学講座
19	日本臨床免疫学会誌 35: 176-182, 2012	全身性エリテマトーデスにおける分子標的とその制御	高崎芳成	膠原病内科学講座
20	日本腎臓学会誌 54: 598-602, 2012	全身性エリテマトーデス・ループス腎炎の分子標的療法	高崎芳成	膠原病内科学講座
21	順天堂医学(0022-6769)58巻1号 Page54-58(2012.02)	混合性結合組織病に対する初期ステロイド治療の意義	高橋裕子	膠原病内科学講座
22	日本脊椎関節炎学会誌4巻1号 Page27-33(2012.09)	強直性脊椎炎の最新治療 TNF阻害薬がもたらした変化	多田久里守	膠原病内科学講座
23	日本医師会雑誌(0021-4493)140巻11号 Page2300-	【最新の膠原病診療-そのパラダイムシフト】 全身性エリテマトーデス	田村直人	膠原病内科学講座
24	日本内科学会雑誌(0021-5384)101巻10号 Page2873-2879(2012.10)	【関節リウマチ(RA)診断と治療の進歩】 治療 抗リウマチ薬 非生物学的製剤	田村直人	膠原病内科学講座
25	日本臨床免疫学会誌(0911-4300)35巻1号 Page8-	リウマチ性疾患におけるPI3キナーゼに関する最近の知見	田村直人	膠原病内科学講座
26	医学と薬学(0389-3898)68巻2号 Page357-363(2012.08)	エリアMPOs-ANCA・PR3s-ANCA測定試薬による抗好中球細胞質抗体の臨床的有用性	松下雅和	膠原病内科学講座
27	順天堂医学(0022-6769)58巻2号 Page188-191(2012.04)	症例に学ぶ 間質性肺炎を伴う強皮症の経過中に呼吸困難が出現した1例	李鍾碩	膠原病内科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
28	J Dermatol, 2012; 39: 242-252	Efficacy and safety of ustekinumab in Japanese patients with moderate-to-severe plaque-type psoriasis: Long-term results from a phase 2/3 clinical trial.	Igarashi A	皮膚科学講座
29	J Dermatol, 2012; 39:253-259	Dramatic impact of a Psoriasis Area and Severity Index 90 response on the quality of life in patients with psoriasis: An analysis of Japanese clinical trials of infliximab.	Torii H	皮膚科学講座
30	J Dermatol, 2012; 39:286-288	Generalized pustular psoriasis-like eruptions induced after the first use of adalimumab in the treatment of psoriatic arthritis.	Kimura U	皮膚科学講座
31	J Dermatol Sci, 2012; 66:37-43	Topically applied semaphorin 3A ointment inhibits scratching behavior and improves skin inflammation in NC/Nga mice with atopic dermatitis.	Negi O	皮膚科学講座
32	J Allergy Clin Immunol, 2012; 129:814-824	Role of PU.1 in MHC class II expression through transcriptional regulation of class II transactivator pI in dendritic cells.	Kitamura N	皮膚科学講座
33	J Dermatol, 2012; 39:564-565	Photodynamic therapy using intense pulsed light for cutaneous sarcoidosis.	Hasegawa T	皮膚科学講座
34	J Dermatol Sci, 2012; 66:233-237	Long TSLP transcript expression and release of TSLP induced by TLR ligand and cytokines light and in human keratinocytes.	Xie Y	皮膚科学講座
35	J Dermatol, 2012; 39:667-669	Tinea faciei caused by Trichophyton verrucosum in a 20-month-old female: case report and summary of reported cases in Japan.	Yamada A	皮膚科学講座
36	Juntendo Medical Journal, 2012; 58(2):135-142	Clinical Manifestation and Classification of Japanese Patients with Inherited Keratinizing Disorders.	Ikejima A	皮膚科学講座
37	Ther Apher Dial, 2012; Aug16(4):379-80 [Epub]	Immunosuppressant and infliximab-resistant generalized pustular psoriasis successfully treated with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.	Furusawa K	皮膚科学講座
38	J Dermatol Sci, 2012; 68:63-70	Interleukin-36 cytokines enhance the production of host defence peptides psoriasin and LL-37 by human keratinocytes through activation of MAPKs and NF- κ B.	Nguyen T	皮膚科学講座
39	Med Mycol J, 2012; 53(4):267-27	The Results of Trichophyton tonsurans Screening Examinations and Infection Management in University Judo Federation of Tokyo Athletes over a 4-year period.	Hirose N	皮膚科学講座
40	J Am Acad Dermatol. 2012 Nov 19. doi:pii: S0190-9622(12)00784-0. 10.1016/j.jaad.2012.06.044. [Epub ahead of print]	Epidemiology and clinical characteristics of bullous congenital ichthyosiform erythroderma (keratinolytic ichthyosis) in Japan: Results from a nationwide survey.	Kurosawa M	皮膚科学講座
41	Nat Genet. 2012 Nov;44(11):1222-6. doi: 10.1038/ng.2438. Epub 2012 Oct 7. PMID: 23042114 [PubMed - in process] Related	Genome-wide association study identifies eight new susceptibility loci for atopic dermatitis in the Japanese population.	Hirota T	皮膚科学講座
42	Arch Dermatol. 2011 Oct;147(10):1167-70. doi: 10.1001/archdermatol.2011.236 .PMID: 22006134 [PubMed - indexed for MEDLINE] Related citations	Use of sun-protective items by Japanese pedestrians: a cross-sectional observational study.	Ng W	皮膚科学講座
43	J Dermatol, 2012; 39(12):1000-1001	Epidemiological aspects of Trichophyton rubrum var.raubitschekii in Japan.	Hiruma M	皮膚科学講座
44	澤村大輔、池田志孝、鈴木民夫、錦織千佳子、武藤正彦、清水宏: 皮膚疾患遺伝子治療ガイドライン(第1版)、日本皮膚科学会雑誌、第122巻 第3号: 561-	皮膚疾患遺伝子治療ガイドライン(第1版)	澤村大輔	皮膚科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
45	加齢皮膚医学セミナー Geriatric Dermatology Seminar, 2012; vol 7:41-45	ドライスキンマウスの表皮内神経線維に対する紫外線療法、ステロイド軟膏保湿剤の効果の検討	加茂敦子	皮膚科学講座
46	臨床皮膚科, 2012; 第66巻第8号:643-645	順天堂大学皮膚科における円形脱毛症の調査	小出純子	皮膚科学講座
47	新薬と臨牀 J New Ren. & Clin, 2012; Vol61 No11:(2315)131-(2323)139	尋常性乾癬に対するカルシポトリオール軟膏およびベタメゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏により異なる配合比率での外用療法の検討	大久保ゆかり	皮膚科学講座
48	Psychiatry and Clinical Neurosciences, 2012;66(5):418-422.	Clinical evaluation of percutaneous endoscopic gastrostomy tube feeding in Japanese patients with dementia.	Kumagai R	総合診療科研究室
49	J Atheroscler Thromb. 2012;19(10):932-40. Epub 2012 Jul 5	Associations between healthy lifestyle behaviors and proteinuria and the estimated glomerular filtration rate (eGFR).	Fujibayashi K	総合診療科研究室
50	J Infect Chemother 18: 17-21, 2012	Correlation between HIV disease and lipid metabolism in antiretroviral-naïve HIV-infected patients in Japan.	Oka F	総合診療科研究室
51	Trials. 2012 Sep 4;13(1):158. [Epub ahead of print]	Reducing salt intake for prevention of cardiovascular disease	Aung MN	総合診療科研究室
52	Internal Medicine. 2012;51:1821-1826	High Body Mass Index is an Important Risk Factor of Development of Atherosclerosis	Sanada H	総合診療科研究室
53	J Atheroscler Thromb. 2012 Jul 5. [Epub ahead of print]	The associations between healthy lifestyle behaviors and proteinuria and the estimated glomerular filtration rate (eGFR).	Fujibayashi K	総合診療科研究室
54	Intern Med 51: 1259-1263, 2012 DOI: 10.2169/internalmedicine.51.6935	A Case of Diaphragmatic Paralysis Complicated by Herpes-zoster Virus Infection	Miki Oike	総合診療科研究室
55	Annals of Medicine, 2012; 44: 82-92	Absolute value of visceral fat area measured on computed tomography scans and obesity-related cardiovascular risk factors in large-scale Japanese general population (The VACATION-J study)	Aki Hiuge-Shimizu	総合診療科研究室
56	Mod Rheumatol. 2012 Aug;22(4):589-97	A multicenter, open-label, efficacy, pharmacokinetic, and safety study of adalimumab in Japanese patients with ankylosing spondylitis	Kobayashi S	総合診療科研究室
57	Inflammation Research: Volume 61, Issue 6 (2012), Page 551-556	Inhibitory effects of ZSTK474, a phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor, on adjuvant-induced arthritis in rats.	Kazuhiko Haruta	総合診療科研究室
58	2012, Volume 22, Number 3, Pages 394-404, Mod Rheumatol	Severity-based treatment for Japanese patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: the JMAAV study.	Shoichi Ozaki	総合診療科研究室
59	Mod Rheumatol. 2012 Oct 21	Clinical features of patients with anti-neutrophil cytoplasmic autoantibodies targeting native	Yamanishi Y	総合診療科研究室
60	Jpn J Ophthalmol. 2012 Oct 30.	Treatment of recurrent anterior uveitis with infliximab in patient with ankylosing spondylitis.	Matsuda J	総合診療科研究室
61	J Clin Microbiol. 50: 3862-3866, 2012	Evaluation of a simple protein-extraction method for species identification of clinically relevant staphylococci by matrix-assisted laser desorption ionization-time of flight mass spectrometry.	Matsuda N	総合診療科研究室
62	呼吸 31 : 1146-1147, 2012	気管支閉鎖症の1例	坂本直治	総合診療科研究室
63	平成24年5月30日 初刊発行	特定保険医療材料「特材ハンドブック」	久岡英彦	総合診療科研究室
64	ドクターサロン56巻9月号	ドーピング検査と薬	久岡英彦	総合診療科研究室
65	旭海運社内誌「あさひ」2012 10月号NO.339 平成24年10月15日発行	健康だより	久岡英彦	総合診療科研究室
66	日本臨床生理学会雑誌 Vol.42, No.6: 249-255, 2012	高尿酸血症を含めた慢性腎臓病Chronic Kidney Disease (CKD) の危険因子の横断的検討	羽二生知美	総合診療科研究室
67	日本老年医学会雑誌, 2012; 49:783-787	脳梗塞後に認知機能障害の急速な進行を認めた血管親和性大細胞型B細胞リンパ腫の1例	坂本直治	総合診療科研究室
68	日本病院総合診療医学会雑誌, 2012; 3:2-95	順天堂医院総合診療科におけるIgG4関連疾患の2例	甘利悠	総合診療科研究室
69	健康開発, 2012; 16(3): 38-45	35歳時全従業員を対象とした健康教育プログラムの肥満関連指標についての長期的効果	西埜植規秀	総合診療科研究室
70	日本脊椎関節炎学会誌4巻1号 Page59-63,2012.	扁桃摘出にて改善した掌蹠膿疱性骨関節炎(膿疱性関節炎)の1例	小林 茂人	総合診療科研究室
71	Pharma Medica29巻12号 Page159-165, 2011.12	順天堂大学医学部附属病院6施設におけるトシリズマブ投与例のレトロスペクティブ解析	小笠原 倫大	総合診療科研究室
72	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page51-56, 2011.	脊椎関節炎の疾患活動性モニタリングにおけるFDG-PET/CT有用性の検討	有井 薫	総合診療科研究室
73	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page43-49, 2011.	若年発症および高齢発症脊椎関節炎の臨床的特徴の検討	谷口 義典	総合診療科研究室

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
74	日本脊椎関節炎学会誌3巻1号 Page35-41, 2011.	強直性脊椎炎における骨リモデリング	田村 直人	総合診療科研究室
75	日本脊椎関節炎学会誌 3巻1 号Page17-20, 2011.	扁桃炎に伴う反応性関節炎と扁桃摘出術の効果	小林 茂人	総合診療科研究室
76	Journal of the neurological sciences,2012;314:1:111-119	Neuropathological investigation of the hypometabolic regions on positron emission tomography with [¹⁸ F] fluorodeoxyglucose in patients with dementia with Lewy bodies	Kasanuki K	精神医学講座
77	American Journal of Medical Genetics Part B: Neuropsychiatric Genetics,2012;159:4:456-464	No associations found between the genes situated at 6p22. 1, HIST1H2BJ, PRSS16, and PGBD1 in Japanese patients diagnosed with schizophrenia	Kitazawa M	精神医学講座
78	The Journal of clinical psychiatry,2012;73:1:115-120.	Metabolism of amyloid- β protein may be affected in depression	Baba H	精神医学講座
79	Brain research,2012;12(2):317- 321.	Effects of single and repeated electroconvulsive stimulation on hippocampal cell proliferation and spontaneous behaviors in the rat	Nakamura K	精神医学講座
80	Geriatrics & Gerontology International,2012;12(2):317-	Survival period after tube feeding in bedridden older patients	Kosaka Y	精神医学講座
81	Dementia and geriatric cognitive	Lack of Genetic Association of the UCHL1 Gene with Alzheimer's Disease and Parkinson's Disease with	Shibata N	精神医学講座
82	Dementia and geriatric cognitive disorders extra,2012;2(1):496-502.	No Associations Found between PGBD1 and the Age of Onset in Japanese Patients Diagnosed with Sporadic Alzheimer's Disease	Ohnuma T	精神医学講座
83	Dementia and geriatric cognitive disorders.2012.	Serum dehydroepiandrosterone (DHEA) and DHEA- sulfate (S) levels in medicated patients with major depressive disorder compared with controls	Kurita H	精神医学講座
84	Journal of affective disorders.2012.	Residual memory dysfunction in recurrent major depressive disorder—A longitudinal study from Juntendo University Mood Disorder Project	Maeshima H	精神医学講座
85	Psychiatry and clinical neurosciences,2012;66(7):602- 610.	Urine catecholamine levels are not influenced by electroconvulsive therapy in depression or schizophrenia over the long term	Ito M	精神医学講座
86	The International Journal of Psychiatry in Medicine,2012;44(1):17-27.	No Correlation between Plasma NMDA-Related Glutamatergic Amino Acid Levels and Cognitive Function in Medicated Patients with Schizophrenia	Ohnuma T	精神医学講座
87	Alzheimer's & Dementia,2012;8(4):P363.	Three presenile dementia cases in which neuropsychological and neuroimaging examinations suggest progression to dementia with Lewy bodies	Ota K	精神医学講座
88	Clinical Neurophysiology,2012;123(9):e1 00-e100.	55. Simultaneous fMRI-EEG-DTI recording of MMN in schizophrenia	Kirino E	精神医学講座
89	Depression and anxiety,2012;29(9):775-779.	Duration of last depressive episode may influence serum BDNF levels in remitted patients with major depression	Takebayashi N	精神医学講座
90	Progress in Neuro- Psychopharmacology and Biological Psychiatry,2012.	Heterogeneity of elderly depression: Increased risk of Alzheimer's disease and A β protein metabolism	Namekawa Y	精神医学講座
91	ASIA-PACIFIC PSYCHIATRY,2012;4:171-171.	Effectiveness of ramelteon for treatment of visual hallucinations in dementia with Lewy bodies: Four cases report	Kasanuki K	精神医学講座
92	ASIA-PACIFIC PSYCHIATRY,2012;4:154-155.	Effect of psychological intervention for visual hallucinations in patients with dementia with Lewy	Ota K	精神医学講座
93	Mod Rheumatol.2012, Sep 24.	The Japanese version of the modified ACR Preliminary Diagnostic Criteria for Fibromyalgia and the Fibromyalgia Symptom Scale: reliability and validity.	Usui C	精神医学講座
94	Psychiatry Res. 198(2):194- 201.	A comparison between augmentation with olanzapine and increased risperidone dose in acute schizophrenia patients showing early non-response to risperidone.	Hatta K	精神医学講座
95	Patient Prefer Adherence.2012;6:853-861.	Escitalopram for the management of major depressive disorder: a review of its efficacy, safety, and patient acceptability.	Kirino E.	精神医学講座
96	Eur Child Adolesc Psychiatry.2012, 21(7):361-8	Efficacy and safety of aripiprazole in child and adolescent patients.	Kirino E.	精神医学講座
97	Dement Geriatr Cogn Disord.2012;33(4):273-81.	Retrospective survey of prodromal symptoms in dementia with Lewy bodies: comparison with Alzheimer's	Chiba Y	精神医学講座
98	Int J Geriatr Psychiatry.2012,Nov;27(11):113 8-46.	Glucose hypometabolism in primary visual cortex is commonly associated with clinical features of dementia with Lewy bodies regardless of cognitive conditions.	Fujishiro H	精神医学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
99	Synapse.2012,Jun;66(6):483-8.	Effects of mirtazapine on sleep disturbance under neuropathic pain-like state.	Enomoto T	精神医学講座
100	J Neurol Sci. 15;315(1-2):115-9.	Early detection of dementia with Lewy bodies in patients with amnesic mild cognitive impairment using 123I-MIBG cardiac scintigraphy.	Fujishiro H	精神医学講座
101	精神科治療学.2012. Vol.27 No.5 Page.669-674	Clonazepamにより幻視が消失したレビー小体型認知症の1例-幻覚妄想におけるレム睡眠行動障害の関与について	北沢麻衣子	精神医学講座
102	臨床神経生理学.2012,Vol.39, No.6, Page.495-504.	統合失調症患者における表情の動き認知の事象関連電位を用いた検討.	桐野衛二	精神医学講座
103	臨床精神医学.2012, 41巻9号 Page1247-1253	東日本大震災の影響 首都圏大学病院精神科における受診者の特徴.	比賀 雅行	精神医学講座
104	日本薬物脳波学会雑誌.2012. 13巻1号 Page7-14.	うつ病とアルツハイマー病の鑑別における脳血流SPECTの統計解析手法(3D-SSP)の有用性の検討.	桐野 衛二	精神医学講座
105	老年精神医学雑誌.2012.23巻4号 Page457-465.	レビー小体型認知症の臨床症状出現に関連する心理社会的要因の検討 アルツハイマー型認知症との比較	太田 一実	精神医学講座
106	順天堂保健看護研究.2012,1巻1号 Page11-17.	児童思春期におけるいじめの精神症状に対する影響の検討(原著論文)	窪倉 佳世	精神医学講座
107	Ann Thoracic Surg. 2012 in press.	New technique for lung segmentectomy using indocyanine green dye injection.	Shiaki Oh	呼吸器外科学講座
108	Eur J Cardiothorac Surg. (in press) 2012 Dec 11.	The maximum standardized uptake value of fluorodeoxyglucose positron emission tomography of the primary tumour is a good predictor of pathological nodal involvement in clinical N0 non-small-cell lung cancer.	Miyasaka Y	呼吸器外科学講座
109	Interactive Cardiovascular and thoracic surgery, 2012, in press	Lung Cancer with Scattered Consolidation: New Independent Radiological Category of Peripheral Lung Cancer on Thin-Section Computed Tomography	Takeshi Matsunaga	呼吸器外科学講座
110	Ann Thorac Surg; 94: 212-5, 2012.	Is limited resection appropriate for radiologically "solid" tumors in small lung cancers?	Aritoshi Hattori	呼吸器外科学講座
111	Eur J Cardiothorac Surg. 2012 Sep 28.	The size of consolidation on thin-section computed tomography is a better predictor of survival than the maximum tumour dimension in resectable lung cancer.	Maeyashiki T	呼吸器外科学講座
112	Journal of Thoracic Oncology. 7: 1790-7, 2012	Prognostic impact of CD204-positive macrophages in lung squamous cell carcinoma: possible contribution of CD204-positive macrophages to the tumor-promoting microenvironment.	Hirayama S	呼吸器外科学講座
113	Eur J Cardiothorac Surg. 2012 Jun;41(6):e161-5.	The importance of intraoperative fluid balance for the prevention of postoperative acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis after pulmonary resection for primary lung cancer.	Mizuno Y	呼吸器外科学講座
114	肺癌 第52巻 第2号 2012年4月 182-189.	肺癌に対する縮小手術のEvidence -瘢痕癌から歴史的な縮小手術の第三層試験まで-	鈴木健司	呼吸器外科学講座
115	順天堂医学58巻5号 Page449-451(2012.10)	肺動脈血栓塞栓症として紹介された肺動脈肉腫の一例.	宮坂善和	呼吸器外科学講座
116	順天堂医学 (in press)	胸腔ドレーナージ後に再膨張性肺水腫を発症した左自然気胸の一例	宮坂善和	呼吸器外科学講座
117	J Thorac Dis, 2012; 4(3):259-64	Pulmonary rehabilitation program including respiratory conditioning for chronic obstructive pulmonary disease (COPD): Improved hyperinflation and expiratory flow during tidal breathing.	Yoshimi K	病院管理学研究室
118	順天堂医学, 2012; 58: 161-167	低強度,長時間持続する運動時のサイトカインの動態と小麦グルテン加水分解物Wheat Gluten Hydrolysate(WGH)摂取による生体応答	加治佐知子	病院管理学研究室
119	Thromb Res. 2012;130(3):e129-33.	Efficacy and bleeding risk of antithrombin supplementation in septic disseminated intravascular coagulation: a prospective multicenter survey.	Iba T	救急・災害医学研究室
120	Thromb Res. 2012;129(5):e246-50.	Formation of the venous thrombus after venous occlusion in the experimental mouse model of metabolic	Iba T	救急・災害医学研究室
121	J Trauma Acute Care Surg. 2012;72(1):177-82.	Enoxaparin and fondaparinux attenuates endothelial damage in endotoxemic rats.	Iba T	救急・災害医学研究室
122	Turk Neurosurg 2012;22:196-9.	Results of single burr hole drainage for acute subdural hematoma with non-reactive pupil.	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室
123	J Emerg Trauma Shock 2012;5:238-42.	The epidemiological findings and characteristic ground glass appearance on chest CT among patients with blunt lung injury.	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室
124	J Emerg Trauma Shock 2012;5:338-41.	Significance of the carboxyhemoglobin level for out-of-hospital cardiopulmonary arrest.	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室
125	Clinical Toxicology 2012;8:7.	Characteristics of severe alcoholic ketoacidosis with a reversible visual disturbance.	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
126	J Hosp Med, 2012; 7(9): 702-705	Predicting bacteremia based on nurse-assessed food consumption at the time of blood culture.	Komatsu T	救急・災害医学研究室
127	Critical Care 2012, 16:R232	The clinical usefulness of extravascular lung water and pulmonary vascular permeability index to diagnose and characterize pulmonary edema: a prospective multicenter study on the quantitative differential diagnostic definition for acute lung injury/acute	Kushimoto S	救急・災害医学研究室
128	Radiomatics 3; 14-21, 2012	A Specified Low Power Radio Repeater for Disaster Relief Medical Teams Support System.	Oyama F	救急・災害医学研究室
129	救急医学 2012年9月臨時増刊号 第36巻 10号 通関第442号1345-1347	抗菌薬治療の治療指針	渡邊 心	救急・災害医学研究室
130	日本集中治療医学会雑誌. 2012;19(2):241-3	院外心肺機能停止蘇生後症例における予後因子としてのinsulin-like growth factor-1	竹本 正明	救急・災害医学研究室
131	神経外傷 2012;35:75-77.	当科で診療を行った超高齢者顔面・頭部外傷の特徴.	柳川 洋一	救急・災害医学研究室
132	日本航空医療学会雑誌 2012;13:3-8.	ドクターヘリ運航休止となった機体側不具合事案の検討.	卯津羅雅彦	救急・災害医学研究室
133	Neurosurg Emerg 2012;17:175-178.	脳神経外科静注医のいない地域におけるドクターヘリの有用性.	卯津羅雅彦	救急・災害医学研究室
134	日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2012;47:47-52.	静岡県東部ドクターヘリ活動からみた減圧障害患者対応.	卯津羅雅彦	救急・災害医学研究室
135	Neurosurg Emerg 2012;17:22-	脳卒中・頭部外傷におけるプレホスピタルケア	卯津羅 雅彦	救急・災害医学研究室
136	日救急医学会誌, 2012: 23 (5): 39-50	臨床倫理検討からみた救命救急センターにおける終末期医療の現状と課題	松嶋麻子	救急・災害医学研究室
137	臨床栄養120:581-587, 2012	血糖管理に留意し栄養状態を確立した電撃性紫斑病の	高橋徳江	救急・災害医学研究室
138	Progress of Digestive Endoscopy .80(2): 52 -54 2012	H.pylori 陽性潰瘍に対するPPI/AM療法とPPI/AC療法の一次、二次除菌率の比較検討.	坂本 壮	救急・災害医学研究室
139	順天堂医学, 58: 436-440, 2012.	周術期肺血栓塞栓症スクリーニングにおける下肢静脈弁ポケット内血栓の検出に関する検討.	小松孝行	救急・災害医学研究室
140	日本臨床救急医学会雑誌16; 126-30, 2013	糖尿病性ケトアシドーシスに合併した急性壊死性食道炎の1例.	野村智久	救急・災害医学研究室
141	Allergol Int. 2012; 61(2): 275-282	Blood level of tacrolimus in patients with severe allergic conjunctivitis treated by 0.1% tacrolimus ophthalmic suspension.	Ebihara N	眼科学講座
142	Clin Ophthalmol. 2012; 6: 139-144	Multipurpose Soft Contact Lens Care in Japan.	Toshida H	眼科学講座
143	Int J Ophthalmic Pathol. 2012; 1(2): 1-3	Incidence of Benign and Malignant Eyelid Tumors in Japan.	Toshida H	眼科学講座
144	Jpn J Ophthalmol. 2012; 56(5): 436-440	Descemet Stripping Automated Endothelial Keratoplasty for Microcornea.	Toshida H	眼科学講座
145	J Nutr Sci Vitaminol. 2012; 58(4): 223-229	The effects of vitamin A compounds on hyaluronic acid released from cultured rabbit corneal epithelial cells and keratocytes.	Toshida H	眼科学講座
146	J Clin Experiment Ophthalmol. 2012 S4: 1-6	Retinal photocoagulation density in the treatment of neovascular glaucoma due to diabetic retinopathy	Hamanaka T	眼科学講座
147	Jpn J Ophthalmol. 2012; 56(1): 91-97	OPA1 mutations in Japanese patients suspected to have autosomal dominant optic atrophy.	Hamahata T	眼科学講座
148	Open J of Ophthalmol. 2012; 2: 110-113	Continuous wear of hydrogel contact lenses for therapeutic use.	Kudo D	眼科学講座
149	Jpn J Ophthalmol. 2012; 56(3): 280-287	Histopathologic analysis of the internal limiting membrane surgically peeled from eyes with diffuse diabetic macular edema.	Tamura K	眼科学講座
150	Case Report Ophthalmol. 2012; 3(2): 162-168	Case of unilateral peripheral cone dysfunction.	Mochizuki Y	眼科学講座
151	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012; 53(3): 1277-1284	Perlecan-Deficient Mutation Impairs Corneal Epithelial Structure.	Inomata T	眼科学講座
152	Ophthalmologica. 2012; 228(3): 174-180	Age-Related Changes in Spectral Transmittance of the Human Crystalline Lens in situ.	Sakanishi Y	眼科学講座
153	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012; 53(4): 1846-1851	Involvement of Plasminogen Activator Inhibitor-1 in the Pathogenesis of Atopic Cataracts.	Hori K	眼科学講座
154	Br J Ophthaomol. 2012; 96(9): 1272-1273	Filaggrin mutations are not associated with chronic allergic keratoconjunctivitis.	Iwamoto S	眼科学講座
155	Retina. 2012; 32(8): 1592-1600	Spectral domain optical coherence tomography imaging of retinal changes after conventional multicolor laser, subthreshold micropulse diode laser, or scanning laser therapy in Japanese with macular edema.	Inagaki K	眼科学講座
156	Allergy. 2012; 67(10): 1241-1249	The interaction between Lyn and Fc ϵ RI β is indispensable for Fc ϵ RI-mediated human mast cell	Okayama Y	眼科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
157	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012; 53(10):6495-6503	Involvement of periostin in regression of hyaloid vascular system during ocular development.	Arima M	眼科学講座
158	Trials. 2012; 13(1): 158	Reducing salt intake for prevention of cardiovascular diseases in high-risk patients by advanced health education intervention (RESIP-CVD study), Northern Thailand: study protocol for a cluster randomized trial.	Aung MN	眼科学講座
159	J Dent Res. 2012; 91(7 Suppl): 38-44	Cleft lip in oculodentodigital dysplasia suggests novel roles for connexin43.	Amano K	眼科学講座
160	Clin Ophthalmol. 2012; 6: 1585-1593	Efficacy of Retinol Palmitate Eye Drops for Dry Eye in Rabbits with Lacrimal Gland Resection.	Odaka A	眼科学講座
161	Clin Ophthalmol. 2012; 6: 1977-1980	Iris rubeosis and hyphema caused by chemical injury due to household detergent.	Suto C	眼科学講座
162	Infect Drug Resist. 2012; 5: 37-41	Conjunctival sac bacterial flora isolated prior to cataract surgery.	Suto C	眼科学講座
163	Neuropediatrics. 2012; 43(4): 225-228	A case of osteogenesis imperfecta type II caused by a novel COL1A2 gene mutation: endoscopic third ventriculostomy to prevent hydrocephalus.	Hachiya Y	眼科学講座
164	Am J Trop Med Hyg. 2012; 87(4): 658-662	ELISA with Recombinant rKRP42 Antigen Using Urine Samples: A Tool for Predicting Clinical Visceral Leishmaniasis Cases and Its Outbreak.	Mohammed Zahidul Islam	眼科学講座
165	Jpn J Ophthalmol. 2012; 56(4): 383-389	Japanese Intraocular Lymphoma Study Group: Clinical features and diagnostic significance of the intraocular fluid of 217 patients with intraocular lymphoma.	Kimura K	眼科学講座
166	Clin Ophthalmol. 2012; 6:1585-93	Efficacy of retinol palmitate eye drops for dry eye in rabbits with lacrimal gland resection.	Odaka A	眼科学講座
167	PLoS One. 2012; 7(2):e31530.	Origins of superior dynamic visual acuity in baseball players: superior eye movements or superior image	Uchida Y	眼科学講座
168	Am J Trop Med Hyg. 2012; 87(4):658-62	ELISA with recombinant rKRP42 antigen using urine samples: a tool for predicting clinical visceral leishmaniasis cases and its outbreak	Islam MZ	眼科学講座
169	J Dent Res. 2012; 91(7 Suppl):38S-44S.	Cleft lip in oculodentodigital dysplasia suggests novel roles for connexin43.	Amano K	眼科学講座
170	あたらしい眼科. 2012; 29(11): 1513-1514	眼内レンズ強膜内固定術(Y-fixation technique)	太田俊彦	眼科学講座
171	日コレ誌. 2012; 54(2): 111-115	シリコンハイドロゲルレンズのタンパク質および脂質に対する付着性の評価	土至田宏	眼科学講座
172	臨眼. 2012; 66(9): 1407-1410	DNA解析でAlternaria alternataによる角膜真菌症と診断した1例	岩本伶	眼科学講座
173	臨眼. 2012; 66(8): 1165-1168	増殖糖尿病網膜症に対する20ゲージ硝子体手術と25ゲージ硝子体手術成績の比較検討	堤典子	眼科学講座
174	あたらしい眼科. 2012; 29(2): 239-243	P-ANCA(抗好中球細胞質抗体)が高値を示した壊死性強膜炎の1例	中安絵理	眼科学講座
175	眼臨紀. 2012; 5(5): 456-458	Sotos症候群の眼科学的所見	浅田洋輔	眼科学講座
176	眼臨紀. 2012; 5(5): 452-455	眼科受診を契機に発見された小児脳腫瘍の3例	高橋史子	眼科学講座
177	眼科手術. 2012; 25(4): 591-592	強度近視に関連する黄斑部疾患に対する硝子体手術後	濱田真史	眼科学講座
178	眼科手術. 2012; 25(4): 605-608	術後脈絡膜出血に早期強膜開窓術が奏効した1例	稲垣圭司	眼科学講座
179	日眼会誌. 2012; 116(6): 568-574	糖尿病黄斑浮腫に対する直接凝固併用のマイクロパルスダイオードレーザー閥値下凝固の治療成績の検討	稲垣圭司	眼科学講座
180	日眼会誌. 2012; 116(5): 485-493	アレルギー性結膜疾患診断における自覚症状、他覚所見および涙液総IgE検査キットの有用性の検討	庄司純	眼科学講座
181	眼臨紀. 2012; 5(4): 315-321	Colenbrander, Esterman グリッドと日本の身障者視野判定法の比較	加茂純子	眼科学講座
182	眼臨紀. 2012; 5(4): 367-372	眼白子症が疑われた姉妹例	野村隆仁	眼科学講座
183	臨眼. 2012; 66(10): 1497-1502	慢性進行性外眼筋麻痺の口腔粘膜からの遺伝子診断	鳥居薫子	眼科学講座
184	Clin Neurol Neurosurg, 2012 [Epub ahead of print] No abstract available.	Unusual case of trigeminal neuralgia caused by remote effect of dermoid cyst in the ipsilateral cerebellar hemisphere	Esaki T	脳神経外科学講座
185	Neurobiol Aging, 2012; 33: 1807-1815	A unique N-glycan on human transferrin in CSF: a possible biomarker for iNPH	Futakawa S	脳神経外科学講座
186	J Neurosurg, 2012 [Epub ahead of print]	Hemihypoglossal nerve transfer for acute facial paralysis	Hayashi A	脳神経外科学講座
187	J Neurosurg, 2011; 115: 1147-1157	Nationwide investigation of the current status of therapeutic neuroendoscopy for ventricular and paraventricular tumors in Japan	Hayashi N	脳神経外科学講座
188	World Neurosurgery, 2012; 77: 399.E5-399.E8	Stepwise synchronization through the corpus callosum is one of myoclonic jerks	Iimura Y	脳神経外科学講座
189	EMBO Mol Med, 2012; 4: 344-352	Altered γ -secretase activity in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease	Kakuda N	脳神経外科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
190	Acta Neurochir, 2012; 154: 773-778	A proposal for standardized analysis of the results of microvascular decompression for trigeminal neuralgia and hemifacial spasm	Kondo A	脳神経外科学講座
191	Eur J Neurol, 2013; 20: 236-242	Soluble amyloid precursor protein α in the cerebrospinal fluid as a diagnostic and prognostic biomarker for idiopathic normal pressure hydrocephalus	Miyajima M	脳神経外科学講座
192	Acta Neurochir Suppl, 2012; 113: 103-107	Role of artificial cerebrospinal fluid as perfusate in neuroendoscopic surgery: a basic investigation	Miyajima M	脳神経外科学講座
193	Neurol Med Chir (Tokyo), 2012; 52: 775-809	Guidelines for management of idiopathic normal pressure hydrocephalus: second edition	Mori E	脳神経外科学講座
194	Neurologia medicochirurgica, 2012	Potential risk of artificial cerebrospinal fluid solution without magnesium ion for cerebral irrigation and perfusion in neurosurgical practice	Mori K	脳神経外科学講座
195	Innovative Neurosurgery, 2012	Preliminary experiences with near-infrared fluorescence image-guided meningioma removal after embolization with indocyanine green and Eudragit in ethanol solution: green embolization technique	Mori K	脳神経外科学講座
196	Brain Res, 2012; 1480: 72-80	Novel neuroprotective effect of cisternal and intracerebral magnesium sulfate solution infusion on delayed cerebral death in rat hippocampal neurons after transient global ischemia	Mori K	脳神経外科学講座
197	Br J Neurosurg, 2012; 26: 64-68	Effect of intrathecal magnesium sulfate solution injection via a microcatheter in the cisterna magna on cerebral vasospasm in the canine subarachnoid hemorrhage	Mori K	脳神経外科学講座
198	Acta Neurochir Suppl, 2012; 113: 97-101	Brain localization of leucine-rich α 2-glycoprotein and its role	Nakajima M	脳神経外科学講座
199	Journal of Neuroendovascular Therapy (JNET), 2012; 6: 98-	Endovascular parent artery occlusion of ruptured vertebral artery dissecting aneurysms	Nonaka S	脳神経外科学講座
200	J NeuroInterv Surg, 2012 [Epub ahead of print]	Endovascular therapy of internal carotid artery bifurcation aneurysms	Oishi H	脳神経外科学講座
201	AJNR American Journal of Neuroradiology, 2012; 958-964	Endovascular therapy of 500 small asymptomatic unruptured aneurysms	Oishi H	脳神経外科学講座
202	Annals of Neurology, 2012; 72: 373-384	Antihigh mobility group box-1 antibody therapy for traumatic brain injury	Okuma Y	脳神経外科学講座
203	J Neurosurg Pediatr, 2012; 10: 560-564	Familial nonsyndromic craniosynostosis with specific deformity of the cranium	Shimizu A	脳神経外科学講座
204	Am J otolaryngol, 2012; 33: 352-355	Carotid cavernous sinus fistula caused by dental implant-associated infection	Shimizu Y	脳神経外科学講座
205	Int J Alzheimers Dis, 2011; 352787	High throughput ELISAs to measure a unique glycan on transferrin in cerebrospinal fluid: a possible extension toward Alzheimer's disease biomarker development	Shirotani K	脳神経外科学講座
206	Neurol Med Chir, 2012: in press	Solitary epicranial neurofibroma with NF1-related germline mutation	Sugiyama N	脳神経外科学講座
207	Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism, 2012; 32: 1939-	Effects of therapeutic hypothermia on inflammasome signaling after traumatic brain injury	Tomura S	脳神経外科学講座
208	Surg Radiol Anat, 2012: in press	Convexity en plaque meningioma manifesting as subcutaneous mass	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
209	Surg Radiol Anat, 2012: in press	An anatomic study of the inferior oblique nerve with high-resolution magnetic resonance imaging	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
210	Childs Nerv Syst, 2012: in press	Venous lacunae presenting with unusual upward protrusion — an anatomic study using	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
211	J Clin Neurosci, 2012: in press	Genomic cause of multiple cerebral cavernous malformations in a Japanese population	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
212	Clin Neuroradiol, 2012: in press	Solitary spinal extradural plasmacytoma: a case report and literature review	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
213	Surg Radiol Anat, 2012; 34: 833-838	Visualization of the ophthalmic artery by phase-contrast magnetic resonance angiography: a pilot study	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
214	J Craniofac Surg, 2012; 23: 755-757	Expression of transforming growth factor- β 1, - β 2, and - β 3 in plagiocephalic fused and patent coronal suture	Ueda A	脳神経外科学講座
215	Acta Neurochir Suppl, 2012; 113: 91-96	Expression analysis of high mobility group box-1 protein (HMGB-1) in the cerebral cortex, hippocampus, and cerebellum of the congenital hydrocephalus (H-Tx) rat	Watanabe M	脳神経外科学講座
216	Neurosurgery, 2012 [Epub ahead of print]	Cerebellar Purkinje cells exhibit increased expression of HMGB-1 and apoptosis in congenital hydrocephalic H-Tx	Watanabe M	脳神経外科学講座
217	Clin Neurol Neurosurg, 2012; 114: 347-351	Temporary deterioration of executive function after subthalamic deep brain stimulation in Parkinson's	Yamanaka T	脳神経外科学講座
218	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg, 2012; 73: 397-400	New experimental model of terminal type aneurysms in Swine: technical note	Yatomi K	脳神経外科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
219	第13回日本正常圧水頭症研究会記録集, 2012; 69	内視鏡手術により治癒したクモ膜下出血後成人 Disproportionately Large Communicating Fourth Ventricle (DLCFV) の1例	屋田 修	脳神経外科学講座
220	BRAIN and NERVE, 2012; 64: 185-189	血小板ADP凝集能亢進と無症候性脳梗塞の相関に関する検討	小野健一郎	脳神経外科学講座
221	防衛衛生, 2012; 59: 87-94	自衛隊病院における救急医療の現状	小野健一郎	脳神経外科学講座
222	Neurosurgical Emergency, 2012; in press	細菌性脳動脈瘤の4例	堤佐斗志	脳神経外科学講座
223	脳神経外科ジャーナル, 2012; 20: 914-921	経上眼窩裂硬膜外前床突起切除術—3次元立体頭蓋底モデルを用いた解説を中心に—	森健太郎	脳神経外科学講座
224	日臨床会誌, 2012; 32: 980-984	本院における麻酔関連のインシデント・アクシデント報告	安本幸正	脳神経外科学講座
225	日本血管内治療学会誌, 2012; 13: 4-7	頸動脈ステント留置術の治療成績	山本宗孝	脳神経外科学講座
226	脳卒中の外科, 2012; 100-105	高位病変CEAに対する3D-CTA + 2D-CT 合成画像支援の有用性と限界	和田孝次郎	脳神経外科学講座
227	Edited by Schwab M, Springer Berlin Heidelberg, pp1673-1677, 2012	Hepatocellular carcinoma-Etiology, Risk Factors and Prevention. Encyclopedia of Cancer.	Ichida T	消化器内科学講座
228	Hepatology. 2012 Nov 29. doi: 10.1002/hep.26176. [Epub ahead of print] PMID: 23197466 [PubMed - as supplied by	Incidence of and risk factors for hepatocellular carcinoma in primary biliary cirrhosis: National data from Japan	Harada K	消化器内科学講座
229	J Hepatol. 2012 Nov 21. doi:pii: S0168-8278(12)00877-X. 10.1016/j.jhep.2012.11.009. [Epub ahead of print] PMID: 23178708 [PubMed - as supplied by publisher]	Comparison of resection and ablation for hepatocellular carcinoma: a cohort study based on a Japanese nationwide survey.	Hasegawa K	消化器内科学講座
230	Hepatology Res 2012; Sep 26. doi: 10.1111/j.1872-034X.2012.01109.x. [Epub ahead of print]	Prognosis of autoimmune hepatitis showing acute presentation.	Yamamoto K	消化器内科学講座
231	Am J Hum Genet. 2012 Oct 5;91(4):721-8	Genome-wide Association Study Identifies TNFSF15 and POU2AF1 as Susceptibility Loci for Primary Biliary Cirrhosis in the Japanese Population.	Nakamura M	消化器内科学講座
232	Clin Transplant. 2012 Apr 16. doi: 10.1111/j.1399-0012.2012.01627.x. [Epub ahead of print] PMID: 22507465 [PubMed - as supplied by	Steroid-free living donor liver transplantation for HCV - a multicenter prospective cohort study in Japan.	Marubashi S	消化器内科学講座
233	BMC Gastroenterol.,12,42:1-12,2012	Efficacy of omeprazole, famotidine, mosapride and teprenone in patients with upper gastrointestinal symptoms: an omeprazole-controlled randomized	Sakurai K	消化器内科学講座
234	J Gastroenterol Hepatol. ,Suppl,3:53-57,2012	Clinical feature of asymptomatic reflux esophagitis in patients who underwent upper gastrointestinal	Nagahara A	消化器内科学講座
235	J Gastroenterol Hepatol. ,Suppl,3:49-52,2012	Analysis of brain activity during visceral stimulation.	Hojo M	消化器内科学講座
236	Journal of Gastroenterology and Hepatology,27,3:510-	Impact of endoscopic submucosal dissection for the therapeutic strategy of large colorectal tumors.	Hotta K	消化器内科学講座
237	J Clin Gastroenterol.,46,10:888-	The origin of hyperamylasemia associated with peroral double-balloon endoscopy.	Shibuya T	消化器内科学講座
238	Internal Medicine,51,9:997-1001,2012	The Relationship between Physical Activity Level and Completion Rate of Small Bowel Examination in Patients Undergoing Capsule Endoscopy.	Shibuya	消化器内科学講座
239	Pancreatic Disorders&Therapy,2,2:,2012	Phase I clinical trial of peptide vaccination with KIF20A and VEGFR1 epitope peptides in patients with advanced pancreatic cancer.	Kato J	消化器内科学講座
240	PLoS One.,7,7:e42067,2012	Probiotic bacteria regulate intestinal epithelial permeability in experimental ileitis by a TNF-dependent	Corridoni D	消化器内科学講座
241	World J Gastroenterol.,18,39:5551-5559,2012	MUC5AC/ β -catenin expression and KRAS gene alteration in laterally spreading colorectal tumors.	Nakae K	消化器内科学講座
242	Journal of Gastroenterology ,47,4:433-443,2012	Loss of autophagy promotes murine acetaminophen hepatotoxicity.	Igusa Y	消化器内科学講座
243	Med Sci Monit. ,18,12:CS109-12,2012	Multiple carcinoid tumors of the small intestine preoperatively diagnosed by double-balloon endoscopy.	Lee SY	消化器内科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
244	Digestive Endoscopy,24,3:190,2012	Endoscopic mucosal resection using a cap-fitted panendoscope as a diagnostic procedure in a case of scirrhous gastric carcinoma.	Kodani T	消化器内科学講座
245	Evid Based Complement Alternat Med.,2012;40915,2012	Traditional Herbal Medicine, Rikkunshito, Induces HSP60 and Enhances Cytoprotection of Small Intestinal Mucosal Cells as a Nontoxic Chaperone Inducer.	Tamaki K	消化器内科学講座
246	Hepatology Research.,42,11:1112-	Suppression of autophagy sensitizes Kupffer cells to endotoxin.	Fukada H	消化器内科学講座
247	Hepatology Res,42,10:958-965,2012	Factors responsible for the discrepancy between IL28B polymorphism prediction and the viral response to peginterferon plus ribavirin therapy in Japanese chronic hepatitis C	Saito H	消化器内科学講座
248	Endoscopy, in press,2012	Traction device to remove adenoma in the appendiceal orifice by endoscopic submucosal dissection.	Takeda T	消化器内科学講座
249	Liver Int 2012; 32(9): 1382-1390	Up-regulated aldo-keto reductase family 1 member B10 in chronic hepatitis C: association with serum alpha-fetoprotein and hepatocellular carcinoma.	Sato S	消化器内科学講座
250	Tech Coloproctol.,16,3:247-250,2012	Endoscopic full-thickness resection of a lateral spreading rectal tumor after unplanned injection of dilute hyaluronic acid into the subserosal layer (with video).	Konuma H	消化器内科学講座
251	Hepatology Research.,42:150-165,2012	5-fluorouracil arterial infusion + interferon therapy for highly advanced hepatocellular carcinoma: A multicenter, randomized, phase II study.	Monden M	消化器内科学講座
252	J Gastroenterol Hepatol.,27;1388-139,2012	Molecular cloning reveals nearly a half of patients with Crohn's disease have an antibody to peroxiredoxin 6-like protein.	Iizuka M	消化器内科学講座
253	World J Gastroenterol.,48,36:5034-5041,2012	Sphingosine kinase 1 regulates migration of sinusoidal endothelial cells isolated from regenerating liver in rats.	Fu L	消化器内科学講座
254	...;2012	Combining quantitative serum HBsAg and HBcAb detection might decrease the risk of nosocomial HBV	Qin G	消化器内科学講座
255	PLoS one,7,6:38322,2012	Genetic Polymorphisms of the Human PNPLA3 Gene Are Strongly Associated with Severity of Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in Japanese.	Kawaguchi T	消化器内科学講座
256	Cell Metabolism,16,1;2012	Hyperresponsivity to Low-Dose Endotoxin during Progression to Nonalcoholic Steatohepatitis Is Regulated by Leptin Mediated Signaling p44.	Imajo K	消化器内科学講座
257	Progress of Digestive Endoscopy ,81,2:138-139,2012	診断に難渋した大腸びまん浸潤型印環細胞癌の1例.	別府加寿子	消化器内科学講座
258	INTESTINE,16,6:579-585,2012	NBIで逆浸潤所見を認めた小型進行直腸癌の1例.	村上敬	消化器内科学講座
259	順天堂医学,58,4:319-324,2012	ジェテルニトロソアミン投与後肝障害におけるオートファジーの関与について.	米合古麗阿不都雪克	消化器内科学講座
260	肝臓2012; 53(10): 586-590	血液製剤によるHIV-HCV重複感染者の予後-肝移植適応に関する考察	高槻光寿	消化器内科学講座
261	ISRN Vascular Medicine, Article ID 358426, 6 pages	Pentraxin 3 (PTX 3) Released from Neutrophils Increases	Inoue K	循環器内科学講座
262	Heart Vessels. 2012 Nov;27(6):639-42. doi: 10.1007/s00380-012-0231-z	Transbrachial intra-aortic balloon pumping for a patient with fulminant myocarditis.	Okai I	循環器内科学講座
263	Mol Cell Proteomics. 2012 Jun;11(6):M111.015073	The proteomic profile of circulating pentraxin 3 (PTX3) complex in sepsis demonstrates the interaction with azurocidin 1 and other components of neutrophil extracellular traps.	Daigo K	循環器内科学講座
264	PLoS One. 2012;7(9):e45834. doi: 10.137	Human pentraxin 3 (PTX3) as a novel biomarker for the diagnosis of pulmonary arterial hypertension.	Tamura Y	循環器内科学講座
265	J Hosp Med. 2012 Nov-Dec;7(9):702-5	Predicting bacteremia based on nurse-assessed food consumption at the time of blood culture.	Komatsu T	循環器内科学講座
266	Int J Cardiol. 2012; 58: 272-278	Prevalence of computed tomographic angiography-verified high risk plaques and significant luminal stenosis in patients with zero coronary calcium score.	Morita H	循環器内科学講座
267	JACC Cardiovasc Interv. 2012; 5: 636-43	Kodama T, Kondo T, Oida A, Fujimoto S, Narula J. Computed tomographic angiography-verified plaque characteristics and slow-flow phenomenon during percutaneous coronary intervention.	Kodama T	循環器内科学講座
268	Circ J. 2012; 76: 2419-2425	Coronary Computed Tomography Angiography-Based Coronary Risk Stratification in Subjects Presenting With No or Atypical Symptoms.	Fujimoto S	循環器内科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
269	JACC Cardiovasc Imaging, 2012; 5: 1181-1182	Delayed plaque enhancement by coronary CT angiography.	Fujimoto S	循環器内科学講座
270	Journal of Arrhythmia, 2012; 28: 239-241	Twiddler's Syndrome detected by Patient's Complaints of Implantable Cardioverter-Defibrillator Rotation in the Subcutaneous Pocket	Hirokazu Konishi	循環器内科学講座
271	J Cardiol. 2012 Sep;60(3):168-73. doi: 10.1016/j.jjcc.2012.03.008. Epub 2012 May 31. PMID: 22658694 [PubMed - PLoS ONE 7(4): e35353. doi:10.1371/journal.pone.0035353	Clinical significance of the measurements of urinary liver-type fatty acid binding protein levels in patients with acute coronary syndrome.	Matsumori R	循環器内科学講座
272	Heart 2010;98:1067-1071.	Multistep Ion Channel Remodeling and Lethal Arrhythmia Precede Heart Failure in a Mouse Model of Inherited Dilated Cardiomyopathy.	Suzuki T	循環器内科学講座
273	J Arrhythmia 2012;28:187-191.	Effectiveness of amiodarone versus bepridil in achieving conversion to sinus rhythm in patients with persistent atrial fibrillation: a randomized trial	Miki Yamase	循環器内科学講座
274	Biochem Biophys Res Commun 2012;423:672-678.	The use of serum bepridil concentration as a safe rhythm control strategy in patients with atrial	Miura S	循環器内科学講座
275	J Cardiol. 2012;60:42-46.	Enhanced accumulation of adipocytes in bone marrow stromal cells in the presence of increased extracellular and intracellular [Ca ²⁺].	Hashimoto R	循環器内科学講座
276	PLoS ONE 8(1): e55514. doi:10.1371/journal.pone.005555	Relationship between 24-h Holter recordings and clinical outcomes in patients with permanent atrial fibrillation.	Hirano K	循環器内科学講座
277	J HK Coll Cardiol 20:31-37, 2012	Usefulness of running wheel for detection of congestive heart failure in dilated cardiomyopathy mouse model.	Sugihara M	循環器内科学講座
278	Hepatology. 2012 Dec;56(6):2199-208. doi:	Effective refractory periods in the right atrium in patients with atrioventricular nodal reentrant	Tokano T	循環器内科学講座
279	Am J Cardiol. 2012; 110: 203-207.	Elovl6 promotes nonalcoholic steatohepatitis.	Matsuzaka T	循環器内科学講座
280	Intern Med, 2012; 51; 2271-2276.	Usefulness of Prominently Projected Aortic Arch on Chest Radiograph to Predict Severe Tortuosity of the Right Subclavian or Brachiocephalic Artery in Patients Aged >44 Years Undergoing Coronary Angiography With a Right Radial Artery Approach	Nishizaki Y	循環器内科学講座
281	Circulation Journal 2012;77:P456-461	Red Blood Cell Distribution Width as an Effective Tool for Detecting Fatal Heart Failure in Super-Elderly	Yuji Nishizaki	循環器内科学講座
282	順天堂医学 vol. 58, No.4 p.293-302, 2012	Impact of Baseline Blood Pressure in Diabetic Patients After PCI < Can Optimal Blood Pressure Improve	Syuta Tsuboi	循環器内科学講座
283	Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi, 2012; 68: 50-58	新規血管炎症反応性蛋白Pentraxin 3の測定系開発から臨床展開へ		循環器内科学講座
284	Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi, 2012; 68: 951-960	Reconstruction of coronary 64-multidetector-row computed tomography angiography in patients with atrial fibrillation: delete short RR intervals using	Matsutani H	循環器内科学講座
285	Journal of Cardiology(0914-5087)60巻3-4 Page168-173(2012.10)	Comparison of the Probability of Meeting Up with Premature Contraction during Scanning in 320-area Detector Computed Tomography with That in 64-multidetector CT Coronary Angiography.	Sano T	循環器内科学講座
286	順天堂医学, 2012; 58:44-48.	急性冠症候群患者における尿中肝臓型脂肪酸結合タンパク質値測定の臨床的意義	Matsumori Rie	循環器内科学講座
287	心臓, 44:448, 2012	拡張型心筋症モデルマウス左室心筋における催不整脈性に関する検討-交感神経と副交感神経刺激に対する反応の違いに注目して-	鈴木 剛	循環器内科学講座
288	心臓, 44(suppl.2):56-62, 2012	心室中隔穿孔を合併した急性下壁心筋梗塞の1例	藤原康昌	循環器内科学講座
289	RAJ Journal, No11:12-13, Spring, 2012	うつ病に対する修正型電気けいれん療法によって誘発されたwide QRS頻拍の1例	小田切史徳	循環器内科学講座
290	日本心血管インターベンション治療学会誌4巻2号 Page104-109, 2012.	動脈硬化とRAA系: 動脈硬化と心疾患	三浦 誠司	循環器内科学講座
291	Journal of Cardiology(0914-5087)60巻3-4 Page168-173(2012.10)	胸痛とニトログリセリンの舌下投与にて改善するST低下が認められた急性肺血栓塞栓症の1例	大井川 哲也	循環器内科学講座
292	Internal Medicine, 2012; 51: 1835-1840	急性冠症候群患者における尿中肝臓型脂肪酸結合タンパク質値測定の臨床的意義	Matsumori Rie	循環器内科学講座
293	J Clin Oncol, 2012; 31(6): e69-72	The effect of comorbidity on the prognosis of acute lung injury and acute respiratory distress syndrome.	Ando K	呼吸器内科学講座
294		Possible role of tocilizumab, anti-interleukin 6 receptor antibody, the new approach to cancer cachexia.	Ando K	呼吸器内科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
295	European Journal of Radiology, 2012; 81: 3925-3930	Quantitative CT analysis of small pulmonary vessels in Lymphangioleiomyomatosis.	Ando K	呼吸器内科学講座
296	Geriatr Gerontol Int, 2012; 12(2): 277-83	Factors influencing weaning from mechanical ventilation in elderly patients with severe pneumonia.	Fujii M	呼吸器内科学講座
297	Hum Pathol, 2012; 43: 1777-1784	Uterine angiosarcoma associated with lymphangioleiomyomatosis in a patient with tuberous sclerosis complex: an autopsy case report with immunohistochemical and genetic analysis.	Hayashi T	呼吸器内科学講座
298	J Med Case Rep, 2012; 6: 193	Malignant lymphoma with diffuse cardiac involvement detected by multiple imaging examinations: a case	Ishiwata T	呼吸器内科学講座
299	Neoplasma, 2012; 59(3): 257-63	¹⁸ F-FDG uptake on PET could be a predictive marker of excision repair cross-complementation group 1 (ERCC1) expression in patients with thoracic neoplasms?	Kaira K	呼吸器内科学講座
300	Juntendo Medical Journal, 2012; 58(6): 506-511	Effect of continuation of chemotherapy on quality of life in elderly patients with lung cancer -Comparison with that in younger patients-	Koyama R	呼吸器内科学講座
301	Am J Respir Cell Mol Biol, 2012; 47(3): 298-305	Blockade of CD70-CD27 iponteraction inhibits induction of allergic lung inflammation in mice.	Makino F	呼吸器内科学講座
302	Cancer Sci, 2012; 103(11): 1946-1954	Hypoxia induces gefitinib resistance in non-small-cell lung cancer with both mutant and wild-type epidermal growth factor receptors.	Minakata K	呼吸器内科学講座
303	J Thorac Dis, 2012; 4(6): 562-8	Hydration with magnesium and mannitol without furosemide prevents the nephrotoxicity induced by cisplatin and pemetrexed in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Muraki K	呼吸器内科学講座
304	J Thorac Dis, 2012; 4(6): 562-568	Hydration with magnesium and mannitol without furosemide prevents the nephrotoxicity induced by cisplatin and pemetrexed in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Muraki K	呼吸器内科学講座
305	The Journal of the Japan Society for Respiratory Endoscopy(気管支学), 2012;	A case of pseudomembranous aspergillus tracheobronchitis in an asthma patient receiving inhaled corticosteroid therapy.	Nagashima O	呼吸器内科学講座
306	J Thorac Dis, 2012; 5: 27-30	High prevalence of gene abnormalities in young patients with lung cancer.	Nagashima O	呼吸器内科学講座
307	Intern Med, 2012; 51: 2673	Acute hemorrhage in a giant bulla.	Nagashima O	呼吸器内科学講座
308	Anticancer Res, 2012; 32(2): 675-80	Comparison of vinorelbine plus cisplatin and s-1 plus cisplatin in concurrent chemoradiotherapeutic regimens for unresectable stage III non-small cell lung cancer.	Shukuya T	呼吸器内科学講座
309	Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine. Evid Based Complement Alternat Med. 2012;2012:976926. doi: 10.1155/2012/976926. Epub	Hochuekkito (TJ-41), a Kampo Formula, Ameliorates Cachexia Induced by Colon 26 Adenocarcinoma in Mice.	Yae S	呼吸器内科学講座
310	Nature Communications, 2012; 3(883)	Alternative splicing of CD44 mRNA by ESRP1 enhances lung colonization of metastatic cancer cell.	Yae T	呼吸器内科学講座
311	J Thorac Dis, 2012; 4(3): 259-264	Pulmonary rehabilitation program including respiratory conditioning for chronic obstructive pulmonary disease(COPD): Improved hyperinflation and expiratory flow during tidal breathing.	Yoshimi K	呼吸器内科学講座
312	日本呼吸器学会雑誌, 2012; 1(1): 51-55	出血性胃潰瘍を合併し、貧血に鑑別に苦慮した特発性血小板減少性紫斑病合併肺癌の1例.	安藤克利	呼吸器内科学講座
313	呼吸, 2012; 31(6): 570-574	大量胸水で発症し、胸膜癒着術が奏功したリンパ形質細胞性リンパ種の1例.	安藤克利	呼吸器内科学講座
314	THE LUNG perspectives, 2012; 20(3): 222-227	頭蓋内類上皮血管内皮腫で発症し、胸膜、肺病変を伴い進行がきわめて急速であった若年者の1例.	加藤元康	呼吸器内科学講座
315	順天堂医学, 2012; 58: 288-292	【医学研究のUP-TO-DATE】乳癌の浸潤・転移・治療抵抗性のメカニズムの検討.	高橋史行	呼吸器内科学講座
316	癌と化学療法, 2012; 39(9): 1357-1361	非小細胞肺癌におけるGefitinib投与後のErlotinibの有効性に関する後ろ向き検討.	村上朗子	呼吸器内科学講座
317	順天堂医学, 2012; 58(5): 465	成人気管支喘息におけるストレスの関与の検討.	熱田了	呼吸器内科学講座
318	Case Rep Nephrol Urol., 2:145-151,2012	Campylobacter bacteremia in hemodialysis patients by eating raw meat-the importance of sanitary education	Shimizu Y	腎臓内科学講座
319	Clin Nephrol., Dec 4,2012	Hyaline vascular type of unicentric Castleman's disease with proliferation of glomerular endothelial cells	Wakabayashi K	腎臓内科学講座
320	Casa Rep Nephrol Urol., 2:6-10,2012	Thyroid storm masked by hemodialysis and glucocorticoid therapy in a patients with rheumatoid	Sasaki Y	腎臓内科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
321	Autophagy, 8:445-544,2012	Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy.	Klionsky DJ	腎臓内科学講座
322	J Am Soc Nephrol.23:1579-87. 2012	Autoantibodies targeting galactose-deficient IgA1 associate with progression of IgA nephropathy.	Berthouix F	腎臓内科学講座
323	Hong Kong Journal of Nephrology. 14:48-53, 2012	Relationship between acceleration plethysmography and aortic calcification index in chronic kidney disease	Inuma J	腎臓内科学講座
324	J Artif Organs. 15:272-282, 2012	Differentiation of bone marrow-derived cells into regenerated mesothelial cells in peritoneal remodeling using a peritoneal fibrosis mouse model.	Sekiguchi Y	腎臓内科学講座
325	J Cell Mol Med. 16:1934-1945,2012	Rapamycin inhibits transforming growth factor β -induced peritoneal angiogenesis by blocking the secondary hypoxic response.	Sekiguchi Y	腎臓内科学講座
326	Diabetes Care, 35:1112-1118, 2012	Significance of urinary full-length and ectodomain forms of megalin in patients with type 2 diabetes	Ogasawara S	腎臓内科学講座
327	Am J Physiol Renal Physiol. 302: F380-F389,2012	Doxorubicin-induced glomerulosclerosis with proteinuria in GFP-GABARAP transgenic mice	Takagi-Akiba M	腎臓内科学講座
328	J Nephrol 25: 794-801, 2012	Risk factors associated with increased left ventricular mass index in chronic kidney disease patients evaluated using echocardiography	Matsumoto M	腎臓内科学講座
329	Am J Nephrol. 35:58-68,2012	Effects of 22-oxa-calcitriol on podocyte injury in adriamycin-induced nephrosis.	Lydia A	腎臓内科学講座
330	Med Mol Morphol. 45 : 29-34. 2012	Significance of broad distribution of electron-dense deposits in patients with IgA nephropathy	Kusaba G	腎臓内科学講座
331	The Journal of International medical research, 40:340-349, 2012	Asymmetric dimethylarginine: a novel cardiovascular risk factor in End-stage renal disease	M Yusuf Alsagaff	腎臓内科学講座
332	Mod Rheumatol, 22:394-404, 2012	Severity-based treatment for Japanese patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: the JMAAV study	S Ozaki	腎臓内科学講座
333	Nephrol Dial Transplant, 27:1090-1097,2012	Tonsillar TLR9 expression and efficacy of tonsillectomy with steroid pulse therapy in IgA nephropathy patients	Sato D	腎臓内科学講座
334	J Nephrol, 25:127-136,2012	Identification of quantitative trait loci for diabetic nephropathy in KK-Ay/Ta mice	Aoki T	腎臓内科学講座
335	J Int Med Res. 40:340-349, 2012	Asymmetric dimethylarginine: a novel cardiovascular risk factor in end-stage renal disease	Alsagaff MY	腎臓内科学講座
336	Clin Chim Acta. 413: 1087-1091, 2012	A new screening method for proteinuria using Erythrosin B an automated analy- -rapid, sensitive and inexpensive determination	Horikoshi S	腎臓内科学講座
337	J Biomed Biotechnol. 2012;2012:476739.Epub2012 Apr.10	Pathological scenario with the mannose-binding lectin in patients with IgA nephropathy	Ohsawa I	腎臓内科学講座
338	J Nephrol. 26: 375-384, 2012	Acceleration of crescent formation by L1 retrotransposon in mouse BSA-induced Nephritis	Mugitani N	腎臓内科学講座
339	J Nephrol. 2012 Jun 7:0. doi: 10.5301/jn.5000151. [Epub ahead of print]	A histologic classification of IgA nephropathy for predicting long-term prognosis: emphasis on end-stage renal disease.	Kawamura T	腎臓内科学講座
340	Clin J Am Soc Nephrol. 7:1385-1393,2012	Relationships between levels of urinary podocalyxin, number of urinary podocytes, and histologic injury in adult patients with IgA nephropathy.	Asao R	腎臓内科学講座
341	Nephrol Dial Transplant. 2012 Jul 6. [Epub ahead of print]	Extraglomerular C3 deposition and metabolic impacts in patients with IgA nephropathy.	Ohsawa I	腎臓内科学講座
342	J Am Soc Nephrol. 23:1364-74,2012	Development of a model of early-onset IgA nephropathy	Okazaki K	腎臓内科学講座
343	J Clin Lab Anal. 26:248-253,2012	Risk of Overestimation of Kidney Function Using GFR-Estimating Equations in Patients with Low Inulin	Nakata J	腎臓内科学講座
344	Diabetologia. 2012 Aug 2. [Epub ahead of print]	Urinary podocalyxin is an early marker for podocyte injury in patients with diabetes: establishment of a highly sensitive ELISA to detect urinary podocalyxin.	Hara M	腎臓内科学講座
345	J Pharmacol Sci. 119 :359-367,2012	N-type calcium channel inhibition with Cilnidipine elicits glomerular podocyte protection independent of sympathetic nerve inhibition	Lei B	腎臓内科学講座
346	Am J Pathol. 181(4):1338-1347,2012	Determination of Severity of Murine IgA Nephropathy by Glomerular Complement Activation by Aberrantly Glycosylated IgA and Immune Complexes.	Hashimoto A	腎臓内科学講座
347	Exp Diabetes Res.:702948. Epub 2012 Jul 26	Effect of Exercise on Kidney Function, Oxidative Stress, and Inflammation in Type 2 Diabetic KK-A(y) Mice.	Ishikawa Y	腎臓内科学講座
348	J Diabetes Mellitus 2: 346-352, 2012	Podocyte loss and albuminuria of KK-Ay mouse: A spontaneous animal model for human type 2 diabetic nephropathy	Ishikawa Y	腎臓内科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
349	J Nephrol 25:726-731, 2012	Relationship between preoperative radial artery and postoperative arteriovenous fistula blood flow in hemodialysis patients.	Sato M	腎臓内科学講座
350	Hong Kong J Nephrol 14: 7-16, 2012.	Patterns of matrix metalloproteinases and transforming growth factor-beta 1 expression during peritoneal repair in chlorhexidine induced peritoneal fibrosis mice	Aruga S	腎臓内科学講座
351	Hong Kong J Nephrol 14: 17-23, 2012.	Beneficial effect of Astragalus membranaceus on estimated glomerular filtration rate in patients with progressive chronic kidney disease.	Okuda M	腎臓内科学講座
352	J Artif Organs 16:66-73, 2012.	Pentraxin 3 as a new biomarker of peritoneal injury in peritoneal dialysis patients.	Kanda R	腎臓内科学講座
353	Clin Nephrol 79:7-14, 2012.	Predictive factors associated with change rates of LV hypertrophy and renal dysfunction in CKD patients.	Okumura K	腎臓内科学講座
354	J Am Soc Nephrol 23: 516-524, 2012	Circulating TNF receptors 1 and 2 predict Stage 3 CKD in type 1 diabetes.	Gohda T	腎臓内科学講座
355	J Am Soc Nephrol 23: 507-515, 2012	Circulating TNF receptors 1 and 2 predict ESRD in type 2 diabetes.	Niewczas MA	腎臓内科学講座
356	Am J Physiol Renal Physiol 303: F157-162, 2012	Elevated urinary excretion of immunoglobulins in non-proteinuric patients with type 1 diabetes.	Gohda T	腎臓内科学講座
357	Kidney Int 82: 589-597, 2012	The early decline in renal function in patients with type 1 diabetes and proteinuria predicts the risk of end-stage renal disease.	Skupien J	腎臓内科学講座
358	J Dermatol. 2012 Dec;39(12):1088-9.	Successfully maintained hemodialysis for the treatment of chronic renal failure in a patient with Hallopeau-Siemens type recessive dystrophic epidermolysis	Iida H	腎臓内科学講座
359	Clin Kidney J, 2012; 5: 401-404	An analysis of functional activity via the three complement pathways during hemodialysis sessions: a new insight into the association between the lectin	Inoshita H	腎臓内科学講座
360	Allergol Int. 2012; 61(4): 559-62	Guideline for Hereditary Angioedema (HAE) 2010 by the Japanese Association for Complement Research - Secondary Publication.	Horiuchi T	腎臓内科学講座
361	Nephron Extra. 2012 Sep 27;2(1):256-68.	Effects of acetate-free citrate dialysate on glycoxidation and lipid peroxidation products in hemodialysis patients.	Masuda A	腎臓内科学講座
362	J Am Soc Nephrol 23: 438-46, 2012.	O-glycosylated IgA rheumatoid factor induces IgA deposits and glomerulonephritis. Otani M, Nakata J, Kihara M, Leroy V, Moll S, Wada Y, Izui S.	Otani M	腎臓内科学講座
363	J Am Soc Nephrol 23: 1869-78, 2012.	Sialylation determines the nephritogenicity of IgG3 cryoglobulins. J Am Soc Nephrol 23: 1869-78, 2012.	Otani M	腎臓内科学講座
364	Nephrol Dial Transplant. Epub 2012 Nov 6.	Experimental evidence of cell dissemination playing a role in pathogenesis of IgA nephropathy in multiple	Nakata J	腎臓内科学講座
365	J Autoimmun. 38: 361-8, 2012	Sgp3 and TLR7 stimulation differentially alter the expression profile of modified polytropic retroviruses implicated in murine systemic lupus.	Leroy V	腎臓内科学講座
366	J Am Soc Nephrol 23: 1579-1587, 2012	Serum autoantibodies specific for galactose-deficient IgA1 associate with disease progression in IgA nephropathy. J Am Soc Nephrol 23: 1579-1587, 2012	Berthouix F	腎臓内科学講座
367	PLoS Genet 8: e1002765, 2012	Geographic Differences in Genetic Susceptibility to IgA Nephropathy: GWAS Replication Study and Geospatial Risk Analysis.	Kiryluk K	腎臓内科学講座
368	日内誌、101:3513-3515、2012	急性腎障害により意識障害を呈する高マグネシウム血症を発症した1症例	久田温子	腎臓内科学講座
369	順天堂医学、58:168-172、2012	2型糖尿病腎症における血清蛋白の早期糸球体障害マーカーとしての有用性	齋藤憲祐	腎臓内科学講座
370	心臓、44:123-130、2012	オルメサルタンによる降圧治療の有用性の検討 CKD原疾患別降圧度と腎保護作用の分析	堀越 哲	腎臓内科学講座
371	透析会誌、45:367-373、2012	回腸末端部の石灰化が進行し、腹膜透析離脱5年後に被嚥性腹膜硬化症を発症した1症例	山初あや	腎臓内科学講座
372	順天堂医学58:78-79、2012.	腎炎・ネフローゼ症候群における食事指導.	篠宮真理	腎臓内科学講座
373	順天堂医学58:80-84、2012.	腎不全における食事指導.	渡邊真理子	腎臓内科学講座
374	日本成人病(生活習慣病)学会会誌. 2012; 38: 66	IgA腎症における経時的な血清IgA・C3値の変動とその臨床的意義	鈴木日和	腎臓内科学講座
375	腎と透析(0385-2156)73巻別冊 腹膜透析2012 Page205-206	腹膜組織障害における中性透析液の効果 多施設共同研究	濱田 千江子	腎臓内科学講座
376	腎と透析(0385-2156)73巻別冊 腹膜透析2012 Page29-31	日本発PD療法のエビデンスを目指して Japan Fluid Studyからの報告	小畑 陽子	腎臓内科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
377	Surg Innov Epub,2012 Jun 13	Oophorectomy for fertility preservation via reduced-port laparoscopic surgery.	Kikuchi I	産婦人科学講座
378	Reprod Med Biol,2012; 11: 95-100	Use of magnetic resonance analysis for clinical evaluation of the peripheral area of gestational sac in bleeding and non-bleeding ectopic pregnancy cases.	Kuroda M	産婦人科学講座
379	Fertil Steril, 2012; 98:30-5	Risks of adverse pregnancy outcome in endometriosis.	Brosens IA	産婦人科学講座
380	J Obstet Gynaecol Res,2012;38:1187-93	Histological assessment of impact of ovarian endometrioma and laparoscopic cystectomy on ovarian	Kuroda M	産婦人科学講座
381	ISRN Obstetrics and Gynecology, vol. 2012, Article ID 854064, 8 pages, 2012. doi:10.5402/2012/854064.	A retrospective analysis of transfusion management for obstetric hemorrhage in a Japanese obstetric center.	Matsunaga S	産婦人科学講座
382	Heparin/heparin sulphate/CD44v3 enhance cell migration in term placenta-derived immortalized human	Heparin/heparin sulphate/CD44v3 enhance cell migration in term placenta-derived immortalized human trophoblast cells.	Naoko Suga	産婦人科学講座
383	Hum Experim Toxicol,2012;31:550-556	Effect of transient TCDD exposure on immortalized human trophoblast-derived cell lines.	Fukushima K	産婦人科学講座
384	Genes Cells,2012 May 31;doi: 10.1111/j.1365-2443.2012.01608.x. [Epub ahead of print]	Role of intercellular adhesion molecule-2 in osteoclastogenesis.	Li X	産婦人科学講座
385	Journal of Medical Ultrasonics,05/2012; 38(1):21-	Attempt to quantify uterine involution using acoustic radiation force impulse before and after placental	Tanaka T	産婦人科学講座
386	Human pathology,06/2012; DOI:10.1016/j.humpath.2012.03.020	Uterine angiosarcoma associated with lymphangioleiomyomatosis in a patient with tuberous sclerosis complex: an autopsy case report with immunohistochemical and genetic analysis.	Hayashi T	産婦人科学講座
387	Journal of Medical Ultrasonics,04/2012; 36(3):149-152.	Evaluation of congenital left ventricular aneurysm in the fetus by velocity vector imaging.	Makino S	産婦人科学講座
388	Pediatric Surgery International,08/2012; DOI:10.1007/s00383-012-3148-9	thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	産婦人科学講座
389	J Int Med Res,2012; 40: 1459-1466	A mathematical model for predicting outcome in preterm labour.	Takagi K	産婦人科学講座
390	Stem cell Res Ther 2012, S7:003.doi:10.4172/2157-7633.S7-003	Side-population cells derived from non-tumorigenic rat endometrial cells are a candidate cell of origin for malignant endometrial tumors.	Kato K	産婦人科学講座
391	J Reprod Dev,2012 Sep 14;[Epub ahead of print]PMID:	Oxidative Stress Produced by Xanthine Oxidase Induces Apoptosis in Human Extravillous Trophoblast Cells.	Murata M	産婦人科学講座
392	Am J Reprod Immunol,2012 May;67(5):413-420.	Effect on the production of soluble endoglin from human choriocarcinoma cells by preeclampsia sera	Aoki Y	産婦人科学講座
393	J Min Invasive Gynecol,2012,19(2): 252-254	Unusual trocar site metastasis in a uterine leiomyosarcoma after laparoscopic hysterectomy.	Ota T	産婦人科学講座
394	Hum Pathol,2012;43(10):1777-84	Uterine angiosarcoma associated with lymphangioleiomyomatosis in a patient with tuberous sclerosis complex: an autopsy case report with immunohistochemical and genetic analysis.	Hayashi T	産婦人科学講座
395	Pediatr Int,2012 Jun;54(3):350-5	Transmission of the major skin microbiota, Malassezia, from mother to neonate.	Nagata R	産婦人科学講座
396	Arch Gynecol Obstet,2012 Apr;285(4):1073-7	Retrospective analysis of the efficacy of perioperative use of the cell salvage and autologous blood recovery system during laparoscopic myomectomy.	Kumakiri J	産婦人科学講座
397	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌(1884-9938)2012,08;28(1):453-458	2孔式腹腔鏡下筋腫核出術におけるEZアクセスの有用性	坂本 愛子	産婦人科学講座
398	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌(1884-9938)27巻2号 Page405-411(2011.12)	開腹既往例に対して腹腔鏡左下腹部open法を施行し外腸骨動脈を損傷した1例 多施設アンケートによる開腹既往例に対する腹腔鏡手術アプローチ法の検討	坂本 愛子	産婦人科学講座
399	東京産科婦人科学会会誌,2012;61(1):127-131	妊娠18週に子宮破裂を発症した子宮奇形妊娠の1例	矢田 昌太郎	産婦人科学講座
400	東京産科婦人科学会会誌,2012;61(2):299-303	卵巣移行上皮癌の1例	阿部 弥生	産婦人科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
401	東京産科婦人科学会会誌,2012;61(3):459-462	左下肢コンパートメント症候群を合併した子宮体癌の1例	村瀬 佳子	産婦人科学講座
402	日本エンドメトリオシス学会会誌,2012;33:172-174	ジェノゲスト投与による子宮内病変の変化	近藤 春裕	産婦人科学講座
403	関東連合産科婦人科学会誌(2186-0610),2012;49(1):199-	がんばろう日本 がんばろう産婦人科 大震災から-私たちが伝えたいこと- 東日本大震災と産婦人科医師派遣対応	竹田 純	産婦人科学講座
404	東京産科婦人科学会会誌(2186-0599),2012;61(1):137-	前期破水による緊急帝王切開術後に腹腔内ドレナージ術を要した重症子宮創部感染の1例	小泉 朱里	産婦人科学講座
405	Bone Marrow Transplant, 2012; 47(5): 742-743	Non-myeloablative allogenic BMT for myelodysplastic syndrome successfully controlled accompanying relapsing polychondritis.	Tomomatsu J	血液学講座
406	Clin Cancer Res, 2012; 18(8): 2164-2172	Expression of Epstein-Barr virus-encoded proteins in extranodal NK/T-cell Lymphoma, nasal type (ENKL): differences in biologic and clinical behaviors of LMP1-positive and -negative ENKL.	Kanemitsu N	血液学講座
407	Geriatrics and Gerontology International, 2012; 12(4): 762-764	C-kit-positive acute myelogenous leukemia effectively treated with imatinib: a case report and review of the literature.	Ichikawa K	血液学講座
408	Histopathology, 2012; 60(3): 519-522	CD4(+) CD8(-) T cell large granular lymphocytic leukaemia with central nervous system involvement.	Ichikawa K	血液学講座
409	Intern Med. , 2012; 51(11): 1393-1398.	Response to low-dose bortezomib in plasma cell leukemia patients with malignant pleural effusion and ascites: A case report and a review of the literature.	Sekiguchi Y	血液学講座
410	Intern Med. , 2012; 51(15): 1977-1981	Diagnostic problems among chronic lymphocytic leukemia and other indolent B-cell leukemias in a	Isobe Y	血液学講座
411	Intern Med. , 2012; 51(19): 2781-2783	Attainment of a stringent complete response in multiple myeloma with thalidomide monotherapy.	Aritaka N	血液学講座
412	Journal of Clinical and Experimental Hematopathology, 2012; 52(3): 211-218	Epstein-Barr virus-negative, CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma developing after treatment with oral tacrolimus for mixed connective tissue disease: A case report and review of the literature	Sekiguchi Y	血液学講座
413	J Clin Pathol, 2012; 65(3): 278-282	T/NK cell type chronic active Epstein-Barr virus disease in adults: an underlying condition for Epstein-Barr virus-associated T/NK-cell lymphoma	Isobe Y	血液学講座
414	World J Surg Oncol, 2012; 10(1): 58	Problems of primary T-cell lymphoma of the thyroid gland--a case report.	Yokoyama J	血液学講座
415	内科, 2012; 109: 543-546	髄膜刺激徴候を呈した Dengue 熱に1例	山田貴彦	血液学講座
416	日本臨床, 血液症候群 第2版 (I), 2012; 65-69	先天性赤血球異形成貧血について	筒井深雪	血液学講座
417	臨床血液, 2012; 53: 531-534	寛解導入療法中にL-アスパラギナーゼによると思われる劇症肝炎を併発した急性リンパ性白血病	筒井深雪	血液学講座
418	Juntendo Medical Journal, 2012; 58: 135-42.	Clinical manifestation and classification of Japanese patients with inherited keratinizing disorders.	Ikejima A	小児科学講座
419	Appl Environ Microb, 2012; 78: 5111-8.	Sensitive quantification of Clostridium difficile cells by reverse transcription-quantitative PCR targeting rRNA molecules.	Matsuda K	小児科学講座
420	Beneficial Microbes, 2012; 3: 113-25.	Molecular monitoring of the development of intestinal microbiota in Japanese infants.	Tsuji H	小児科学講座
421	International Journal of Probiotics & Prebiotics, 2012; 7: 91-8.	Molecular biological studies of the origin of Bifidobacterium and Lactobacillus in neonatal feces.	Rahman MS	小児科学講座
422	J Allergy Clin Immunol, 2012; 129: 1676-8.	Microarray analysis of mucosal biopsy specimens in neonates with rectal bleeding: Is it really an allergic	Ohtsuka Y	小児科学講座
423	Pediatr Res, 2012; 71: 46-53.	Effects of Bifidobacterium breve on inflammatory gene expression in neonatal and weaning rat intestine.	Ohtsuka Y	小児科学講座
424	Brain Dev, 2012; 34: 13-9.	Acute encephalopathy with 2009 pandemic flu: Comparison with seasonal flu.	Okumura A	小児科学講座
425	Brain Dev, 2012; 34: 881-5.	A severe form of epidermal nevus syndrome associated with brainstem and cerebellar malformations and neonatal medulloblastoma.	Okumura A	小児科学講座
426	Epilepsia, 2012; 53: 79-86.	Acute encephalopathy in children with Dravet syndrome.	Okumura A	小児科学講座
427	Am J Med Genet A, 2012; 158: 1891-6.	Clinical phenotype and candidate genes for the 5q31.3 microdeletion syndrome.	Hosoki K	小児科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
428	Am J Med Genet A,2012;158:2272-6.	De novo microdeletion of 5q14.3 excluding MEF2C in a patient with infantile spasms, microcephaly, and agenesis of the corpus callosum.	Shimojima K	小児科学講座
429	Brain Dev,2012;34:124-7.	Oxidative stress in patients with clinically mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion (MERS).	Miyata R	小児科学講座
430	Brain Dev,2012;34:230-3.	Spinocerebellar ataxias type 27 derived from a disruption of the fibroblast growth factor 14 gene with mimicking phenotype of paroxysmal non-kinesigenic dyskinesia.	Shimojima K	小児科学講座
431	Brain Dev,2012;34:337-43	Epidemiology of acute encephalopathy in Japan, with emphasis on the association of viruses and syndromes.	Hoshino A	小児科学講座
432	Brain Dev,2012;34:632-9.	Prognostic factors in acute encephalopathy with reduced subcortical diffusion.	Hayashi N	小児科学講座
433	Brain Dev,2012;34:773-5.	Transient reduced diffusion in the cortex in a child with prolonged febrile seizures.	Kato T	小児科学講座
434	Dev Med Child Neurol,2012;54:862.	Punctate white matter lesions in a late preterm-born infant with hypoxic ischaemic encephalopathy: chronological change in magnetic resonance imaging.	Kato T	小児科学講座
435	J Hum Genet,2012;57:593-600.	Subtelomeric deletions of 1q43q44 and severe brain impairment associated with delayed myelination.	Shimojima K	小児科学講座
436	J Med Virol,2012;84:1151-6.	National survey of pandemic influenza A (H1N1) 2009-associated encephalopathy in Japanese children.	Kawashima H	小児科学講座
437	J Neurol Sci,2012;320:145-8.	Pertussis-associated encephalitis/encephalopathy with marked demyelination in an unimmunized child.	Hiraiwa-Sofue A	小児科学講座
438	J Perinatol,2012;32:565-9.	What does cyclicity on amplitude-integrated EEG mean?	Kidokoro H	小児科学講座
439	Neuropediatrics,2012;43:162-3.	Isolated cystic lesion of the callosal genu after traumatic brain injury.	Kato T	小児科学講座
440	Pediatr Int,2012;54:39-44.	Does fever phobia cross borders? The case of Japan.	Sakai R	小児科学講座
441	Pediatrics,2012;130:e891-7.	EEG for predicting early neurodevelopment in preterm infants: an observational cohort study.	Hayashi-Kurahashi N	小児科学講座
442	Scand J Infect Dis,2012;44:941-7.	Treatment of pandemic influenza A (H1N1) 2009-associated encephalopathy in children.	Kawashima H	小児科学講座
443	J Am Soc Echocardiogr,2012;25:1231-44.	Quantitative real-time three-dimensional echocardiography provides new insight into the mechanisms of mitral valve regurgitation post-repair of	Takahashi K	小児科学講座
444	Pediatr Surg Int,2012;28:883-6.	Pulmonary artery size as an indication for thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	小児科学講座
445	Clin Nephrol,2012;78:251-2.	Maintenance therapy with single-daily, high-dose mizoribine after cyclophosphamide therapy for prepubertal boys with severe steroid-dependent	Fujinaga S	小児科学講座
446	Pediatr Nephrol,2012;27:331-2;author reply 333-4.	Outcome of children with heavy non-nephrotic proteinuria in Henoch-Schönlein nephritis.	Fujinaga S	小児科学講座
447	Pediatr Nephrol,2012;27:671-4.	Nephrotoxicity of once-daily cyclosporine A in minimal change nephrotic syndrome.	Fujinaga S	小児科学講座
448	Clin Nephrol,2012;77:510-2.	The uncertainty of rituximab and steroid dosing in refractory steroid-resistant nephrotic syndrome.	Hirano D	小児科学講座
449	Pediatrics,2012;129:1621-5.	Focal segmental glomerulosclerosis in patients with complete deletion of one WT1 allele.	Iijima K	小児科学講座
450	Pediatr Int,2012;54:528-31.	Prophylaxis for ribavirin-related anemia using eicosapentaenoic acid in chronic hepatitis C patients.	Suzuki M	小児科学講座
451	J Infect Chemother,2012;18:308-12.	The validity of the criteria for primary infection of Chlamydia pneumoniae in children by measuring ELISA IgM antibodies.	Kamata A	小児科学講座
452	Juntendo Medical Journal,2012;58:344-7.	A case of Kawasaki disease complicated with acute pancreatitis after steroid pulse therapy.	Suganuma H	小児科学講座
453	Clin Nephrol,2012;77:161-3.	Hereditary renal hypouricemia: a cause of calcium oxalate urolithiasis in a young female.	Nishizaki N	小児科学講座
454	Pediatr Int,2012;54:416-9.	Use of fibrin glue in the treatment of pneumothorax in premature infant.	Nishizaki N	小児科学講座
455	Brain Dev,2012;34:107-12.	A boy with a severe phenotype of succinic semialdehyde dehydrogenase deficiency.	Yamakawa Y	小児科学講座
456	Pediatr Int,2012;54:319-24.	Microarray analysis of gastric mucosa among children with <i>Helicobacter pylori</i> infections.	Ikuse T	小児科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
457	Brain Dev,2012;34:372-5.	Oxidative stress markers and phosphorus magnetic resonance spectroscopy in a patient with GLUT1 deficiency treated with modified Atkins diet.	Kitamura Y	小児科学講座
458	Clin Endocrinol,2012;76:420-4.	Isolated growth hormone deficiency in two siblings because of paternal mosaicism for a mutation in the GH1	Tsubahara M	小児科学講座
459	Early Hum Dev,2012;88:735-8.	Glucose metabolism soon after birth in very premature infants with small- and appropriate-for-gestational-age birth weights.	Tsubahara M	小児科学講座
460	Allergol Int,2012;61:461-7.	Involvement of PU.1 in mast cell/basophil-specific function of the human IL1RL1/ST2 promoter.	Baba Y	小児科学講座
461	J Biol Chem,2012;21:287:32689-96.	GATA2 is critical transactivator for human IL1RL1/ST2 promoter in mast cells/basophils: opposing roles for GATA2 and GATA1 in human IL1RL1/ST2 gene	Baba Y	小児科学講座
462	Histopathology,2012;61:1156-67.	Histopathological characteristics of myocarditis in acute-phase Kawasaki disease.	Harada M	小児科学講座
463	Pediatrics,2012;129:e1453-60.	How children with specific language impairment view social situations: an eye tracking study.	Hosozawa M	小児科学講座
464	Drugs R D,2012;12:49-55.	L-asparaginase-induced pancreatic injury is associated with an imbalance in plasma amino acid levels.	Minowa K	小児科学講座
465	Biochim Biophys Acta,2012;1820:1715-23.	The human CD10 lacking an N-glycan at Asn628 is deficient in surface expression and neutral	Sato B	小児科学講座
466	Eur J Immunol,2012;42:3405-15.	ZNF385B is characteristically expressed in germinal center B cells and involved in B-cell apoptosis.	Iijima K	小児科学講座
467	J Clin Virol,2012;53:276-9.	A 15-month-old boy with reduced consciousness and convulsion.	Oikawa N	小児科学講座
468	順天堂医学,2012;58:248-55.	これから求められる卒前医学教育と大学院教育および臨床研修のあり方ー平成23年度順天堂大学医学教育・卒後教育ワークショップ報告ー	檀原高	小児科学講座
469	順天堂医学,2012;58:431-5.	共用試験の成績は卒業試験と相関するのか？	冨木裕一	小児科学講座
470	小児保健研究,2012;71:773-9.	ダニアレゲン簡易キット「ダニ検査用マイティチェッカー」の使用経験.	原正美	小児科学講座
471	順天堂医学,2012;58:32-4.	医学教育の現状と課題 研究医への道 臨床研修のあり方と大学院における基礎・臨床の研究者の養成.	大塚宜一	小児科学講座
472	脳と発達,2012;44:450-4.	本邦における先天性筋無力症候群の臨床的特徴.	苛原香	小児科学講座
473	日本頭痛学会誌,2012;38:283-	3か月以上経過を観察した小児慢性反復性頭痛の検	中澤友幸	小児科学講座
474	Therapeutic Research,2012;33:741-7.	小児における錠剤型腸管洗浄剤の有用性.	清水泰岳	小児科学講座
475	日本臨牀免疫学会会誌,2012;35:526-32.	甲状腺機能低下症と1型糖尿病に難治性下痢症を合併し、Foxp3低下を認めたIPEX症候群の女児例.	堀内清華	小児科学講座
476	糖尿病と妊娠,2012;12:72-8.	周産期栄養と神経学的予後.	田中恭子.	小児科学講座
477	夜尿症研究,2012;17:15-8.	膀胱容量低下型夜尿症に対する初回三者併用療法(デスモプレシン+抗コリン薬+夜尿アラーム)の長期的検討.	藤永周一郎	小児科学講座
478	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:296-8.	細菌性肺炎の合併により発見された溶連菌感染後急性腎炎の1例.	藤永周一郎	小児科学講座
479	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:85-8.	サイトカイン調節異常からみたEBウイルス関連血球貪食症候群の1例.	平野大志	小児科学講座
480	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:299-301.	Enterococcus faecalis敗血症、腹膜炎を合併したフィンランド型先天性ネフローゼ症候群の1例.	伊藤亮	小児科学講座
481	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌,2012;26:12-20.	PRSS1およびSPINK1遺伝子異常による小児期急性膵炎の臨床的特徴とその管理.	鈴木光幸	小児科学講座
482	順天堂医学,2012;58:256-60.	吸収障害の関与が考えられた乳児期発症のビタミンB12欠乏性巨赤芽球性貧血の女児例.	鎌田彩子	小児科学講座
483	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:73-4.	末期腎不全に至り透析導入を考慮している4p-症候群の1例.	渡邊常樹	小児科学講座
484	日本小児皮膚科学会雑誌,2012;31:25-8.	急性痘瘡状苔癬状皰癬疹(PLEVA)の2例.	中島泰子	小児科学講座
485	小児感染免疫,2012;24:253-7.	7価肺炎球菌結合型ワクチン1回接種後に24F血清型肺炎球菌性髄膜炎を発症した1例.	原田真菜	小児科学講座
486	日本小児科学会雑誌,2012;116:1089-93.	抜毛・食毛癖を認めた小学生胃石2女児例.	山田浩之	小児科学講座
487	小児感染免疫,2012;24:133-7.	右母指ひょう疽の1例.	五十嵐麻依子	小児科学講座
488	日本小児救急医学会雑誌,2012;11:105-9.	腸重積症に関連したショックに対し外科的治療および早期の血液浄化療法が有効であった一乳児例.	櫻谷浩志	小児科学講座
489	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:233-5.	急性血液浄化療法を施行し救命し得た腸重積症に関連したショックの1乳児例.	櫻谷浩志	小児科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
490	小児科臨床,2012;65:1663-7.	治療に難渋した乳び胸の13歳男児例.	富田理	小児科学講座
491	日本小児皮膚科学会雑誌,2012;31:177-80.	アセトアミノフェンによる中毒性表皮壊死症の1小児例.	伊佐早ゆかり	小児科学講座
492	済生会医学・福祉共同研究平成23年度版, 2012:80-82.	全国済生会病院小児科における食物経口負荷試験実施の現状およびアレルギー疾患を持つ児へのワクチン接種の実施状況.	平口雪子	小児科学講座
493	日本小児科学会埼玉地方会ニュースレター,2012;25:2-3.	今夏当院で経験した無菌性髄膜炎の原因ウイルスの分析.	梅村隆輔	小児科学講座
494	日本小児科学会埼玉地方会ニュースレター,2012;26:3-4.	著明な黄疸と肝腫大を来した急性肝炎の2例.	岡田大吾	小児科学講座
495	埼玉県医学会雑誌,2012;47:249-54.	臍炎を契機に診断された尿管管遺残症の6症例.	西野幸恵	小児科学講座
496	小児科診療,2012;75:885-8.	尿路感染症・膀胱尿管逆流症に対する長期間の抗菌薬使用によりビタミンK欠乏性血液凝固異常を呈した1乳児	原太一	小児科学講座
497	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:246-7.	S.aureusによる腎膿瘍を来した1女児例.	原太一	小児科学講座
498	日本小児腎不全学会雑誌,2012;32:152-4.	WAGR症候群に発症したFSGSに対しCsAが有効であった1例.	小澤香菜子	小児科学講座
499	Anesth Analg. 2012 115(1):82-7.	Multicenter study verifying a method of noninvasive continuous cardiac output measurement using pulse wave transit time: a comparison with intermittent bolus thermodilution cardiac output.	Yamada T	麻酔科学
500	Am J Physiol Cell Physiol. 2010 299(1):C1-6	The ability of a new continuous cardiac output monitor to measure trends in cardiac output following implementation of a patient information calibration and an automated exclusion algorithm.	Ishihara H	麻酔科学
501	Synapse 2012 ;66(6):483-8	Effects of mirtazapine on sleep disturbance under neuropathic pain-like state.	Enomoto T	麻酔科学
502	J Anesth. 2012;26(1):62-9	Effects of sevoflurane and propofol on pulmonary inflammatory responses during lung resection.	Sugasawa Y	麻酔科学
503	Juntendo Med J 2012;58(3):231-7	Risk factors for persistent pain and disability in acute to subacute sciatica caused by lumbar disk herniation after epidural injections.	Morita Y	麻酔科学
504	Open J Anesth 2012;2:146-9	Usefulness of monitoring stroke volume variations for fluid management during pediatric living-donor liver transplantation.	Kasagi Y	麻酔科学
505	Pediatr Surg Int 2012;28(9):883-6	Pulmonary artery size as an indication for thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	麻酔科学
506	Ann Thorac Cardiovasc Surg 2012;Aug.20 (Epub ahead of	Thoracoscopic placcation for diaphragmatic eventration in a neonate	Takahashi T	麻酔科学
507	J Laparoscopic Adv Surg Tech A 2012, Dec5 (Epub ahead of print)	Traction sutures allow endoscopic staples to be used safely during thoracoscopic pulmonary lobectomy in children weighing less than 1.5 kg. J Laparoscopic Adv	Koga H	麻酔科学
508	J Anesth 2012;Dec.10(Epub ahead of print)	A prospective randomized multicenter comparative study of BLM-240 (desflurane) versus sevoflurane in Japanese patients.	Takeda J	麻酔科学
509	.Br J Anaesth 2013;110:637-45	Sevoflurane suppresses tumour necrosis factor- α -induced inflammatory responses in small airway epithelial cells after anoxia/reoxygenation.	Watanabe K	麻酔科学
510	Synapse 2013 ;67(5):216-23	Changes in the circadian rhythm of mRNA expression for μ -opioid receptors in the periaqueductal gray under a neuropathic pain-like state	Takada T	麻酔科学
511	J Anesth. 2012 26:62-9.	Effects of sevoflurane and propofol on pulmonary inflammatory responses during lung resection.	Sugasawa Y	麻酔科学
512	Mol Psychiatry. 2012 Nov 27. doi: 10.1038/mp.2012.164. [Epub ahead of print]	Genome-wide association study identifies a potent locus associated with human opioid sensitivity.	Nishizawa D	麻酔科学
513	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2012 Jul 3. [Epub ahead of	Pulmonary Gas Embolism as a Potential Cause of Hypoxia Immediately After Cardiopulmonary Bypass	Mieda T	麻酔科学
514	Am J Emerg Med. 2012 ;30(1):242-4	The effect of light-emitting diodes on intubation with Vital View plastic laryngoscope blade during a simulated resuscitation	Maruyama K	麻酔科学
515	麻酔61(8): 869-871, 2012	自己血回収法と低体温麻酔により救命しえた偶発的大量出血症例.	石澤 みち	麻酔科学

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
516	Mycopathologia, 2012; 173(1): 21-25	Comparison of antifungal activities of Gentian Violet and Povidone-Iodine against clinical isolates of Candida species and other yeasts: a framework to establish topical disinfectant activities.	Kondo S	臨床検査医学講座
517	Atherosclerosis, 2012; 221(1): 206-211	Non-high-density lipoprotein cholesterol is a practical predictor of long-term cardiac death after coronary artery bypass grafting.	Fukushima Y	臨床検査医学講座
518	Biomed Chromatogr, 2012; 26(4): 434-440	Anion-exchange HPLC separation of five major rabbit lipoproteins using a nonporous diethylaminoethyl-ligated gel with a perchlorate-containing eluent.	Hirawatari Y	臨床検査医学講座
519	Leukemia, 2012; 26(5): 883-892	Role of stromal microenvironment in nonpharmacological resistance of CML to imatinib through Lyn/CXCR4 interactions in lipid rafts.	Tabe Y	臨床検査医学講座
520	Atherosclerosis, 2012; 225(1): 208-215	A multicenter study on the precision and accuracy of homogeneous assays for LDL-cholesterol: Comparison with a beta-quantification method using fresh serum obtained from non-diseased and diseased subjects.	Miida T	臨床検査医学講座
521	Mol Genet Metab, 2012; 107(3): 542-547	Fatty liver and anti-oxidant enzyme activities along with peroxisome proliferator-activated receptors γ and α expressions in the liver of Wilson's disease.	Nagasaka H	臨床検査医学講座
522	Biochem Biophys Res Commun, 2012; 428(1): 99-104	Cholesterol sulfate induces expression of the skin barrier protein filaggrin in normal human epidermal keratinocytes through induction of ROR α .	Hanyu O	臨床検査医学講座
523	J Infect Chemother, 2012; 18(1): 90-95	Association between antimicrobial consumption and clinical isolates of methicillin-resistant Staphylococcus aureus: a 14-year study.	Nakamura A	臨床検査医学講座
524	J Infect Chemother, 2012; 18(3): 406-409	Heterogeneously vancomycin-intermediate Staphylococcus aureus (hVISA) emerged before the clinical introduction of vancomycin in Japan: a	Yamakawa J	臨床検査医学講座
525	日本検査血液学会雑誌, 2012; 13(2): 176-182	自動血球分析装置ADVIA 212iによる体腔液測定に関する検討.	竹村浩之	臨床検査医学講座
526	日本検査血液学会雑誌, 2012; 13(3): 304-310	採血後の時間経過に伴って出現する破壊細胞が白血球分画に与える影響.	佐藤万里子	臨床検査医学講座
527	医療と検査機器・試薬, 2012; 5: 771-776	インフルエンザ迅速診断キット「ラピッドテストFLU・NEO」の検出感度と操作性に関する検討.	玉井悠子	臨床検査医学講座
528	医学検査, 2012; 61(3): 523-528	血液培養検査の24時間対応による診療支援.	川上剛明	臨床検査医学講座
529	The Japanese Journal of Antibiotics, 2012; 65(3): 181-	2010年に全国72施設の臨床材料から分離された12,866株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス.	山口恵三	臨床検査医学講座
530	医学検査, 2012; 61(1): 9-13	前立腺生検後の尿中に出現する特有な形態を示す赤血球の検討.	上東野營司美	臨床検査医学講座
531	Leukemia, 2012; 26: 332-339	Plasmin inhibitor reduces T-cell lymphoid tumor growth by suppressing matrix metalloproteinase-9-dependent CD11b ⁺ /F4/80 ⁺ myeloid cell recruitment.	Ishihara M	消化器科学講座 下部消化器科学
532	Exp Hematol, 2012; 40: 143-154	Plasminogen deficiency attenuates post-natal erythropoiesis in male C57BL/6 mice through decreased activity of the LH-testosterone axis.	Okaji Y	消化器科学講座 下部消化器科学
533	Int J Hematol, 2012; 95: 131-137	New functions of the fibrinolytic system in bone marrow cell-driven angiogenesis.	Heissig B	消化器科学講座 下部消化器科学
534	Blood, 2012; 119: 5405-16	MT1-MMP plays a critical role in hematopoiesis by regulating HIF-mediated chemokine/cytokine gene transcription within niche cells.	Nishida C	消化器科学講座 下部消化器科学
535	Blood, 2012; 119: 6382-93	Inhibition of PAI-1 induces neutrophil-driven neoangiogenesis and promotes tissue regeneration via production of angiocrine factors in mice.	Tashiro Y	消化器科学講座 下部消化器科学
536	Surg Endosc, 2012; 26: 3067-7	Short-term outcomes of laparoscopic intersphincteric resection from a phase II trial to evaluate laparoscopic surgery for stage 0/ I rectal cancer: Japan Society of Laparoscopic Colorectal Surgery Lap RC.	Fujii S	消化器科学講座 下部消化器科学
537	Case Rep Gastroenterol, 2012; 6: 557-62	Unroofing technique for endoscopic resection of a large colonic lipoma.	Sugimoto K	消化器科学講座 下部消化器科学
538	Surg Today, Epub 2012 Nov 6	Analysis of the efficacy of direct hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fiber (PMX-DHP) according to the prognostic factors in patients with colorectal	Sugimoto K	消化器科学講座 下部消化器科学
539	Med Sci Monit, 2012; 18: CS109-112	Multiple carcinoid tumors of the small intestine preoperatively diagnosed by double-balloon endoscopy.	Lee SY	消化器科学講座 下部消化器科学
540	順天堂医学, 2012; 58: 422-30	Analysis of the effects of alleviating adverse events and improving completion in colorectal cancer patients with postoperative adjuvant chemotherapy with PSK.	Sugimoto K	消化器科学講座 下部消化器科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
541	Dig Surg, 2012; 29: 503-509	Glasgow Prognostic Score (GPS) as a prognostic factor in patients undergoing curative surgery for colorectal	Sugimoto K	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
542	日本外科系連合学会誌, 2012; 37: 917-923	大腸ESDの導入は腺腫, M癌の手術を減らす.	富木裕一	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
543	順天堂医学, 2012; 58: 431-435	共用試験の成績は卒業試験と相關するのか?	富木裕一	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
544	日本外科系連合学会誌, 2012; 37: 287-291	盲腸癌による成人腸重積症の1例—大腸癌による腸重積症の本邦報告例の検討—.	高橋里奈	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
545	日本外科系連合学会誌, 2012; 37: 1003-1008	切除範囲の決定に術前mapping biopsyが有用であった pagetoid spreadを伴った肛門管癌の1例.	永易希一	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
546	Progress of Digestive Endoscopy, 2012; 81: 136-137	自然脱落したと考えられたS状結腸ポリープの1例.	丹羽浩一郎	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
547	日本腹部救急医学会雑誌, 2012; 32: 815-818	内視鏡的乳頭括約筋切開術後に発生し, 開腹術中に診断された胆石イレウスの1例.	青木 順	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
548	Gastroenterological Endoscopy, 2012; 54: 1883-1885	内視鏡室の紹介, 順天堂大学医学部静岡病院	櫻田 睦	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
549	エンドトキシン血症救命治療研究会誌, 2012; 16: 179-185	下部消化管穿孔, 汎発性腹膜炎の対する長時間PMX-DH	櫻田 睦	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
550	日本外科系連合学会雑誌, 2012; 37: 303-308	錠剤型腸管洗浄剤(ビジクリア®)で腎不全を併発したと考えられる上行結腸癌の1例.	菅野雅彦	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
551	日本臨床外科科学会雑誌, 2012; 73: 2549-2554	多発肝膿瘍をきたした進行性胃癌の1例.	菅野雅彦	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
552	手術, 2012; 66: 1801-1804	結腸亜全摘手術により救命しえた劇症型偽膜性大腸炎	青木 順	消化器外科科学講座 下部消化管外科学
553	Journal of Cardiology, 2012; 59:195-201	Comparing outcomes after off-pump coronary artery bypass versus drug-eluting stent in diabetic patients	Dohi S	心臓血管外科科学講座
554	Ann Thorac Cardiovasc Surg, 2012;18(3):259-61	Aortic Valve Replacement to a Patient with High Titer of Cold Agglutinin	Kansaku R	心臓血管外科科学講座
555	Journal of Cardiology, 2012; 60:438-42	Prognostic impact of chronic kidney disease on 10-year clinical outcomes among patients with acute coronary syndrome	Dohi T	心臓血管外科科学講座
556	Open Cardiovasc Thorac Surg, 2012; 5:8-10	Vascular site hemostasis in percutaneous extracorporeal membrane oxygenation therapy	Lam KM	心臓血管外科科学講座
557	J Cardiothorac Surg, 2012; 7:36	Right ventricular rupture and tamponade caused by malposition of the Avalon cannula for venovenous extracorporeal membrane oxygenation	Hirose H	心臓血管外科科学講座
558	Artif Organs, 2012; 36:659-667	Cerebral and lower limb near-infrared spectroscopy in adults on extracorporeal membrane oxygenation	Wong JK	心臓血管外科科学講座
559	Ann Thorac Cardiovasc Surg, 2012; 18:366-369	Thoratec HeartMate II left ventricular assist device implantation in patient with patent ventriculoperitoneal	Yamane K	心臓血管外科科学講座
560	Chest, 2012; 142:360A	Novel approach to monitoring renal perfusion with the use of continuous renal oximetry in the setting of aortic dissection	Batista P	心臓血管外科科学講座
561	Chest, 2012; 142:342A	Venoarterial extracorporeal membrane oxygenation (ECMO) for support during whole lung lavage for pulmonary alveolar proteinosis	Monteagudo J	心臓血管外科科学講座
562	ICU Director, 2012; 3:230-234	Initial experience with Imacor hTEE-guided management of patients following transplant and mechanical circulatory support	Kang CY	心臓血管外科科学講座
563	J Heart Valve Dis, 2012; 21:774-782	Surgical treatment of infective endocarditis in patients undergoing chronic hemodialysis	Yamane K	心臓血管外科科学講座
564	World J Cardiovasc Surg, 2012; 2:73-80	End organ recovery and survival with the QuadroxD oxygenator in adults on extracorporeal membrane oxygenation	Wong JK	心臓血管外科科学講座
565	Pediatric Cardiology 2012 (in press)	Safety advantage of modified minimally invasive cardiac surgery in pediatric patients	Nakanishi K	心臓血管外科科学講座
566	Journal of Cardiac Surgery, 2012; 27(2):139-145	Predictors of Early and Mid-Term Results in Contemporary Aortic Valve Replacement for Aortic	Kuwaki K	心臓血管外科科学講座
567	J Card Surg, 2012; 27:152-157	Meta-Analysis of Randomized controlled trials on the treatment of unprotected left main coronary artery disease : 1-year outcomes with coronary artery bypass grafting versus percutaneous coronary artery intervention with drug-eluting stent	Kajimoto K	心臓血管外科科学講座
568	World J Cardiovasc dis, 2012; 2:220-226	Early and Mid-term Outcomes of Aortic Valve Replacement for Aortic Stenosis in Patients Aged 80	Kuwaki K	心臓血管外科科学講座
569	J Heart Lung Transplant, 2012; 31(1):37-45	Markers of extracellular matrix turnover and the development of right ventricular failure after ventricular assist device implantation in patients with advanced heart failure	Kato TS	心臓血管外科科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
570	Circ J, 2012; 76(8):1828-1829	Prognostic scoring systems for patient evaluation before left ventricular assist device implantation	Akashi H	心臓血管外科学講座
571	Circ J, 2012; 76(9):2148-2152	Increased levels of retinol binding protein 4 in patients with advanced heart failure correct after hemodynamic improvement through ventricular assist device	Chavarria N	心臓血管外科学講座
572	J Cardiol, 2012; 60(5):407-410	Outcome of patients with cardiac sarcoidosis undergoing cardiac transplantation—single-center retrospective analysis	Akashi H	心臓血管外科学講座
573	PLoS One, 2012; (9):e46549	Cardiomyocyte aldose reductase causes heart failure and impairs recovery from ischemia	Son NH	心臓血管外科学講座
574	Juntendo Medical Journal, 2012; 58(4):325-9	Serum Low-Density Lipoprotein Levels Predict Mid-Term Outcomes of Diabetic Patients After Off-Pump Coronary Artery Bypass Surgery	Izawa T	心臓血管外科学講座
575	Juntendo Medical Journal, 2012; 58:59-64	Evaluation of Aortic Curvature in Patients with Aortic Valve Stenosis: Differences Between Patients with Bicuspid and Those with Tricuspid Aortic Valves	Kawasaki S	心臓血管外科学講座
576	冠疾患誌, 2012; 18:1-6	左内胸動脈採取法および基本術式が冠動脈吻合部形態にあたる影響について	山崎元成	心臓血管外科学講座
577	順天堂医学, 2012; 58:361-365	完全房室ブロックと心室中隔穿孔を合併した大動脈二尖弁の感染性心内膜炎	松村武史	心臓血管外科学講座
578	心臓, 2012; 44(11):1427-1431	軽度大動脈弁狭窄症に対する超音波破碎装置を用いた大動脈弁脱灰術を冠動脈バイパス術の複合手術	藤田智之	心臓血管外科学講座
579	Intensivist, 2012; 4:378-379	心臓術後管理は誰がやる? ICUケア, それはもちろん心臓外科医がすべきである	廣瀬仁	心臓血管外科学講座
580	Asian J Endosc Surg. 5: 21-4, 2012.	Clinical and safety profiles of bipolar transurethral vaporization of the prostate in saline: a preliminary	Isotani S	泌尿器科学講座
581	Korean J Urol. 53: 414-8, 2012.	Clinical Usefulness of Corticotropin Releasing Hormone Testing in Subclinical Cushing's Syndrome for Predicting Cortisol Replacement after Adrenalectomy.	Inoue M	泌尿器科学講座
582	Clin Exp Nephrol. 16: 622-8, 2012.	Renal disease progression in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Higashihara E	泌尿器科学講座
583	Prostate. 72: 1407-11, 2012.	Testosterone promotes DNA damage response under oxidative stress in prostate cancer cell lines.	Ide H	泌尿器科学講座
584	漢方医学. 36(4):272-275, 2012.	高齢者と泌尿器疾患(頻尿・尿失禁、OAB、LOH症候群)(特集 これからの高齢者医療を考える)。	堀江重郎	泌尿器科学講座
585	医と食. 4(4):181-185, 2012.	男性の抗加齢はテストステロンにあり(特集 抗加齢から考える食事と運動)。	堀江重郎	泌尿器科学講座
586	診断と治療. 100(8):1387-1391, 2012.	在宅尿道カテーテル管理(特集 排尿障害) — (治療)。	斎藤 恵介	泌尿器科学講座
587	Bio industry. 29(10):37-41, 2012.	LOH症候群診断における唾液検査の導入: 男性の健康診断とテストステロン測定(特集 唾液バイオマーカーと非侵襲的診断)。	堀江重郎	泌尿器科学講座
588	手術. 66(12):1701-1705, 2012.	泌尿器科におけるロボット手術の現況と展望(特集 ロボット手術の現況と展望)。	堀江重郎	泌尿器科学講座
589	泌尿器外科. 25(4):764-5,	T1 high grade筋層非浸潤性膀胱癌に対するBCG注入療	武藤 智	泌尿器科学講座
590	日腎会誌. 54(4):501-5, 2012.	特集: 多発性嚢胞腎—最新の知見と今後の課題 ADPKDにおける腎容積と腎機能。	堀江重郎	泌尿器科学講座
591	日腎会誌. 54(4):512-6, 2012.	特集: 多発性嚢胞腎—最新の知見と今後の課題 肝嚢胞—QOLへの影響とその対策。	武藤 智	泌尿器科学講座
592	CKD診療ガイド2012 Q&A. 診断と治療社.	多発性嚢胞腎はCKDなのでしょうか?	武藤 智	泌尿器科学講座
593	腎臓. 34, 2012.	特集 多発性嚢胞腎 嚢胞の増大抑制と腎機能障害の	武藤 智	泌尿器科学講座
594	診断と治療 増刊号 慢性疾患患者への薬物療法の鉄則. 288-91, 2012.	腎臓疾患 嚢胞性腎疾患	武藤 智	泌尿器科学講座
595	最新医学 67巻9月増刊 2191-2201	各臓器別の最新治療と新薬の動向 前立腺がんに対する新規治療薬	井上 正浩	泌尿器科学講座
596	アンチ・エイジング医学 8巻4号 577-584	テストステロンとLOH症候群	堀江 重郎	泌尿器科学講座
597	泌尿器外科 増刊号. 2012.	男性医学の25年.	久末伸一	泌尿器科学講座
598	medicina. 2012;49 (9):1564-6.	内科診断の本道—病歴と身体診察情報からどこまでわかるか? 腎泌尿器・女性器疾患 急性細菌性前立腺炎.	久末伸一	泌尿器科学講座
599	泌尿器外科 25巻6号 1352-1353	膀胱癌UPDATE(No.2) 腫瘍マーカーの進歩 尿中サイトケラチン19フラグメント.	山口 雷蔵	泌尿器科学講座
600	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 29(2): 166-70, 2012	炭酸ガスとCone Beam CTを組み合わせる術前の副腎静脈サンプリングにおける標的血管のマッピングを行った原発性アルドステロン症の1例.	清水史孝	泌尿器科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
601	漢方医学 36巻: 221-224, 2012	男性更年期障害における漢方治療の検討.	杉村壮介	泌尿器科学講座
602	日本泌尿器科学会雑誌103巻1号P1-7(2012.1)	下部尿路閉塞の3次元モデルの作成と仮想内視鏡画像に	青木 裕章	泌尿器科学講座
603	日本内視鏡外科学会雑誌17巻5号P 701-704 (2012.10)	精索静脈瘤に対する単孔式腹腔鏡下手術の経験	青木 裕章	泌尿器科学講座
604	日本内分泌甲状腺学会雑誌. 2012; 29: 166-170	炭酸ガスとcone beam CTを組み合わせる術前の副腎静脈サンプリングにおける標的血管のマッピングを行った原発性アルドステロン症の1例。	清水史孝	泌尿器科学講座
605	日本医師会雑誌, 2012; 第141巻 (第3号): 578-579	男性下部尿路症状とED	白井 雅人	泌尿器科学講座
606	順天堂医学 58 vol.2 248-255 2012年 3月	これから求められる卒前医学教育と大学院教育および臨床研修のあり方—平成23年度 順天堂大学医学教育・卒後教育ワークショップ報告—		泌尿器科学講座
607	Anesth Analg. 2012 115(1):82-7.	Multicenter study verifying a method of noninvasive continuous cardiac output measurement using pulse wave transit time: a comparison with intermittent bolus thermodilution cardiac output.	Yamada T	疼痛制御学
608	Am J Physiol Cell Physiol. 2010 299(1):C1-6	The ability of a new continuous cardiac output monitor to measure trends in cardiac output following implementation of a patient information calibration and an automated exclusion algorithm.	Ishihara H	疼痛制御学
609	Synapse 2012 ;66(6):483-8	Effects of mirtazapine on sleep disturbance under neuropathic pain-like state.	Enomoto T	疼痛制御学
610	J Anesth. 2012;26(1):62-9	Effects of sevoflurane and propofol on pulmonary inflammatory responses during lung resection.	Sugasawa Y	疼痛制御学
611	Juntendo Med J 2012;58(3):231-7	Risk factors for persistent pain and disability in acute to subacute sciatica caused by lumbar disk herniation after epidural injections.	Morita Y	疼痛制御学
612	Open J Anesth 2012;2:146-9	Usefulness of monitoring stroke volume variations for fluid management during pediatric living-donor liver transplantation.	Kasagi Y	疼痛制御学
613	Pediatr Surg Int 2012;28(9):883-6	Pulmonary artery size as an indication for thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	疼痛制御学
614	Ann Thorac Cardiovasc Surg 2012;Aug.20 (Epub ahead of	Thoracoscopic placentation for diaphragmatic eventration in a neonate	Takahashi T	疼痛制御学
615	J Laparoscopic Adv Surg Tech A 2012, Dec5 (Epub ahead of print)	Traction sutures allow endoscopic staples to be used safely during thoracoscopic pulmonary lobectomy in children weighing less than 1.5 kg. J Laparoscopic Adv	Koga H	疼痛制御学
616	J Anesth 2012;Dec.10(Epub ahead of print)	A prospective randomized multicenter comparative study of BLM-240 (desflurane) versus sevoflurane in Japanese patients.	Takeda J	疼痛制御学
617	.Br J Anaesth 2013;110:637-45	Sevoflurane suppresses tumour necrosis factor- α -induced inflammatory responses in small airway epithelial cells after anoxia/reoxygenation.	Watanabe K	疼痛制御学
618	Synapse 2013 ;67(5):216-23	Changes in the circadian rhythm of mRNA expression for μ -opioid receptors in the periaqueductal gray under a neuropathic pain-like state	Takada T	疼痛制御学
619	麻酔 61(9):993-997, 2012	高齢者の慢性腰下肢痛に対する後仙腸靱帯ブロックの	松本園子	疼痛制御学
620	順天堂大学医学58:403-408, 2012	慢性疼痛の漢方治療-痛み・冷え・気に対する処方-	光畑裕正	疼痛制御学
621	麻酔 61(2):214-216, 2012	抑肝散による薬剤性肺炎の1症例	中村かな	疼痛制御学
622	日本レーザー治療学会誌、2012; 11: 23-24	光線療法の効果の予測～皮膚温の変化からの検討～	田邊豊	疼痛制御学
623	Experimental and therapeutic medicine 3: 969-972, 2012	Post-training consumption of wheat gluten hydrolysate suppresses the delayed onset of muscle injury in soccer players.	Aoki K	整形外科科学講座
624	PLoS One. 7, e45517, 2012	Isolation and characterization of multipotential mesenchymal cells from the mouse synovium.	Futami I	整形外科科学講座
625	Biomaterials. 33,304-316, 2012	Local suppression of pro-inflammatory cytokines and the effects in BMP-2-induced bone regeneration.	Furuya H	整形外科科学講座
626	Experimental and therapeutic medicine 3: 641-644, 2012	Female distance runners show a different response to post-workout consumption of wheat gluten hydrolysate compared to their male counterparts.	Hirao T	整形外科科学講座
627	Acta Histochem Cytochem. 45, 283-92, 2012	Stimulation of Osteogenesis in Bone Defects Implanted with Biodegradable Hydroxyapatite Composed of Rod-Shaped Particles under Mechanical Unloading.	Ikeda T	整形外科科学講座
628	Matrix Biol, 31, 234-245, 2012	Perlecan modulates VEGF signaling and is essential for vascularization in endochondral bone formation.	Ishijima M	整形外科科学講座

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
629	Arthroscopy 28:1628-33, 2012	Attachment of the inferior glenohumeral ligament-labrum complex to the glenoid: An anatomical study.	Itoigawa Y	整形外科科学講座
630	Eur J Orthop Surg Traumatol, online: 07, 2012.	Limitation of total hip arthroplasty of the acetabular roof by press-fit without screw fixation: discussion of a biomechanical study.	Kanda A	整形外科科学講座
631	J Shoulder Elbow Surg. 21,709-14, 2012	Does scapular dyskinesis affect top rugby players during a game season?	Kawasaki T	整形外科科学講座
632	Jpn J Clin Oncol. 42, 730-41, 2012	Validation study on pifetin and ATP-dependent RNA helicase DDX39 as prognostic biomarkers in gastrointestinal stromal tumor.	Kubota D	整形外科科学講座
633	J Proteomics. 75, 1089-98, 2012	Clinical proteomics identified ATP-dependent RNA helicase DDX39 as a novel biomarker to predict poor prognosis of patients with gastrointestinal stromal tumor.	Kikuta K	整形外科科学講座
634	J Reconstr Microsurg 28: 473-476, 2012.	Mini-invasive robot-assisted surgery of the brachial plexus: a case of intraneural perineurioma.	Lequent T	整形外科科学講座
635	J Reconstr Microsurg 28: 481-484, 2012.	Robot-assisted free toe pulp transfer: Feasibility study.	Maire N	整形外科科学講座
636	Sports Med Arthrosc Rehabil Ther Technol. 4,30,	Evaluation of the clinical results of posterior cruciate ligament reconstruction -a comparison between the use of the bone tendon bone and semitendinosus and gracilis tendons.	Maruyama Y	整形外科科学講座
637	Hand 7: 267-270, 2012.	Should we stop oral anticoagulants in the surgical treatment of carpal tunnel syndrome?	Naito K	整形外科科学講座
638	Int J Mol Med 29: 756-760, 2012	Relationship between serum undercarboxylated osteocalcin and hyaluronan levels in patients with bilateral knee osteoarthritis.	Naito K	整形外科科学講座
639	Plastic and Reconstructive Surgery 129: 707-711, 2012.	The Oberlin procedure for restoration of elbow flexion with the da Vinci robot: Four cases.	Naito K	整形外科科学講座
640	Perceptual & Motor Skills: Physical Development & Measurement 115(2) ; 503-511, 2012.	Evaluation of vestibular and dynamic visual acuity in adults with congenital deafness .	Nakajima Y	整形外科科学講座
641	J Proteomics. 75, 5342-55, 2012	Proteomic-based identification of the APC-binding protein EB1 as a candidate of novel tissue biomarker and therapeutic target for colorectal cancer.	Sugihara Y	整形外科科学講座
642	Journal of Aging Research. 315640, 2011	Lifespan and glucose metabolism in insulin receptor mutant mice.	Shimizu T	整形外科科学講座
643	J Orthop Surg. 98-102, 2012	Pedicle freezing with liquid nitrogen for malignant bone tumour in the radius: a new technique of osteotomy of the ulna.	Torigoe T	整形外科科学講座
644	Bone. 51, 447-458, 2012	Increasing participation of sclerostin in postnatal bone development, revealed by three-dimensional immunofluorescence morphometry.	Watanabe T	整形外科科学講座
645	Open Access J Sports Medicine, 3:67-71, 2012	Association between the stress fracture and bone metabolism/quality markers in lacrosse players.	Wakamatsu K	整形外科科学講座
646	Experimental and Therapeutic Medicine 3: 457-462, 2012.	Effect of a chicken extract-containing supplement on subclinical joint pain in collegiate soccer players.	Yoshimura M	整形外科科学講座
647	J Neurosurg Spine. 16,187-90, 2012	Synovial sarcoma of the cauda equina.	Yonezawa I	整形外科科学講座
648	Sports Med Arthrosc Rehabil Ther Technol. 4, 39, 2012	Humeral head osteonecrosis in an adolescent amateur swimming athlete: a case report.	Zuo J	整形外科科学講座
649	順天堂医学, 58, 231-237, 2012	Risk factors for persistent pain and disability in acute to subacute sciatica caused by lumbar disk herniation after epidural injections.	Morita Y	整形外科科学講座
650	静岡整形外科医学雑誌 5(1): 2-7, 2012.	骨粗鬆症性椎体圧迫骨折の画像評価と疼痛に関する検討.	糸井 陽	整形外科科学講座
651	静岡整形外科医学雑誌 5(2): 114-117, 2012.	胸椎圧迫骨折後陳旧性亜脱臼に対する経椎間孔新入椎体間固定術の1例.	遠田慎吾	整形外科科学講座
652	生物物理化学 56, 25-29, 2012	蛍光二次元電気泳動法を用いた骨軟部肉腫の個別化医療のためのバイオマーカー開発.	窪田大介	整形外科科学講座
653	日本臨床スポーツ医学会誌20; 563-569, 2012.	血流制限下で行う他動的運動が筋力および筋横断面積に及ぼす影響～大学男子水泳競技者の下肢筋力を中心に～Effects of Passive Exercise with Blood Flow Restriction on the Muscle Cross-sectional Area and Strength in Male College Swimmers	窪田敦之	整形外科科学講座
654	Hip Joint Suppl. 38: 276-278, 2012	進入法の違いからみた人工骨頭置換術患者の転帰先とその影響因子 -前方進入法と後方進入法の比較-	小林淑子	整形外科科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
655	Hip Joint 38: 445-447, 2012	当施設での高位脱臼股における術中運動誘発電位モニタリングの使用経験	小林英生	整形外科科学講座
656	日本スキー学会 スキー研究 9(1); 25-28, 2012.	大学男子スキー選手の骨代謝及び骨質に関する研究. A study of bone metabolism makers and bone quality markers in collegiate male skiers.	佐藤照友旭	整形外科科学講座
657	関東整形災害外科学会雑誌. 43: 233-235, 2012	小指近位・遠位指節間関節同時脱臼の1例.	酒井健介	整形外科科学講座
658	肩関節. 36: 477-480, 2012	腱板疎部からの順行性上腕骨髄内釘挿入の工夫 Antegrade Humeral Nailing Through the Rotator	塩田有規	整形外科科学講座
659	臨床検査 56: 446-450, 2012	陸上長距離選手のコンディション指標の検討.	島 寿子	整形外科科学講座
660	日本臨床スポーツ医学会会誌 20: 66-71, 2012	小麦グルテン加水分解物(WGH)は投擲競技者のウエイトトレーニングにおける筋損傷を軽減するか? Effect of WGH intake of WGH on throwers' weight training.	高梨雄太	整形外科科学講座
661	日本臨床スポーツ医学会誌 20:130-137, 2012	間欠的加圧による血流制限が廃用性筋萎縮および筋力低下に及ぼす影響. The effects of Intermittent Blood Flow Restriction on Muscle Atrophy and Weakness by Immobilization and No Weight Bearing.	戸塚涼子	整形外科科学講座
662	骨折34: 113-115, 2012	大腿骨ステム周囲骨折に対してロッキングプレートは有効か.	馬場智規	整形外科科学講座
663	Hip joint 38: 619-621, 2012	大腿骨近位部骨折の早期手術は有効か.	馬場智規	整形外科科学講座
664	日本人工関節学会誌. 42: 49-50, 2012	Ceramic on ceramic THA (ANCA-FIT THA System)の中期成績.	馬場智規	整形外科科学講座
665	関節外科 31: 78-83, 2012	THA後のスポーツ活動に対する実態調査.	馬場智規	整形外科科学講座
666	骨折34: 547-550, 2012	寛骨臼後壁骨折は予後不良骨折か?	二村謙太郎	整形外科科学講座
667	骨折34:915-918, 2012	脛骨遠位骨幹部骨折(関節内骨折を含む)に対する髄内釘による治療成績—プレート固定と比較して—.	二村謙太郎	整形外科科学講座
668	Hip Joint 38: 225-28, 2012	Dual Mobility linersは大腿骨頸部骨折患者に対する人工股関節置換術後脱臼リスクを減少させる.	本間康弘	整形外科科学講座
669	Hip Joint 38: 553-556, 2012	人工股関節再置換術における術中回収式自己血中のCr	前澤克彦	整形外科科学講座
670	Hip Joint 38: 564-566, 2012	寛骨臼回転骨切り術後に人工股関節全置換術を行った18例の検討.	湯浅崇仁	整形外科科学講座
671	骨折 34: 292-294, 2012	大腿骨転子部骨折に対する早期手術の有効性の検討	土屋勝	整形外科科学講座
672	Plast Reconstr Surg, 2012; 129: 369-377.	Effect of adipose-derived stem cells on improving the viability of diced cartilage grafts.	Orbay H	形成外科学講座
673	J Plast Reconstr Aesthet Surg, 2012; 65: e29-32.	Multiple rheumatoid bursal cysts that were finally effectively treated by combining surgical resection and	Hayashi A	形成外科学講座
674	J Plast Reconstr Aesthet Surg 2012; 65: 657-664.	Differentiated and undifferentiated adipose derived stem cells improve function in rats with peripheral nerve gaps.	Orbay H	形成外科学講座
675	J Plast Reconstr Aesthet Surg, 2012; 65: e202-203.	"Sea anemone-shaped fixation": A feasible tie-over technique for axillary osmidrosis.	Miyamoto E	形成外科学講座
676	J Craniofac Surg, 2012; 23: 755-757.	Expression of transforming growth factor- β 1, - β 2, and - β 3 in plagiocephalic fused and patent coronal suture.	Ueda A	形成外科学講座
677	J Reconstr Microsurg, 2012; 28: 427-430.	The medial plantar flap vascularized by the reverse flow lateral plantar artery: a novel variation through the case of aggressive digital papillary adenocarcinoma of the	Hayashi A	形成外科学講座
678	J Nippon Med Sch, 2012; 79: 444-452.	Accelerated and safe proliferation of human adipose-derived stem cells in medium supplemented with human	Josh F	形成外科学講座
679	J Plast Reconstr Aesthet Surg, 2012; 65: 1712-1719.	Adipose-derived stem cells enhances primary tendon repair: Biochemical and immunohistochemical evaluation.	Uysal AC	形成外科学講座
680	J Artificial Organs, 2012; 36: 161-169.	Liposome encapsulated hemoglobin accelerates skin wound healing in mice.	Fukui T	形成外科学講座
681	J Nippon Med Sch. 2013;80(2):140-7.	Concentration of PDGF-AB, BB and TGF- β 1 as valuable human serum parameters in adipose-derived stem cell proliferation.	Josh F	形成外科学講座
682	Cell Transplantation (in press)	Autologous G-CSF mobilized peripheral blood CD34+ cell therapy for diabetic patients with chronic non-healing	Tanaka R	形成外科学講座
683	J Plast Surg Hand Surg (in press)	The versatile per fascial areolar tissue graft: adaptability to a variety of defects.	Koizumi T	形成外科学講座
684	Facial N Res, 2012; 32: 32-35.	端側神経縫合の基礎研究と顔面神経麻痺再建における臨床応用の展望について	林 礼人	形成外科学講座
685	Facial N Res, 2012; 32: 41-43.	顔面神経再建方法の分類と呼称について「端側神経縫合」「神経端側縫合」「端側神経吻合」「神経端側吻合」	林 礼人	形成外科学講座
686	Facial N Res, 2012; 32: 91-93.	下口唇変形に対する治療法とその問題点について—患者への術後アンケートから	林 礼人	形成外科学講座
687	Facial N Res, 2012; 32: 119-	経皮的神経刺激装置を用いた術前の顔面神経評価の有	名取悠平	形成外科学講座
688	Facial N Res, 2012; 32: 153-155.	Modified Temporal Myoplastyによる顔面神経麻痺動的再建術 —屍体解剖による術式の検討—	林 礼人	形成外科学講座
689	Skin cancer (in press)	皮膚悪性腫瘍手術におけるUnfavorable result cases—皮膚腫瘍外科医の足跡—	林 礼人	形成外科学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
690	Diabetes Care. 2013 Mar;36(3):696-700. doi: 10.2337/dc12-0666. Epub 2012 Nov 19.	White Matter Alteration in Metabolic syndrome: Diffusion tensor analysis.	Shimoji K	放射線診断学講座
691	J Magn Reson Imaging. 2012 Nov 16. doi: 10.1002/jmri.23916. [Epub	Association between iron content and gray matter missegmentation with voxel-based morphometry in basal ganglia.	Goto M	放射線診断学講座
692	Korean J Radiol. 2012 Jul-Aug;13(4):391-402. doi: 10.3348/kjr.2012.13.4.391. Epub 2012 Jun 18.	Influence of signal intensity non-uniformity on brain volumetry using an atlas-based method.	Goto M	放射線診断学講座
693	Magn Reson Med Sci. 2012;11(1):27-34.	Effects of image distortion correction on voxel-based morphometry.	Goto M	放射線診断学講座
694	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2012 May 1;83(1):129-33. doi: 10.1016/j.ijrobp.2011.05.036. Epub 2011 Oct 17.	Integration of corticospinal tractography reduces motor complications after radiosurgery.	Koga T	放射線診断学講座
695	Hum Brain Mapp. 2012 Mar;33(3):727-39. doi: 10.1002/hbm.21245. Epub 2011 Apr 14.	Cognitive status correlates with white matter alteration in Parkinson's disease.	Hattori T	放射線診断学講座
696	Head Neck Oncol. 2012 Sep 9;4(2):64.	Impact of lymphatic chemotherapy targeting metastatic lymph nodes in patients with tongue cancer (cT3N2bM0) using intra-arterial chemotherapy.	Yokoyama J	放射線診断学講座
697	Journal of Minimally Invasive Gynecology, 19(1), 63-67.	Myomectomy decreases abnormal uterine peristalsis and increases pregnancy rate.	Yoshino O	放射線診断学講座
698	Journal of Neuroimaging, 22(3), 279-284.	High b-Value q-Space Analyzed Diffusion-Weighted MRI Using 1.5 Tesla Clinical Scanner; Determination of Displacement Parameters in the Brains of Normal versus Multiple Sclerosis and Low-Grade Glioma Subjects.	Fatima Z	放射線診断学講座
699	Neuroradiology. 2011 Aug;53(8):617-22. doi: 10.1007/s00234-011-0863-1. Epub 2011 Apr 1. PubMed PMID: 21455719.	Entorhinal cortex volume measured with 3T MRI is positively correlated with the Wechsler Memory Scale-Revised logical/verbal memory score for healthy subjects.	Goto M	放射線診断学講座
700	Hum Brain Mapp. 2011 Oct;32(10):1762-73. doi: 10.1002/hbm.21145. Epub 2010 Sep 30. PubMed PMID:	Gray and white matter asymmetries in healthy individuals aged 21-29 years: a voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	Takao H	放射線診断学講座
701	日本放射線技師会雑誌(0287-9395)59巻2号 Page179-184(2012.02)	MRI装置におけるSNRの経時変化(Longitudinal investigation of signal-to-noise ratio for magnetic resonance imaging scanners)	後藤 政実	放射線診断学講座
702	日本磁気共鳴医学会雑誌 (0914-9457)32巻3号 Page85-93(2012.08)	臨床応用のためのq-space imaging 最適q値の検討	濱崎 望	放射線診断学講座
703	日本磁気共鳴医学会雑誌 (0914-9457)32巻1号 Page29-35(2012.02)	Diffusion Kurtosis Imaging(DKI) 撮像法の基礎的検討および初期臨床経験	福永 一星	放射線診断学講座
704	Cancer Science, 2012; 103(6):1045-50	Radiosensitization Effect of PARP Inhibitor in Cells Exposed to Low and High LET Radiation.	Hirai T	放射線治療学講座
705	Am J Clin Oncol. 2012 Apr;35(2):110-4.	Intravenous contrast agent influence on thoracic computed tomography	Saito AI	放射線治療学講座
706	Computers & Operations Research 39(7): 1779-1789 (2012)	An efficient approach to incorporating interfraction motion	Men C	放射線治療学講座
707	Breast Cancer. 2012 Apr;19(2):147-52.	Estimation of anxiety and depression in patients with early breast cancer	Kawase E	放射線治療学講座
708	Breast Cancer. 2012	Comparison of hypofractionated and conventionally fractionated whole-breast irradiation for early breast cancer patients: a single-institute study of 1,098	Karasawa K	放射線治療学講座
709	Anticancer Res. 32(9):4013-4018. 2012	Hyperfractionated radiotherapy with concurrent docetaxel	Karasawa K	放射線治療学講座
710	Jpn J Radiol. 30(2):116-119, 2012	Distribution of estimated glomerular filtration rate (eGFR) values in patients receiving contrast-enhanced magnetic resonance imaging.	Shimoji K	放射線治療学講座

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者	所属
711	J Radiat Res. 2012 53(5):704-9	Impact of early radiological response evaluation on radiotherapeutic outcomes in the patients with nasal cavity and paranasal sinus malignancies.	Hojo H	放射線治療学講座
712	Lancet Oncol, 2012;13:671-678	Thoracic radiotherapy with or without daily low-dose carboplatin in elderly patients with non-small cell lung cancer: a randomised, controlled, phase 3 trial by the Japan Clinical Oncology Group JCOG0301.	Atagi S	放射線治療学講座
713	Ann Oncol, 2012;23:2253-2258	Induction chemotherapy followed by gefitinib and concurrent thoracic radiotherapy for unresectable locally advanced adenocarcinoma of the lung: a multicenter, feasibility study (JCOG 0402).	Niho S	放射線治療学講座
714	Cancer, 2012;118(8):2078-2084	Stereotactic body radiotherapy using a radiobiology-based regimen for stage I non-small cell lung cancer: A multicenter study.	Shibamoto Y	放射線治療学講座
715	Int J Clin Oncol, 2012;17(2):105-111	Radiotherapy Quality Assurance Review for A Multi-center Randomized Trial of Locally Advanced Esophageal Cancer: The Japan Clinical Oncology Group	Sanuki N	放射線治療学講座
716	Journal of Adhesive Dentistry	Adhesive bonding of Ti-6Al-7Nb alloy and component metals with acidic primers and a tri-n-butylborane initiated sin.	Kiozumi H	消化器腫瘍診断・治療研究室
717	Arch Oral Biol, 57:1127-1132	Alteration of the actin cytoskeleton and localisation of the $\alpha 6 \beta 1$ and $\alpha 3$ integrations during regeneration of the rat submandibular gland.	Osamu Shimizu	消化器腫瘍診断・治療研究室
718	J Craniofac Surg. 2012;23(6):1773-1775	Reconstruction of the mandible bone by treatment of resected bone with pasteurization.	Uehara M	消化器腫瘍診断・治療研究室
719	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 24(2):97-100	A case of voluminous tongue hemangioma treated with intralesional photocoagulation using a KTP laser	Kawasaki T	消化器腫瘍診断・治療研究室
720	Int J Oral Maxillofac Surg. 41(10): 1195-2000,	Clinicopathological risk factors for local recurrence in oral squamous cell carcinoma.	Yanamoto S	消化器腫瘍診断・治療研究室
721	Injury Extra 43: 148-150,	Application of ultrasonic probe with a needle for surveying a fish bone embedded in the tongue.	Minamizato T	消化器腫瘍診断・治療研究室

計 721件

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 高崎 芳成
管理担当者氏名	各部署責任者（馬場子孝、堀越正之、井田豊太郎、大島純子）

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		病院日誌類：管理課 入院診療録：診療録管理室（平成21年5月以降は電子カルテシステム内） 外来診療録、X線写真：医事課、カルテ室	病院日誌については、管理課において年度別に保管 手術記録を含む入院診療録については、患者別に保管（順次マイクロフィルム化） ただし、平成21年5月以降の入院診療録については、診療科別に医事課担当で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部人事課	主に所属別、診療科別
	高度の医療の提供の実績	事務部管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術・研究支援課 事務部管理課	
	高度の医療の研修の実績	事務部医事課	
	閲覧実績	事務部管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室 事務部医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	事務部医事課 薬剤部	
	第規一則号第に掲げる十の十一制第一の確項保各の号状及び第九の二十三第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	・付則に基づき、年1回以上医療安全管理委員会の議題として取り上げ、改正を検討。 ・毎月第3木曜日にリスクマネジメント全体委員会、第4水曜日に医療安全管理委員会を開催。隔月で危機管理・職業倫理委員会を開催。また、3ヶ月ごとに医療機器安全管理委員会を開催。 ・セーフティレクチャー（医療安全研修会）で「医療安全」「健康管理」「医療機器安全管理」「医薬品安全管理」「感染対策」について講義。また、e-learningを使用して基礎講習会を全職員が受講。年間2回以上の受講を義務としている。 ・昨年度多く報告されたインシデント事例をリスクマネジメント全体委員会で検討し対策を立てて実施し、検証している。 ・重大事例は、医療安全管理委員会にて検討。 ・医療安全管理室に属する管理内容は医療安全管理指針に準拠する。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況 感染対策室長 堀賢、ICP3名、事務員1名	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全管理マニュアル 他	

	一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	サービス課 「患者さんご相談コーナー」
--	--------	------------------------------------	------------------------

			保 管 場 所	分 類 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	順天堂医院感染対策ガイドラインマニュアル2013、ポケットセーフティマニュアル、学内HP、医療情報端末IE
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室	順天堂規約集 規第平12-6
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室	年次ごとに実施（別紙参照）
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室	感染対策委員会にて報告、検討（日報、週報、月報） MRSA、MDRO、各種届出が必要な感染症、血液培養ラウンド、感染症ポケットマニュアル発行等
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部長 佐瀬 一洋	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	開催日、出席者、研究内容を記録し一元管理
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	手順書については、病院全体として作成、改訂後、医療安全管理委員会にて承認の後、各部署に配付実施状況については各部署で実施後一元管理
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	学会・企業・行政・患者・院内各部署からの情報を薬剤部(医薬品情報室)において収集・解析・一元管理し、学会・企業・行政・患者・院内へ発信
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室長 代田 浩之	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室	年度ごとに開催日、機種、出席者、内容を記録し保管
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室	年度ごとに計画し、実施記録を機器ごとに分類し保管
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室	製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等からの情報を収集分析し、医療機器安全管理情報としてレター等で周知

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	各所属長、院長 高崎 芳成
閲覧担当者氏名	各所属長、内野々 正志(管理課長)、米澤 和彦(医事課長)、 大島 純子(診療録管理室係長)
閲覧の求めに応じる場所	診療録閲覧室、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	2件
閲覧者別	医 師	延	0件
	歯 科 医 師	延	0件
	国	延	1件
	地方公共団体	延	1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

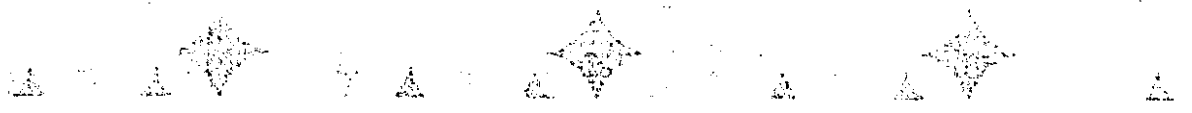
紹介率	57.7%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		28,099人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		24,094人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,973人
	D：初診の患者の数		69,850人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 組織体制 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4. 安全管理のための職員研修の実施 5. 医療事故発生時の対応方法 6. 患者相談窓口の設置 7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順 8. 医療従事者と患者およびその家族間との情報共有 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 33回
・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 P. 1～P. 20 II. 医療事故防止体制 P. 21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 19回
・ 研修の主な内容： I. 医療安全管理指針 4. 安全管理のための職員研修の実施 P. 15～P. 17	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I. 医療安全管理指針 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 11～P. 14 II. 医療安全防止体制 P. 21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 2. 組織体制 P. 2～P. 10 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 11～P. 14 4. 安全管理のための職員研修の実施 P. 15～P. 17 5. 医療事故発生時の対応方法 P. 17～P. 19	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無



ポケット セーフティ マニュアル

第9版

編集

順天堂大学医学部附属
順天堂医院医療安全推進部



I 医療安全管理指針

1. 総 則

1) 安全管理指針の目的

医療は、患者と医療従事者の信頼関係、医療に対する信頼の下で、患者の救命や健康回復を最優先として行われるべきものであり、患者を中心とした安全で質の高い医療を提供しなければならない。この実行のために全ての医療従事者は医療安全に取り組むものとする。このため本指針は、順天堂大学医学部附属順天堂医院における医療安全管理に関する基本方針を定めるとともに、院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について定めることを目的とする。

2) 医院における医療安全管理の基本方針

安全な医療を提供するためには、医療従事者一人ひとりが患者の安全を守る意識を持つことが不可欠ではあるが、近年の医療の高度化・複雑化等を背景に、医療従事者個人の努力に依存した医療安全管理は困難になってきている。このため、当院においては医療安全管理をシステム化し、院長、医療安全管理を統括する医療安全管理室室長、医療安全管理者、医療安全管理委員会、リスクマネジメント全体委員会を中心として有機的な体制を構築し、総合的管理の一環として組織横断的に取り組む。また、常により質の高い安全な医療提供体制を構築するのみならず、患者・家族に対する接遇に留意し、計画・実施・評価・改善の一連の過程において継続的な見直しを行うことにより、医療現場の状況の変化に適切かつ迅速に対応した医療安全管理を実施する。さらに、医療安全管理に資する情報を職員全体で共有し、組織における安全文化を醸成するため、発生した医療事故、ヒヤリ・ハット事例情報等の分析結果や、医療安全管理委員会等で検討・決定された事故予防対策等を、速やかに職員にフィードバックするとともに、各種の関連する研修会を通じて、医療安全管理に関する職員の教育や啓発に努めるものとする。

3) 医療安全管理における医院職員の責務

(1) 院長の責務

院長は、医院における最高責任者として、医療安全管理に必要な組織体制を整備し、これを指揮・監督する。具体的には、本指針に基づいて円滑かつ効果的に医療安全管理が遂行できるよう、医療安全管理活動の具体的目標や予算の策定、職員の能力や適性に応じた人事・処遇、職場環境の整備等を行い、医院を一つの組織体として適正に管理する。

(2) 個々の職員の責務

全ての職員は、患者の安全を最優先し、安全に医療を提供する責務があることを十分に認識して業務に当たる。このため、職員は医療従事者としての基本的な倫理観や知識・技術の継続的な習得を行い、患者の安全確保に努める。また、職員は、チーム医療の担い手としての役割と責任を果たすために、日ごろから緊密な協力体制を築き、本人の医療安全管理活動へ積極的かつ主体的に参加する。

2. 組織体制

医院における医療安全管理ならびに事故発生時の緊急対応について、医院の組織全体が効果的・効率的に機能するように、以下の役職および組織等を設置する。

1) 医療安全推進部(2007 年 4 月組織変更)

病院の安全管理の強化のため、平成 19 年 4 月医療安全推進部が発足した。医療安全推進部は、医療安全管理室・感染対策室・健康管理室から構成されている。検討案件の性質により 3 室が適宜連携して組織横断的に問題解決にあたる。

(1) 医療安全推進部・各管理室の構成

- ① 医療安全推進部・各管理室には以下の各号に掲げる者とする。
 - i 管理室長
 - ii 管理室副室長
 - iii 医療安全管理者(医療安全管理室)
 - iv 事務職員
 - v その他必要な職員

②室長、副室長、医療安全管理者は院長が任命する者をもって充てる。

③医療安全管理室、感染対策室、健康管理室の職員は院長が任命する。

(2) 医療安全管理室の役割

医療安全管理室は、次に掲げる各号についてその役割を担う(感染対策室、健康管理室の役割の詳細は各室マニュアルに記載)。

①医療の安全を確保するための改善方策に関すること

- 「インシデントレポート」による情報の収集・分析
- 医療事故予防策、再発防止策の立案、実施、評価および見直し
- 安全な医療提供のためのガイドラインやマニュアルの策定に関すること
- 患者からの苦情・要望等の分析および医療安全管理への活用

②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施

③医療事故発生時の対応に関すること

- 診療録・看護記録等への記載状況についての確認・指導
- 患者への診療や説明等の対応状況についての確認・指導

④医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること

- 医療安全管理委員会に対する議題の提案
- 医療安全管理委員会の資料作成、議事録作成等の庶務

⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整

⑥その他医療安全管理に関する業務

2) 安全管理者の配置

(1) 医療安全管理者

(医療安全管理者の役割)

医療安全管理者は、医師、薬剤師または看護師のいずれかの資格を有し、所定の医療安全管理研修を修了したものとす。

医療安全管理者は、医療の質・安全管理委員会の構成員

となり医療の安全管理に関する体制の構築に参画し、医療の質・安全管理室の業務に関する企画立案及び評価、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援する。また、医療安全に関する職員への教育・研修、情報の収集と分析、対策の立案、事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防および発生した事故の影響拡大の防止等に努める。そして、これらを通し、安全管理体制を組織内に根づかせ機能させることで本院における安全文化の熟成を促進する。

医療安全管理者は、医療安全対策の推進に関する業務を専ら従事し、医療安全部門の各組織ならびに各安全管理者と連携して、以下の業務を行う。

- ①安全管理部門の業務に関する企画立案及び評価を行う。
- ②定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。
- ③各部門における医療事故防止担当者への支援を行う
- ④医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う
- ⑤医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する
- ⑥相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する

(2) 医療機器安全管理責任者(2007 年 4 月、医療法改正により配置)

医療機器安全責任者 1 名を配置し、放射線担当者 1 名、医療機器担当者 1 名、医療材料担当者 1 名が協力して医療機器の安全使用に関する業務を担う。

(医療機器安全管理責任者の役割)

医療機器安全管理責任者は、医療機器に関する十分な知識を有する医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士のいずれかの資格を有する者とし、医療機器に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務

を行う。

- ①教職員に対し、新しい医療機器を使用する際や安全操作の教育が必要な医療機器に関する研修を定期的の実施し記録する。
- ②医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検を適切に実施し記録する。
- ③医療機器の添付文書、取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報整理と管理を行う。
- ④医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者等から一元収集し、得られた情報を医療機器扱者に適切に提供している。
- ⑤管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集を関係法令に留意し、院長に報告する。

(3) 医薬品安全管理責任者 (2007 年 4 月、医療法改正により配置)

医薬品安全管理責任者 1 名を配置し、医薬品の安全使用に関わる業務を担う。

(医薬品安全管理責任者の役割)

医薬品安全管理責任者は、医薬品に関する十分な知識を有する医師、薬剤師または看護師のうちのいずれかの資格を有する者とし、医薬品に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務を行う。

- ①医薬品の安全使用のための業務に関する手順書を作成し、管理する。
- ②教職員に対する医薬品の安全使用のための研修を実施し、記録する。
- ③医薬品の業務手順書に基づく状況を確認し、記録する。
- ④医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策を実施する。

3) 医療安全管理委員会

(目的)

委員会は、医療法(昭和 23 年法律第 205 号)に基づき、

医院全体及び各部門における医療事故防止体制の整備を図り、医院における医療事故防止の取り組みを効果的に推進するために、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 医療安全管理指針の策定・見直し・改正に関する事項
 - (2) 医療安全管理マニュアルの策定・見直し・改正に関する事項
 - (3) 医療安全管理指針の職員への周知及び医療安全管理に関する職員研修の企画・立案に関する事項
 - (4) 医療事故等発生に係る対応及び再発防止策の検討立案に関する事項
 - (5) 医療安全に関する順天堂医院長(以下「院長」という。)からの諮問事項
 - (6) その他医療安全の推進のために必要な事項
- (委員会の構成)

医療安全推進部長、医療安全管理室長、感染対策室長、医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、看護部長、薬剤部より部長又は部長を代理する者、栄養部より部長又は部長を代理する者、放射線部より部長又は部長を代理する者、事務部長、その他委員会が必要と認めた者 若干名

(委員会の開催)

原則として月 1 回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(情報の取扱い)

- ① 委員は、その職務に関して知り得た情報について、既に公表されているものを除き、院長の許可なく他に漏らしてはならない。
- ② 委員は、患者のプライバシーを特に尊重しなければならない。
- ③ 情報の取扱いは関係する職員すべてに適用されるものとする。

4) リスクマネジメント全体委員会

(目的)

医院全体の安全管理に関する連絡・意見交換を行い、各

部門における医療安全活動および問題点の報告等により、適正かつ効率的に事故防止を図る。

(委員会の構成)

委員長：1名

副委員長：医療安全管理者他若干名

リスクマネジャー：

医師、薬剤師、看護師、放射線・臨床検査技師、事務職員など、各診療科・部門より若干名とし、部門から選任された職員から責任者を置く。その他委員会が認めたもの若干名

(委員会の開催)

委員会は原則として月1回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(小委員会の設置)

委員会は必要に応じて小委員会を設置することができる。小委員会の委員長はリスクマネジメント全体委員会の委員長が任命する。

(小委員会の任務)

各診療科・部門から選任されたリスクマネジャーは、必ず小委員会に所属し、医療事故の原因、防止方法に関する検討・提言、医療安全管理委員会、委員会活動に対する提案を行う。

(リスクマネジャーの配置)

各部門・部署の管理者を補佐し、医療安全管理活動を推進する者として、各部門・部署にリスクマネジャーを配置する。リスクマネジャーは各部門・部署の責任者が任命する。

(1) リスクマネジャーの役割

リスクマネジャーは、次に掲げる各号についてその役割を担う。

- ①部門の管理者を補佐し、医療安全対策を推進する。
- ②各部門・部署における「インシデントレポート」の提出の促進・収集・分析。
- ③各部門・部署における事故予防策、再発防止策の検討・推進。
- ④途中就任した医療従事者には、安全指針を周知する。
- ⑤病院全体の医療安全管理に関する事項を当該部門の

委員会等に報告し、各医療従事者に周知する。周知状況を医療安全管理室に報告する。

⑥ 医院全体の医療安全管理に関する各部門・部署の意見のとりまとめ、提案。

(2) リスクマネジメント小委員会

医療安全管理委員会、医療安全管理室と連携して、各部門・部署における安全対策を円滑に進めるための討議を行うことを目的として、リスクマネジメント小委員会および全体委員会を定期的を開催する。

5) SE 対策チーム

(チームの構成)

委員長：医療安全推進部長

委員：医療安全管理室長、副室長、医療安全管理者、他若干名

医師：内科系、外科系、精神・神経系若干名 その他、チームが必要と認めた者若干名

(チームの業務内容)

院長、関連診療科または部門の求めにより、医療事故等の原因究明が適切に実施されるよう早急に調査・分析を行い、患者や家族への診療や説明などの対応状況ならびに診療録や看護記録などへの記載状況について確認・指導する。

6) SE 対策委員会

(委員会の構成)

SE 対策チーム、関係診療科医局長、担当医、関係看護師長、看護師、管理課職員、その他委員会が必要と認めた者若干名

(委員会の開催)

重大な問題が生じた場合、または患者や家族からの苦情により、当該診療科・部門のみでは対応が難しい場合に随時開催する。

(委員会の審議)

事故等の原因究明、対応策等を策定し、必要があれば医療安全管理委員会で協議し、事例調査委員会に報告するとともに、医療安全対策への活用を行う。

7) 事例調査委員会

(委員会の構成)

委員長：院長

委員：副院長、総医局長、医療安全推進部長、医療安全管理室長、医療安全管理者、感染対策室長、事務部長、顧問弁護士、管理課長、医療安全管理室員

担当部署：教授、先任准教授、医局長、担当医、担当師長、その他委員会が必要と認めた者若干名

(委員会の業務内容)

- ①重大事故発生後、関連部署職員が集まり事故の概要、原因について時系列で詳細に分析し、患者・家族への対応、外部機関への対応を早急に検討する。
- ②事故発生の診療科等に医療事故防止の具体的指導を行う。

8) 外部調査委員会

(委員会の目的)

医療安全推進部長の進言に基づき、院長の求めにより、重大事故発生後、当院の外部から公正・中立かつ客観的な視座によって医療事故内容の検討と評価を行い、もって当院の医療安全管理体制および医療の質の向上に資することを目的とする。

(委員会の構成)

- ①発生した医療事故の医療行為が分析できる専門医
- ②事例調査委員会の調査手法、論点を客観的に評価できる弁護士・法律家など
- ③科学的に事故原因を究明できる薬剤師・看護師・臨床工学技士・診療放射線技師など
- ④医療事故を多角的方面より分析できるジャーナリストなど
- ⑤その他、院長が指名した者

(委員会の業務内容)

- ①当該事例に関する情報の収集
- ②当該事例に関する医療内容の検討・評価
- ③当該事例に関する外部評価報告書の作成
- ④医療安全管理体制および医療の質の向上に関する提言

⑤その他、本委員会の目的を達成するために必要なこと

9) 危機管理・職業倫理委員会 (2009 年 4 月発足)

(委員会の構成)

委員長：病院管理学教授

委員：個人情報管理委員長、接遇マナー・職業倫理委員長、危機管理委員長、薬剤部長、看護部長、事務部長、総医局長、RM 全体委員長、臨床研修センター運営委員長、感染対策室長、医事課長、サービス課長、本郷地区情報センター、警備課長、医療安全管理者

危機管理・職業倫理委員会は「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の 3 委員会で構成され、それぞれに委員長と委員を配置する。

(委員会の開催)

「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の各委員会は、適宜委員会を開催し、リスク情報の収集、病院への影響度の評価、対策等を行い、2 ヶ月に 1 回、3 委員会を統合した会議を開催する。

10) 医療機器安全管理委員会 (2012 年 12 月発足)

(委員会の構成)

委員長：医療機器安全管理責任者

委員：臨床工学室技士長、臨床工学室主任、放射線部主任、資材供給課長、臨床検査部技師長、看護安全管理課長

(委員会の開催)

委員会は、医療機器安全管理責任者が招集し、年 4 回 6 月、9 月、12 月、3 月に定例会を開催する。

(委員会の業務内容)

- ① 医療機器定期研修計画の策定と実施の評価
- ② 医療機器保守点検計画の策定と実施の評価
- ③ 医療機器の安全管理上の問題点の抽出と対応策の立案、緊急事態発生時の対応
- ④ 医療機器に関する安全性情報の院内周知
- ⑤ 医療機器の標準化の策定

3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策

医療の安全確保を図るためには、各々の業務を医療安全の観点から見直し、その結果に基づいて当院全体で医療安全管理に取り組むべき必要がある。標準化、統一化、規則化の推進、正確で効率的な情報管理を促進するとともに、策定された安全対策を計画・実施・評価という一連の過程から、さらなる改善活動を通じて常に見直していく必要がある。当院における医療事故等の報告体制は、こうした改善活動の一環として重要である。さらに、当院の医療安全管理活動を評価し、改善につなげていくために、内部評価、外部評価を実施する。

1) 医療事故等に関する報告制度

(1) 報告制度の目的

医院では、医療事故につながる可能性のある問題点を把握して効果的な安全対策を講じるため、全職員を対象にインシデントレポート事例の報告を制度化し、その収集を促進するとともに、収集した情報を活用して組織全体で継続的な業務改善に取り組む。

(2) 報告制度の対象とする事例

報告制度で対象とする事例は、以下のとおりとする。

① 医療事故(アクシデント)

医療に係わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故一切を包含し、医療従事者が被害者である場合や廊下で転倒した場合なども含む。

② ヒヤリ・ハット(インシデント)

日常診療の場で、誤った医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかったもの。

(3) 報告経路と報告方法

① 医療事故ならびにヒヤリ・ハット事例を体験または発見した職員は、その概要をインシデントレポートシステムに入力し、翌日までに上司および当該リスクマネージャーに報告する。

- ②当該リスクマネジャーは、提出された報告の内容を確認し、当該部門・部署の管理者に報告する。
- ③部門・部署の管理者は必要に応じ、リスクマネジャーに調査・分析を指示する。
- ④リスクマネジャーは、調査・分析の結果を部門・部署の管理者及び医療安全管理室に報告する。報告は 24 時間以内に行う。
- ⑤医療安全管理室は、一定期間内に提出されたインシデントレポートを集計し、所定の期日ごとに医療安全管理委員会およびリスクマネジメント全体委員会で報告する。

(4) 重大な医療事故の場合の報告

重大な医療事故が発生した場合には、以下に定める手続きに従って報告を行う。

①対象となる医療事故

- i 当該行為によって患者が死亡または死亡に至る可能性がある場合
- ii 当該行為によって患者に重大もしくは不可逆的傷害を与え、または与える可能性がある場合
- iii その患者等から苦情を受けた場合

②報告経路と報告方法

- i 重大な医療事故発生時には、直ちに当該リスクマネジャーに報告する。報告を受けたリスクマネジャーは、医療上必要な指示を与え、各部門・部署の責任者を經由して速やかに院長および医療安全管理室長に報告する。また、緊急を要する場合にはひとまず口頭で報告し救命措置の遂行に支障を来たさない範囲で遅滞なくシステムによる報告を行う。
- ii 患者の生死に関わる重大かつ緊急な場合は、上記経路を省略して院長に直接報告することができる。

(5) インシデントレポートの分析

医療安全管理室は、報告されたインシデントレポートから当該部門・部署担当のリスクマネジャーと連携し、事例の分析・対処にあたる。複数部門・部署間に関連する問題、本院全体の医療の質に関わる問題などは医療安全管理室ならびに医療安全管理者が中心となって事例の分析にあ

たる。医療安全管理室は事例分析と策定した事故予防策案ならびに再発防止策案を医療安全管理委員会に報告する。

(6) 事故予防策・再発防止策の検討と決定

医療安全管理委員会は医療安全管理室からの報告に基づいて、分析結果の妥当性、リスクの重大性、リスク予測の可否、システム改善の必要性、事故予防策ならびに再発防止策等について協議する。

(7) 事故予防策・再発防止策の職員への周知徹底実施

医療安全管理室は、医療事故およびヒヤリ・ハット事例の分析・実施・評価結果や、医療安全管理委員会の協議に基づいて決定された事故予防策・再発防止策について、リスクマネジメント全体委員会で報告した後、各部門・部署の責任者およびリスクマネジャーを通じて全員に周知・徹底する。また、定期的な職員研修の実施、ニュースレター等により、周知徹底を図る。

(8) 事故予防策、再発防止策の実施状況の調査・評価と継続的な改善活動

医療安全管理室は、事故予防策や再発防止策の実施状況を定期的に調査・評価し、必要に応じた見直しを継続的に行う。

なお、事故予防策や再発防止策の調査・評価結果や見直しに関する、医療安全管理委員会への報告等の手続きについては、「(5) インシデントレポートの分析」、「(6) 事故予防策・再発防止策の検討と決定」に準ずる。

(9) リスクマネジャーとの連携

医療安全管理室は、インシデントレポートの分析・評価、事故予防策・再発防止策の検討およびその実施状況の調査等にあたっては各部門・部署のリスクマネジャーと連携してこれを行う。

(10) 診療録への記載

医療事故が発生した場合には、その内容と、患者や家族への説明など事故発生時の対応状況を診療録、看護記録等に正確に記載する。

(11) 報告者の保護

インシデントレポート報告者に対し、報告があった事実のみで、正当な事由なく不利益な処分を行わない。

(12) 守秘義務

医療事故やヒヤリ・ハット事例について本報告制度によって職務上知りえたものは、その内容を正当な事由なく他の第三者に告げてはならない。

2) 医療の安全確保を図るためのその他の方策

(1) 標準化・規則化等の推進

医療の質の向上と安全性を高めるためには、医療行為等の作業手順の統一化、入院時診療計画(クリニカルパス)の活用、物品の保管や配置等の統一化等によって標準化を図るとともに、医院内における業務活動については可能な限り規則化し、その遵守を徹底することが重要である。また、高度化・複雑化する医療において、適切な診療情報管理、情報伝達を行うため、情報管理手法の統一化や、情報システムの導入・活用を推進する。

医院では、業務活動の標準化、規則化等を推進するため、各部門・部署における業務マニュアルを整備するとともに、医療安全管理にとって重要な規則や手順等は院内規則・手順として明記し、その内容の周知徹底を図る。また各業務マニュアルおよび院内規則・手順は、適宜評価・見直しを行い、現場の安全と医療の質をより向上させるものとしなければならない。

(2) 医療安全管理活動の評価

① 内部評価活動

医療安全管理室は、医院における医療安全管理活動の成果を評価し、一層の改善を行うため、日常的な院内の巡回等を活用して、以下の事項について内部評価活動を行う。

- i 診療録や看護記録等の記載状況
- ii 業務マニュアル等の整備、見直し状況
- iii 本指針および各種マニュアルの遵守状況
- iv ヒヤリ・ハット、医療事故報告の活用状況

② 外部評価の活用

当院の安全管理上の問題点について、外部からの評価によって明らかにすることを目的として、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価、他の医療機関との相互評価など、第三者による評価を積極的に活用する。

4. 安全管理のための職員研修の実施

医療安全管理に関する基本的な考え方や、医療事故予防・再発防止の具体的な方策を職員に周知徹底することにより、個々の教職員の安全に対する意識を高め倫理意識や安全文化を醸成し、安全に業務を遂行するための能力の向上を図ることを目的として職員研修を実施する。また、研修には e-Learning 等を活用し、なるべく多くの教職員が受講できるよう配慮して実施する。

1) 医療安全管理室の役割

(1) 研修の実施

医療安全管理室は、医療安全管理に関する以下の研修を計画し、実施する。

① 医療機関全体に共通する医療安全管理に関する研修

目 的：医療安全管理に関する基本的な考え方を理解するとともに、リスク感性および医療安全に関する個々の責務に関する啓発を図る。

受講対象：全職員 開催回数：年 11 回程度

② 新規採用者に対する医療安全管理に関する研修

目 的：病院の理念と医療安全管理に対する基本的な考え方を理解するとともに、医療安全を確保するために遵守しなければならない事項に関する知識を修得する。

受講対象：新規採用者

開催回数：年 3 回程度(新規採用者研修の全体研修の一部として実施)

③ 指導者の研修

目 的：指導者の役割を理解し、具体的な活動を行う上での医療安全の知識、技能を修得する。

受講対象：指導者 開催回数：年 2 回程度

④ 臨床研修医の研修

目 的：医師の業務を理解し、具体的な業務を行う上でのモラル、知識、技能を修得する。

受講対象：臨床研修医、医師 開催回数：年 3～4 回程度(全該当者が受講できるように調整)

(2) 各部門・部署への支援

医療安全管理室は、各部門・部署が医療安全管理に関する研修を実施する際には、必要に応じて研修計画への参加や講師派遣などの協力を行うとともに、各部門・部署における研修の実施状況を把握し、積極的な研修実施を促す。

(3) 研修参加の促進

医療安全管理室は、リスクマネージャーと連携し、研修への職員の積極的な参加を促す。

2) 各部門・部署のリスクマネージャーの役割

(1) 研修の実施

各部門・部署は、その管理責任において、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、以下のような研修を計画し、実施する。

① 新人研修

新規採用者に対する研修に加え、新人に対しては、各部門・部署ごとに、医師、看護師などが専門業務を行う上で必要とされる基本的な知識・技術の実践を含めた研修を行う。

② 各部門・部署単位での医療安全管理に関する研修

各部門・部署は、専門業務の理解、安全管理の徹底、業務改善への意識付けを行うための研修を実施する。配置転換に伴う転入者に対する研修を各部門・部署単位で必要に応じて実施する。

(2) 外部研修への派遣

各部門・部署は、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、必要に応じて外部研修の活用を行う。

3) 医療安全管理者、医療安全管理室職員の研修

院長は医療安全管理者、医療安全管理室職員が医療安全管理に必要な能力確保を図るために、外部研修の派遣など必要に応じて学習の機会を提供する。また医療安全管理者、医療安全管理室職員は、自ら医療安全管理に関する情報を幅広く収集し、院外での研修会等に積極的に参加することにより、知識・技能の向上に努める。医療安全管理者は、院内・外の研修や情報収集等により、医療事故やヒューマ

ンエラーに対する正しい知識を持ち、安全管理に関わる病院の管理を適正に行うよう努める。

4) 研修の実施記録

医療安全管理室および研修を実施した部門・部署は、医療安全管理に係わる職員研修の実施内容を所定の方法で記録する。その記録は医療安全管理室で保管する。

5. 医療事故発生時の対応方法

医療事故発生時には、患者の救命を最優先して、誠心誠意治療に専念するとともに、事故の内容を明らかにし、医療従事者としての説明責任を適切に果たすために、患者・家族等に誠実に説明する。また、事故の再発防止策を早期に検討し職員に周知徹底する。

1) 初動対応

(1) 患者の安全確保

医療事故が発生した場合は、患者の安全確保を最優先課題とし、医師、看護師等の連携の下、迅速な救命救急処置を行う。事故発生部署の職員だけでは十分に対応できない場合は早急に他の診療科や専門医の応援を求め、病院の総力をあげて対応する。他院への転送が必要な場合は、患者・家族に承認を得た上で速やかに転送する。

(2) 患者に使用した薬剤・器具等の保管

事故発生前後に当該患者に使用した薬剤、注射器等は、事実確認および事故発生要因の検討に活用するために現状を保存しておく必要があるので、廃棄せず、保管する。また、使用した医療機器等の設定値についても、同様の理由により現状を保存する。現状保存の期間、方法については院長が医療安全管理者および事故発生部門・部署の責任者と相談し、決定する。

(3) 事実経過の正確な記録

医療事故発生前後における事実経過については、事実確認および事故発生要因の検討に活用するため、診療録、看護記録等に正確に記録する。

2) 医療事故の報告

医療事故発生時の報告については、「3. 1) 医療事故等に関する報告制度」に定める手続きによる。

3) 患者・家族等への説明

(1) 患者・家族等への説明

事故発生後、救命措置の遂行に支障を来たさない限り可及的速やかに、患者本人・家族等への説明を担当する職員を決定し、事故の状況、現在実施している回復措置、その見通し等について、誠意を持って説明する。患者・家族等の要望および患者の状態の変化等に応じて、その時々状況が理解できるように追加説明を行う。尚、説明時は担当職員と記録者の2名以上で対応する。

(2) 説明内容の記録

説明を行った事実および説明の内容については、説明を行った者が診療録等に明記しておく。また、同席者が記録した「病状治療方針説明記録」は電子カルテにスキニングし、原本管理ファイルまたは診療録に綴じる。

4) 警察への届出

医療過誤により死亡または傷害が発生した場合、またはその疑いがある場合は、院長が所轄警察署(本富士警察署)に届出を行うことがある。

5) 事故の再発防止

医療事故発生後、医療安全管理室、医療安全管理委員会等において、事故の再発防止について検討し、再発防止策を策定し、職員全員に徹底する。

6) 事例調査委員会の設置・招集

院長は、自らまたは医療安全管理委員会の審議に基づき医療事故の事実調査、患者・家族等への対応、外部関係機関への対応、医事紛争への対応、再発防止策の検討等を目的として、必要に応じて事例調査委員会を設置・招集することができる。

7) 重大事故発生時の施設内職員および他の患者への対応

重大事故発生後、速やかに組織としての方針を決定し、全職員に事故発生の事実と経過を説明することを基本とする。説明はあらかじめ準備した資料に基づいて行う。その際、部署・患者・事故当事者等が特定されないように十分留意する。

他の患者への対応は、説明する範囲(病室、当該部署、施設全体)と内容を組織の対応方針に基づき決定する。

8) 重大な事故に関わった職員への対応

事故により重大な結果を招いた場合、当事者となった職員へは適切な配慮や長期的な支援が必要である。医療のプロセス・システムには、誰もが事故当事者となりうる危険性が潜んでいる。個人を責めるのではなく、医療のプロセス・システム全体に策を講ずることで再発防止を図る、という考え方を基本とする。重大事故に関わった職員は、院長及び所属長が必要と判断した場合にメンタルクリニックを受診することができる。その後のサポートは人・組織・機能を活かした支援体制を整え、当事者の状況に応じた支援内容を検討し、実施する。

6. 患者相談窓口の設置

患者から寄せられる苦情等について迅速に対応するとともに、患者の意見や要望を聞き、医院の医療安全管理に積極的に活用し、病院運営全般に反映させるため、医院の情報公開に資するため、相談窓口を設置し対応する。

1) 患者相談窓口の体制

患者相談窓口を設置し、患者・家族等からの相談に対応する担当者を配置する。

2) 患者相談窓口の業務

患者相談窓口の存在を患者・家族に徹底するとともに、相談を行ったことにより患者や家族などが不利益を受けないよう配慮しなければならない。

3) 患者相談窓口に関する院内掲示

患者相談窓口担当者は、患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、対応時間等について、病院受付、待合室、病室等における掲示や、入院時の案内等を通じて、患者・家族等に幅広く案内するよう努める。

7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順

医院では安全管理のための重要な規則や手順を以下のように決定し周知している。チーム医療の中で、これらの規則・手順が尊重され守られ、また評価されることは、患者安全を確保する上で極めて重要である。

- 患者確認のルール
- 誤薬防止のための基本ルール
- 輸血に関する事故予防マニュアル
- 化学療法実施マニュアル
- インスリン指示の標準
- 転倒・転落事故予防マニュアル
- 静脈血栓塞栓症予防マニュアル

8. 医療従事者と患者およびその患者間との情報の共有

患者の病状、治療方針、リスクおよび合併症等を患者およびその家族等に必要かつ十分に説明をして同意を得ること。さらに説明を受けることを希望する患者および家族等に対しては、積極的に情報共有を行い、医療従事者と患者およびその家族等との情報共有を図ることに努める。

本指針は、患者および家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じる。また、本指針についての照会には、医療安全管理室が対応する。

9. 付 則

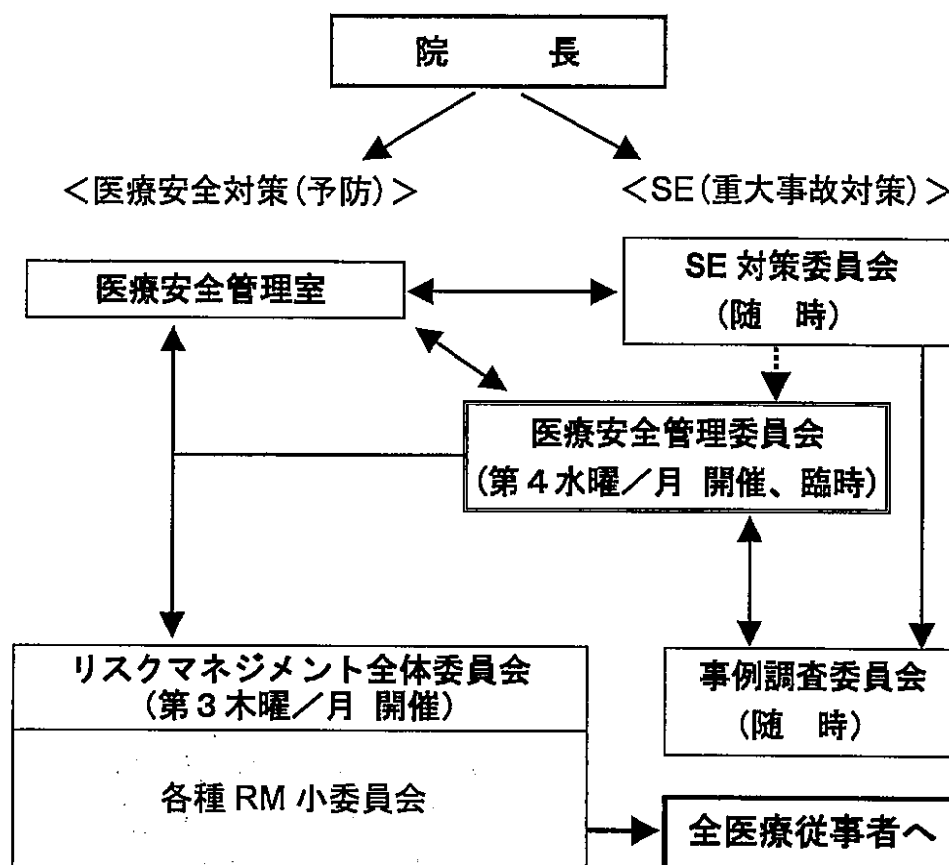
医療安全管理委員会は、少なくとも毎年1回以上、本指針の見直しを議事として取り上げ、改正を検討する。

(2007.7.25) (2008.8.27) (2009.2.25)

(2009.4.22) (2009.8.25) (2010.1.27)

(2011.1.24) (2012.2.22) (2013.2.27)

Ⅱ 医療事故防止体制

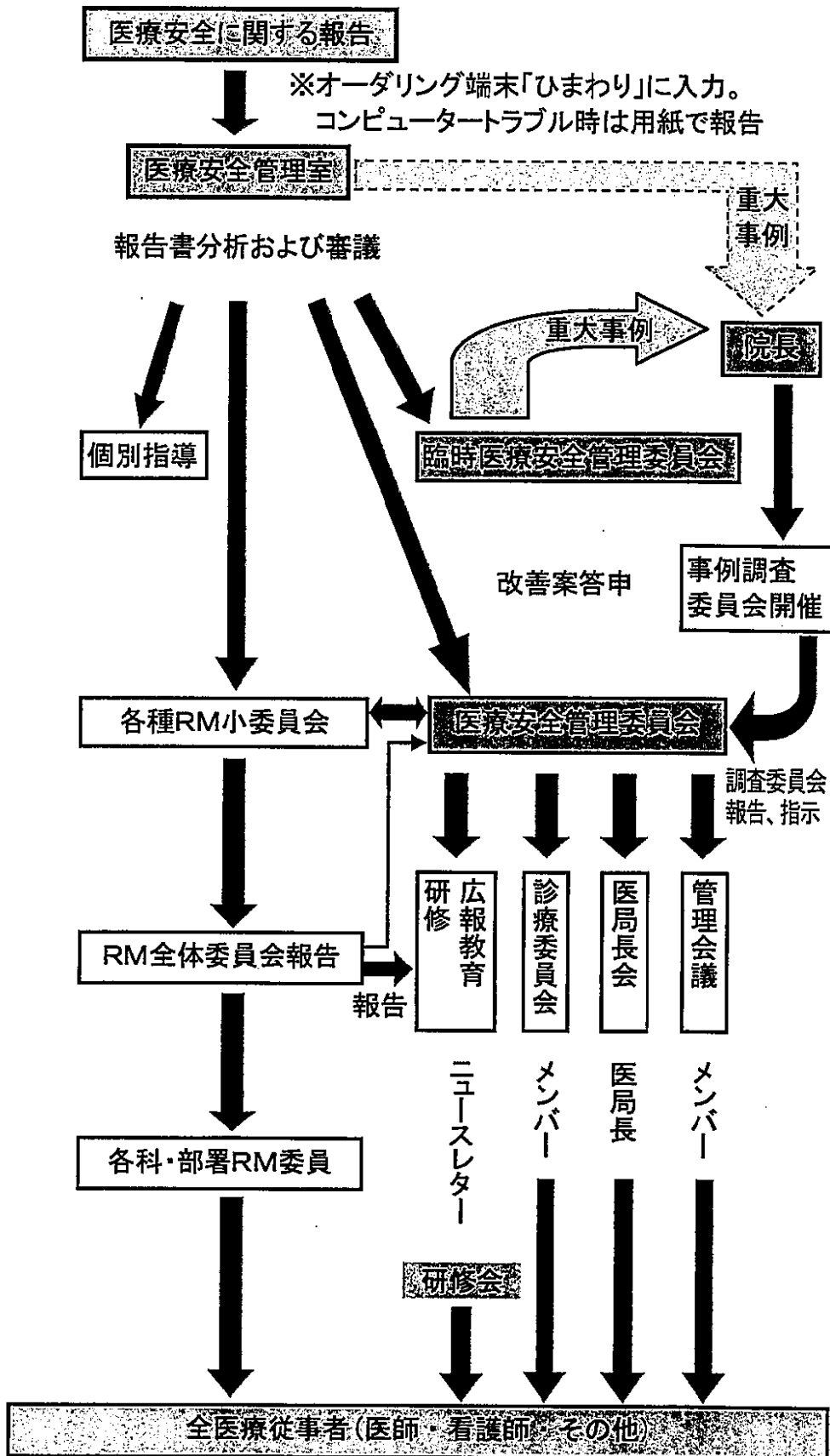


注)

RM : Risk Manager or Risk Management

SE : Sentinel Events

VI 医療安全に関する報告の流れ



(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊟・無
・ 指針の主な内容： 1) 院内感染対策に関する基本的な考え方 2) 感染対策委員会の組織に関する基本的事項 3) 「専任の院内感染対策を行うもの」（あるいは院内感染管理者）の配置 4) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 7) 患者等に対する当院の院内感染対策指針の閲覧に関する基本方針 8) その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1) 病院内で発生した感染症の分布とその対応について、院内ガイドライン・マニュアルに従い、感染対策室からの現場指導を受けながら、有効性の確認や検証を実施 2) 針刺し切創について、院内の届出書の集計結果を基に改善策を検討 3) MRSA院内伝播数に応じて感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営（レベルゼロシステム）、MRSAアウトブレイク発生対応 4) 滅菌室から滅菌機の稼働状況やトラブルの原因・理由の報告を受け、改善策を検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年16回
・ 研修の主な内容： 「当院の感染制御の考え方」「手指衛生・個人防護具の基本動作」「針刺し切創・粘膜曝露事故防止について」「結核感染防止」など、感染対策の基本動作を中心に、患者-職員間での伝播のリスクが高いものに焦点を当てた内容にしている。また、旅行者感染症、インフルエンザや感染性胃腸炎など、季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げて注意を促している。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (㊟・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査 2) 現場主導型のMRSA感染対策活動（レベルゼロシステム）と擦式手指消毒剤使用推進活動 3) MDROサーベイランスとアウトブレイク対応 4) BSIサーベイランスと改善の取り組み 5) 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方適正化活動 6) 週1回のICTラウンドの実施	

平成24年度 院内職員研修会開催状況

	実施日	時間	研修会名	研修項目	開催場所	対象職種	参加人数
1	4月3日	150分	臨床研修医 オリエンテーション	当院における感染対策 手指衛生・PPEの基本動作習得/安全機材使用方法など	生物化学系実習室	臨床研修医	55
2	4月6日	60分	新入職看護師 オリエンテーション	順天堂医院の感染対策の実践的ガイダンス	有山記念講堂	新入職看護師	161
3	4月11日 ～12日	120分 ×3	新入職看護師 オリエンテーション	手指衛生・PPEの基本動作取得/鋭利物品の 取り扱い方法など	生物学系実習室	新入職看護師	158
4	5月9日	30分	新任放射線技師 オリエンテーション	手指衛生・PPEの基本動作取得など	1号館1階放射線部	新任放射線技師	9
5	7月20日	60分	感染対策講習会①	当院における感染対策/3大基本方針と指針の改定につ いて 手指衛生・PPEの基本動作習得/職業感染について/抗菌 薬使用に関して	有山記念講堂	全職員	504 (1,886)
6	7月23日 8月30日	90分	感染対策の必要性について	MRSA 対策/手洗い必要な5つの場面についてのロール プレイ	1号館7階病棟カンファレンス	1号館7階A病棟看護師	27
7	8月7日	20分	針刺し事故防止対策について	針刺し事故防止対策について/事故後の対応について	9号館2階8番教室	研修医	46
8	9月5日～ 9月10日	9:00 ～17: 00	医療看護学部看護課題実 習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部4年生	4
9	9月11日 ～ 9月 14日	9:00 ～17: 00	医療看護学部看護課題実 習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部4年生	4
10	9月3日4 日18日19 日	9:00 ～17: 00	医療看護学部看護課題実 習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部4年生	4
11	9月12日	10:45 ～ 12:15	感染症予防実習 (第1期臨床実習)	手指衛生・標準予防策	生物学系実習室	医学部4年生	116
12	10月1日	13:00 ～ 16:00	看護部 認定看護師研修会	職業感染について(流行性ウイルス疾患・結核対応)	有山記念講堂	看護部希望者	53
13	10月31日	9:00～ 12:00	看護部 認定看護師研修会	血流感染防止対策/尿路感染防止対策	有山記念講堂	看護部希望者	54
14	11月19日 ～20日	60分	看護助手(委託)・病棟事務 員 集合研修	感染対策の基本/PPE着脱方法/手指衛生	院内	看護助手・病棟事務員	120
15	11月29日	60分	感染対策講習会②	針刺し粘膜曝露予防策/結核/血流感染防止対策	有山記念講堂	全職員	328 (1,864)
16	2月21日・ 22日・26 日	60分	清掃委託業者 集合研修	感染対策の基本/PPE着脱方法/手指衛生/針刺し事故 防止	院内	委託清掃業者	74
17							
18							

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	④・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
・研修の主な内容： 医薬品の安全管理 処方箋の書き方、指示記載の注意、販売名の類似、服用期間の注意、持参薬指示の注意点	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (④・無) ・ 業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入・管理業務 ・ 医薬品情報業務 ・ 教育業務 ・ 調剤業務 ・ 医薬品安全管理業務 ・ 研修業務 ・ 製剤業務（無菌・一般）	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (④・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医薬品情報の院内通知 ・ 医薬品の副作用情報の収集 ・ 診療科との情報共有	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 49回
- 研修の主な内容： - 人工心肺・補助循環装置 - 人工呼吸器 - 血液浄化装置 - 除細動器、AED - 閉鎖式保育器 - 高エネルギー放射線装置 - 輸液ポンプ・シリンジポンプ - 超音波ネブライザー	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 計画の策定 (有・無) - 保守点検の主な内容： - 人工心肺・補助循環装置 - 人工呼吸器 - 血液浄化装置 - 除細動器 - 閉鎖式保育器 - 高エネルギー放射線装置 - 全身麻酔器 - 輸液ポンプ・シリンジポンプ	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) - その他の改善のための方策の主な内容： - 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等からの情報をリスクマネジメントニュースレターで院内各部署に発信 - 医療機器の安全使用について、セーフティレクチャーにて研修会を開催	